このたびは MINICAB-MiEV をお買い上げいただき，ありがとうございます。

J09200101197

この取扱説明書は，お客様のお車をいつも安全・快適に運転していただくための正しい取り扱いについて説明しています。
また，お車のお手入れや万一のときの処置についても記載してありますので，ご使用前に必ずお読みください。
「MINICAB-MiEVを正しく理解していただくために」および「安全なドライブのために」は重要ですので，しっかりお読みください。

安全に関する表示

● 運転者や他の人が傷害を受けるおそれがあることと，その回避方法をつぎの表示で記載しています。重要な事項ですので必ず読んでお守りください。

⚠ 警告	記載事項を守らないと，死亡や重大な傷害につながるおそれがあること。
⚠ 注意	記載事項を守らないと，傷害や事故につながるおそれがあること。
🚫	安全のためにしてはならない行為。（イラスト内に表示されています）

その他の表示

● お車に関することやその他のアドバイスは，つぎの表示で記載しています。

アドバイス	お車のために守っていただきたいこと。 知っておくと便利なこと。
タイプ別装備	グレードにより異なる装備やオプション装備に表示しています。

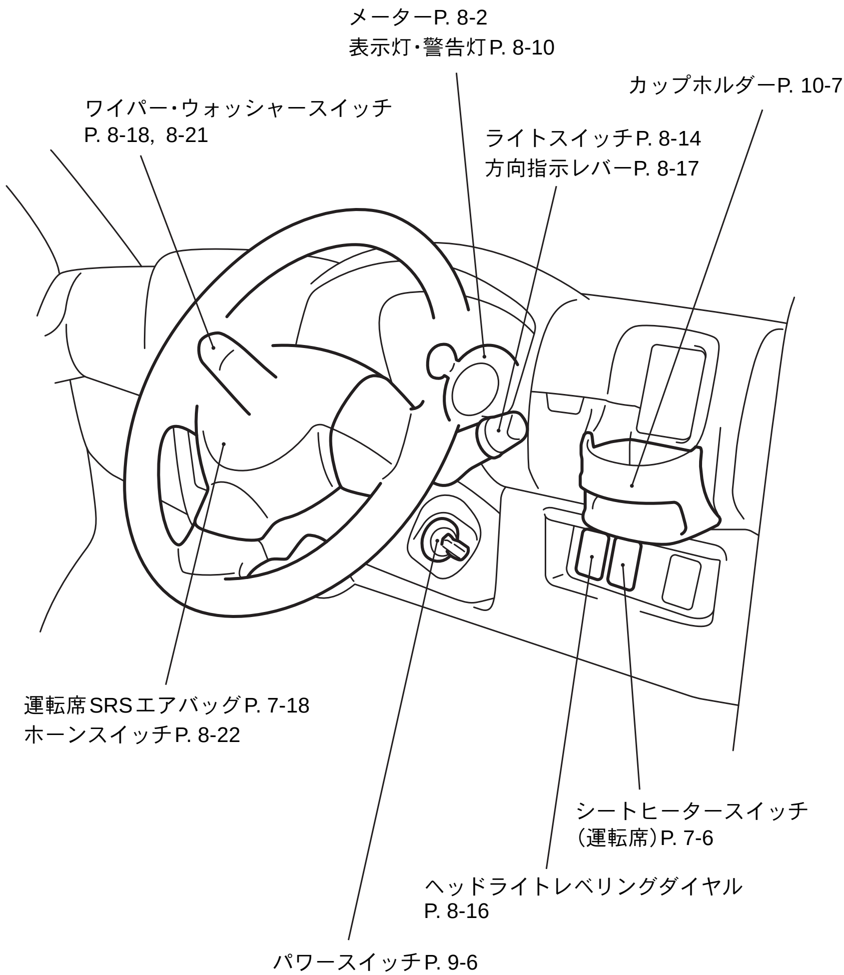
● 取扱説明書は車の中に保管してください。
● 保証および点検，整備内容については，別冊のメンテナンスノートをご覧ください。
● 三菱マルチエンターテイメントシステムの取り扱い要領については別冊の取扱説明書をご覧ください。
● お車をゆずられるときは，取扱説明書およびメンテナンスノートをお車につけておいてください。

・装備仕様の変更などにより，本書の内容がお客様のお車と合わないことがありますので，あらかじめご了承ください。
・ご不明な点は，担当営業スタッフにお問い合わせください。

目次

ハンドルまわり

J00100801028

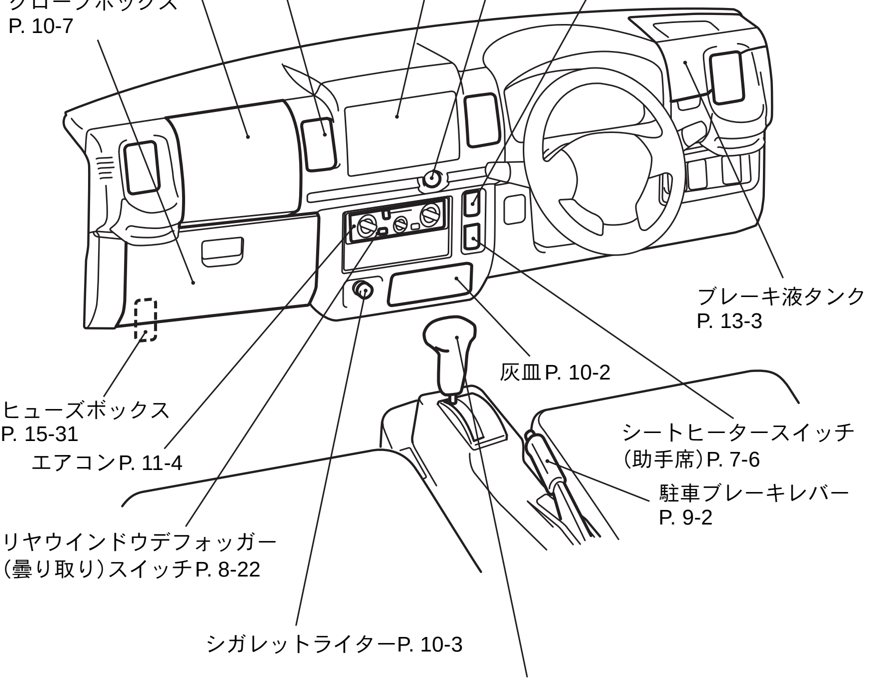


・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AAF005964

計器盤まわり

J00100101920



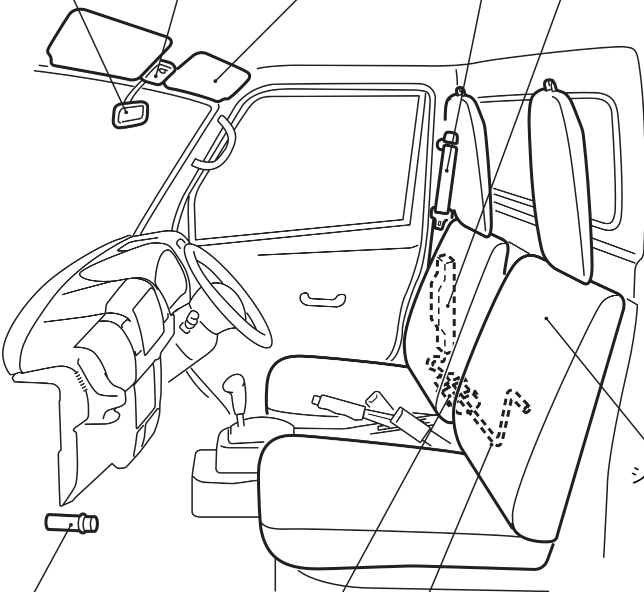
・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AAF005515

室内

J00100301805

トラック

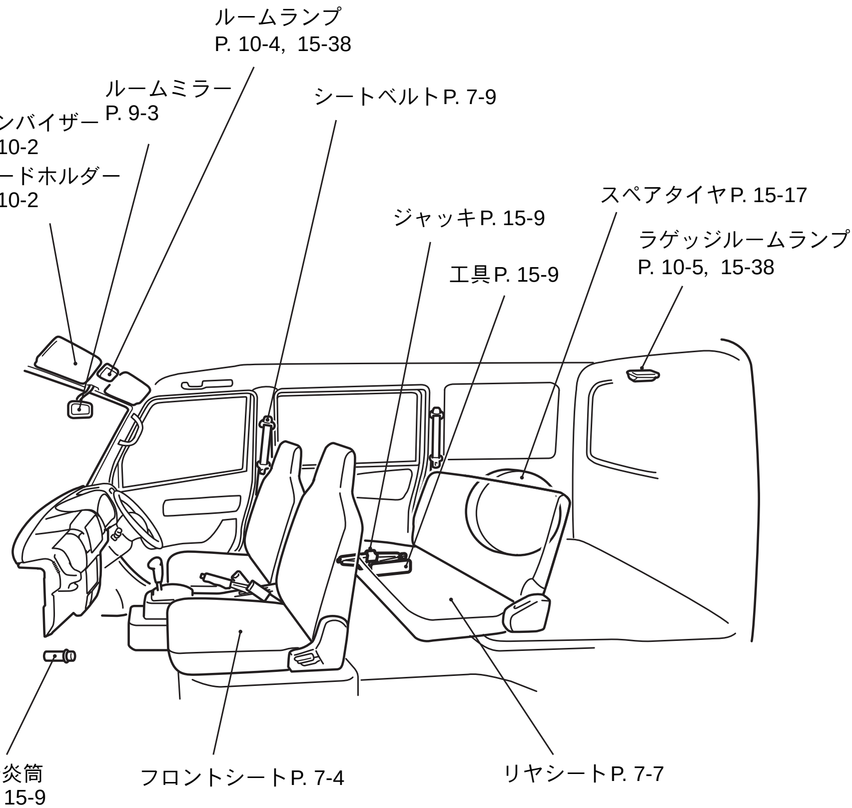


・装備仕様の違いやオプションなども含んでいます。

AAF005993

1

バン



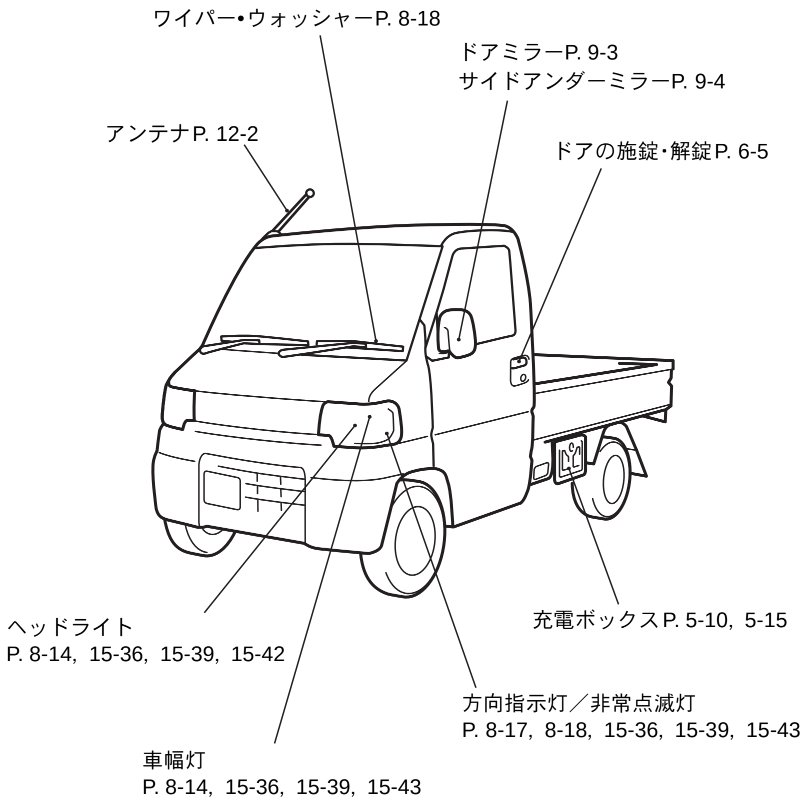
・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AAF005746

外まわり

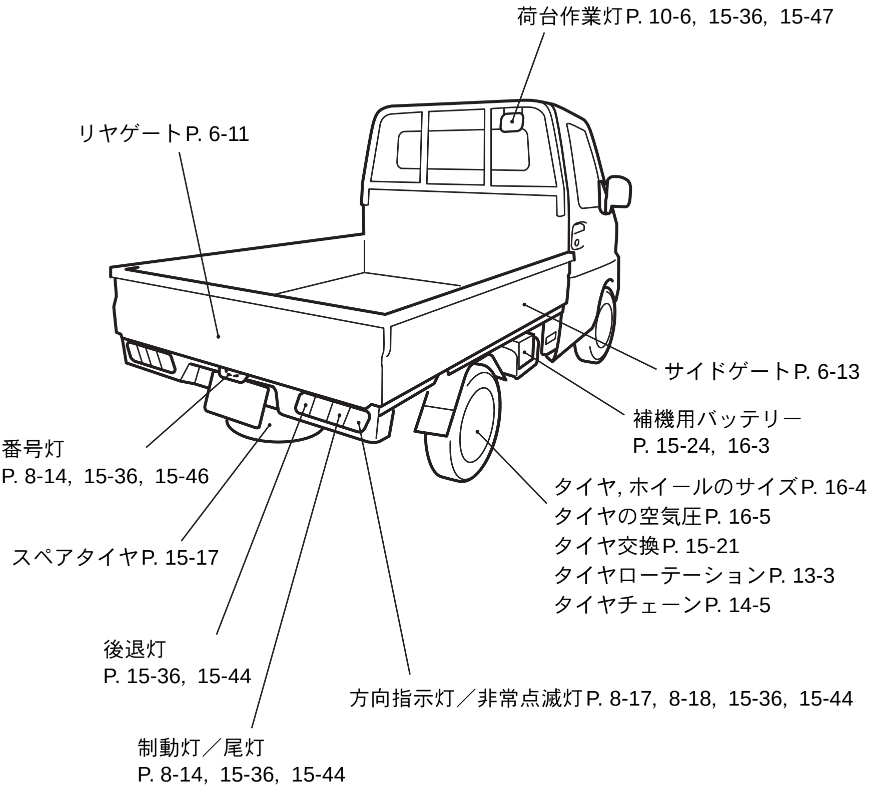
J00100402018

トラック



･装備仕様の違いやオプションなども含んでいます。

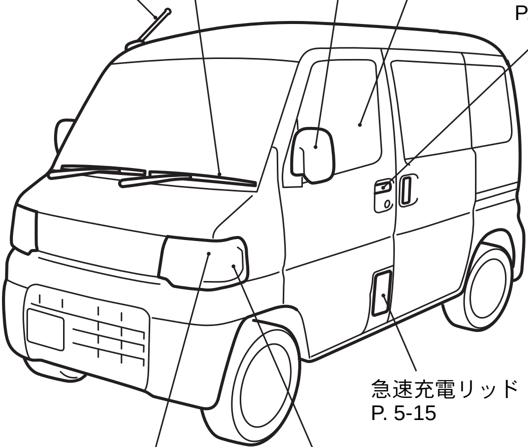
AAF006004



・装備仕様の違いやオプションなども含んでいます。

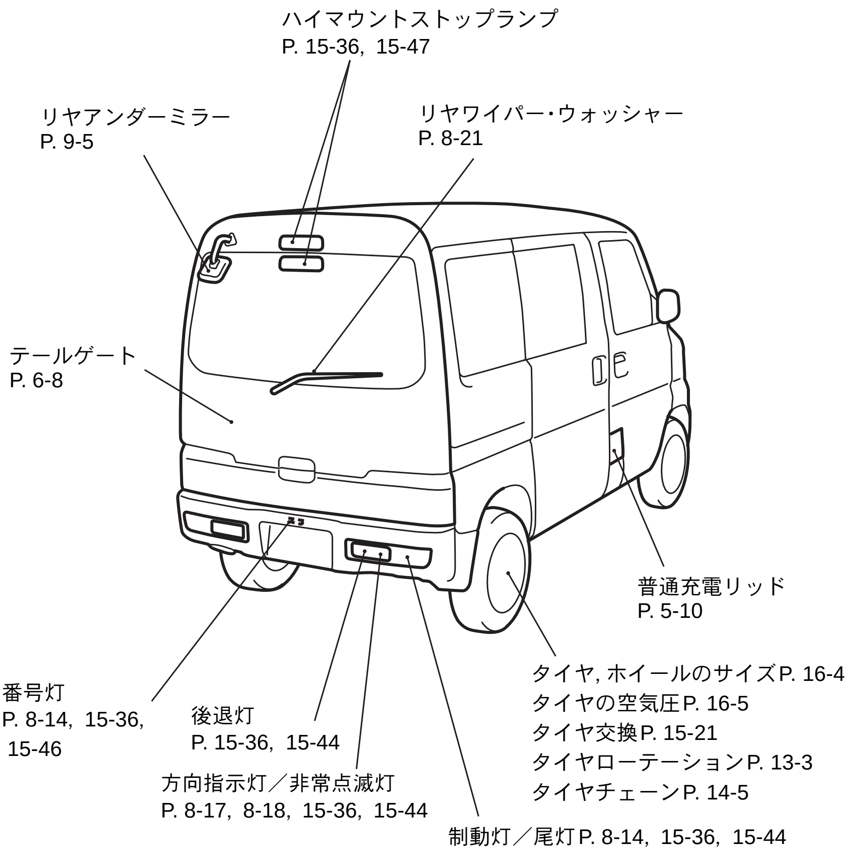
AAF006017

バン



･装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AAF005498

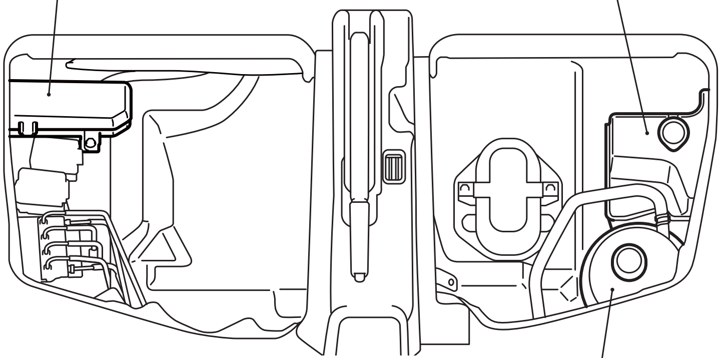


・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AAF005502

点検口（運転席／助手席下）

J00100501533

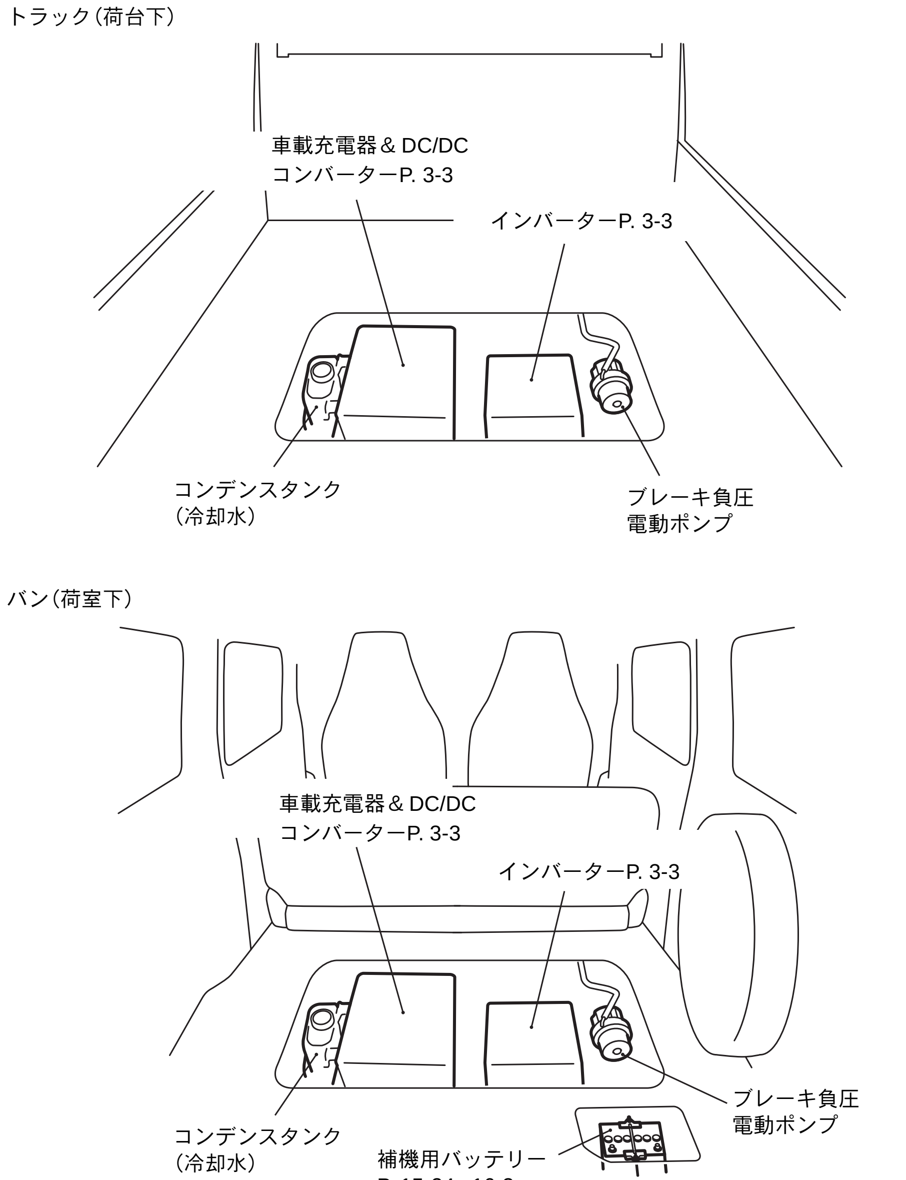


・点検はシートを操作して行います。→「点検口（運転席／助手席下）」P. 6-15
・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AAF005557

パワーユニットルーム

J00100501546



・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AAF006020

1

⚠警告

- パワーユニットルーム内ではコンデンスタンク以外の部品に触れないでください。コンデンスタンク以外に点検が必要な部品はありません。特に高電圧を発生する部品および高電圧の配線（オレンジ色）ならびにそのコネクターの取り外し，分解などは絶対に行わないでください。感電など，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
  これらの部品には取り扱い上の注意を記載したラベルが貼り付けてありますので，ラベルの指示にしたがってください。

⚠注意

- パワーユニットルーム内の部品には高温になるものがあります。
  やけどをするおそれがありますので，各部が十分冷えてから点検してください。
  これらの部品には取り扱い上の注意を記載したラベルが貼り付けてありますので，ラベルの指示にしたがってください。
- 点検や交換した後は，工具や布などを点検口（運転席／助手席下）またはパワーユニットルームに置き忘れていないことを確認してください。

MINICAB-MiEVを正しく理解していただくために

MINICAB-MiEV の電気自動車としての特徴，守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
重要ですので，しっかりお読みください。

主な特長

J02000100056

- 走行に必要なエネルギーは電気のみで，燃料の補給を必要としません。
- 駆動用バッテリーやパワーユニット（モーターなど）を全て車室外に搭載することで，エンジン車と同等の室内空間を確保しました。
- 高性能モーターの採用により，走行中の騒音・振動を大幅に抑えるとともに力強く加速します。
- 回生ブレーキを採用し，アクセルオフ時に自動的に駆動用バッテリーを充電します。
- AC 100VまたはAC 200VのEV充電用コンセントから充電することができます。
- CHAdeMO（チャデモ）規格に準拠した急速充電器による充電が可能です（タイプ別装備）。
  CHAdeMOとは，日本の電気自動車用急速充電規格です。

回生ブレーキとは…

- エンジン車のエンジンブレーキに相当します。走行中アクセルペダルから足を離したときに，モーターを発電機として使用して運動エネルギーを電気エネルギーに変換します。
  この変換時にブレーキ力が発生し，変換された電気エネルギーは駆動用バッテリーに充電されます。
- ブレーキペダルを踏み込んだとき，回生ブレーキの効きが強くなります。また，セレクターレバーの位置がD→Eco→Bの順に回生ブレーキの効きが強くなります。
  走行状況に合わせて，セレクターレバーをEcoまたはBに入れてください。
- パワーユニットに異常があるとき，またはABSやTCLが作動しているとき，回生ブレーキの働きは制限されます。このとき，フットブレーキは働きます。

駆動用バッテリーについて

J02001400072

駆動用バッテリーとは…

モーター（パワーユニット）およびエアコンを作動させるバッテリーです。
この車両には駆動用バッテリーの他に照明，ワイパーなどを作動させる補機用バッテリーも搭載しています。

- この車両には，密閉式のリチウムイオン高電圧電池が搭載されています。リチウムイオン電池は，不適切な方法で処分すると，重度のやけどや感電により重大な傷害または死亡につながるおそれがあるだけでなく，環境汚染につながります。
- リチウムイオン電池には，つぎの特性があります。よくお読みいただき，つぎの点に注意して取り扱いください。

特性

- 一般的なリチウムイオン電池と同様に時間の経過や使用状況に伴い，バッテリー容量が低下し，これに伴い航続可能距離が短くなります。
  バッテリー容量の低下は，バッテリーが元々持つ特性であり，故障などではありません。また，バッテリー容量低下の割合は，車両の使用および保管の状況，充電のしかたなどによって変化するため，残存バッテリー容量は，5 年経過時で新車時の 80％目安（10 年で 70％目安）と予測しておりますが，これを保証するものではありません。
  特に，急な加減速の繰り返し，頻繁な急速充電の実施，酷暑地での使用，高温での車両保管などの場合は低下の割合が大きくなります。
- 外気温により性能が変化することがあります。特に低温時は常温時に比べて，航続可能距離が短くなり，充電時間が長くなります。
- 使用しなくても徐々に放電しバッテリー残量が減っていきます。
- 充電前にバッテリー残量を使い切る必要はありません。

取り扱いの注意点

- 駆動用バッテリー残量計の目盛が0になった状態でお車を保管しないでください。
  目盛が0の状態でお車を保管すると電池がダメージを受け，容量低下の状態によっては，駆動用バッテリーの交換が必要になる場合があります。
- 長期間お車を使用されない場合は，駆動用バッテリー残量計の目盛が0の状態になるのを避けるため，3ヶ月ごとには，満充電するようにしてください。
- 駆動用バッテリーの回収を行っていますので，廃車するときは必ず三菱自動車販売会社にご相談ください。

航続可能距離について

J02001500057

- エアコン（冷房または暖房）は駆動用バッテリーの電力を消費するため，過度に使用すると航続可能距離がいちじるしく短くなります。
  冷やしすぎや暖めすぎにならないように，風量をこまめに絞り，さらに設定温度を控えめに調整してください。
- 充電量が同じでも走行状況によって航続可能距離は変化します。高速走行や山道の登坂は，通常よりも駆動用バッテリーの電力を消費するため，航続可能距離が短くなります。
- 道路状況に合わせてセレクターレバーをBまたはEcoに入れ，回生ブレーキを上手に使用して，駆動用バッテリーを充電すれば航続距離を延ばすことができます。

車両接近通報装置について

J02001200041

- 車速が約25km/h以下のとき，通報音で歩行者などに車両の接近などを知らせる装置です。
  →「車両接近通報装置」P. 9-14
- 車両接近通報装置が鳴っていても，歩行者には特に注意してください。歩行者は車両の接近や発進に気付かずに，事故が発生して重大な傷害または死亡につながるおそれがあります。

万一，事故が起きたときは

J02000800053

事故などにより車体に衝撃を受けたときに，パワーユニットの作動を停止する場合があります。
この場合，パワーユニットを再起動できなくなりますので三菱自動車販売会社へご連絡ください。
緊急処置が必要となるような事故が発生した場合は，エンジン車と同様の処置をしてください。また，重大な傷害または死亡につながるおそれのある重度のやけどや感電を防止するため，つぎのことに注意してください。

⚠警告

- 後発事故を防ぐため，走行可能な場合は，車両を現場付近の路肩など安全な場所に移動してください。
  また，可能な場合はつぎの処置を行い，緊急隊員が到着するまで交通のじゃまにならない場所で待機してください。
  - 輪止めをする。
  - セレクターレバーをⓅにする。
  - 駐車ブレーキをかける。
  - 窓，ドアおよびテールゲート（バン）を開ける。
  - パワースイッチをLOCK にする。
  - 非常点滅灯を点滅させるか，停止表示板などで故障表示をする。
  - キーレスエントリー付き車は，意図しないスイッチ操作によるシステム起動や事故などの影響による予期しないシステム起動の可能性を低減させるため，キーレスエントリーキーを車両から離れた場所（車外）に保管する。
- インバーターや駆動用バッテリーなどの高電圧の配線ならびにそのコネクター，他の高電圧部位に触れないでください。車両の内部または外部から露出した電線が見える場合は，感電するおそれがあります。高電圧部位については，「主な高電圧部位」を参照してください。→P. 3-3

2

⚠警告

- 駆動用バッテリー液の漏れ，車体や駆動用バッテリーの損傷は火災の原因となります。漏れや損傷などが見つかったときは，そのまま使用せず消防に通報してください。
  車内または車外に液体の漏れが見つかったときは，火気を近づけないでください。また，絶対に触れないでください。
  駆動用バッテリー液が皮膚についたり，目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い，速やかに専門医の治療を受けてください。
- ブレーキ液の漏れがあると，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  漏れが見つかったときは，そのまま使用せず三菱自動車販売会社へご連絡ください。
- 車両が損傷し，車両が安全であることを確認できない場合は，車両に触れないでください。車両から離れ，三菱自動車販売会社に連絡し，事故車が電気自動車あることを伝えてください。
- リチウムイオン電池の消火には多量の水が継続的に必要となります。万一，車両火災が発生したときは，自分で消火しようとせず，できるだけ早く車両から離れて，消防に通報してください。
  不適切な消火器の使用，小量の水での消火は重大な傷害または感電死につながるおそれがあります。
- 避難する際，有毒ガスや可燃性ガスが室内にこもらないよう，また乗員救助や消火作業を容易にするため，可能であれば窓やドア，テールゲート（バン）を開けてください。
- 他の車両火災の場合と同様に，車両から出る煙，蒸気，ガスは有毒である可能性があるため，吸わないでください。風上の高い場所に移動し，消防が来るまで交通のじゃまにならない場所で待機してください。
- 高電圧バッテリー付近から液体の漏れ，火花，煙，火炎，ゴボゴボ音，シューシュー音，またはパーンという音がする場合はバッテリー火災のおそれがあります。すぐに消防に通報してください。

⚠警告

- 車両または高電圧バッテリーが損傷している場合は，有毒ガスや可燃性ガスが発生して発火するおそれがあります。事故後しばらく時間が経過してからガスが発生することもあるため，注意してください。
- 車体が大きく破損・変形しているときにけん引される場合は，必ず4輪とも持ち上げて搬送してください。後輪が接地した状態でけん引すると，モーターが発電して火災の原因となります。
  →「けん引」P. 15-27
- 損傷している電気自動車を自分で修理しようとしないでください。三菱自動車販売会社に修理を依頼してください。
- ボデー修理や塗装の補修が必要なときは，駆動用バッテリーやインバーター，配線などの高電圧部品の取り外しが必要になるため，三菱自動車販売会社にご連絡ください。駆動用バッテリーが塗装ブースで高温にさらされると，バッテリー容量が低下します。また，駆動用バッテリーが損傷している場合，訓練されていない方が整備作業を行うと危険です。

アドバイス

- つぎの場合は自動的に高電圧遮断システムが作動し，高電圧システムが働かなくなることがあります。
  - 強い衝撃を車両に受けたとき
  - EVシステムが故障しているとき
- 高電圧遮断システムが作動しているとき，READY（走行可能）表示灯は消灯しています。→「表示灯・警告灯」P. 8-10
- 高電圧遮断システムが作動した場合は，三菱自動車販売会社にご連絡ください。

極寒時の注意事項と対処方法

J02001600061

- 外気温が低温時の走行では，暖房性能不足となる場合があります。また，暖房の使用により航続可能距離がいちじるしく短くなります。
- 外気温が約 -15°C 以下のときは，つぎのような現象となる場合がありますので，それぞれの対処方法を行ってください。
- 外気温が約 -25°C 以下では，駆動用バッテリーが凍結して，充電やパワーユニットの起動ができない場合があります。車両を暖かい場所に移動してください。

外気温目安	現象		対処方法
約 -15°C 以下	起動, 走行に関して	モーター出力が制限され, 動力性能が低下する場合があります。 このときパワーダウン警告灯*1が点灯する場合があります。 ＜参考:駆動用バッテリー温度 -15°C で, バッテリー残量 50％の場合, 動力性能が約 30％低下＞	● 周りの車両と同程度の速度が出せる場合は走行を続けてください。 ● 周りの車両と同程度の速度が出せない場合は, 安全な場所へ停止し充電するか, 安全に十分注意して走行してください。
		回生ブレーキ力が低下する場合があります。	減速するときは, ブレーキペダルを踏み足してください。
	充電, 電池に関して	充電時間が延びる場合があります。 また, 満充電にならない場合があります。	走行後すぐなど, 駆動用バッテリーが冷える前に充電してください。
約 -25°C 以下	起動, 走行に関して	モーター出力が制限され, 動力性能が低下する場合があります。 このときパワーダウン警告灯*1が点灯する場合があります。 ＜参考:駆動用バッテリー温度 -25°C で, バッテリー残量 50％の場合, 動力性能が約 50％低下＞	● 周りの車両と同程度の速度が出せる場合は走行を続けてください。 ● 周りの車両と同程度の速度が出せない場合は, 安全な場所へ停止し充電するか, 安全に十分注意して走行してください。
		回生ブレーキ力が低下または無くなる場合があります。	減速するときは, ブレーキペダルを踏み足してください。
	充電, 電池に関して	充電ができない場合があります。	走行後すぐなど, 駆動用バッテリーが冷える前に充電してください。

外気温目安	現象		対処方法
約 -30°C 以下	起動, 走行に関して	READY（走行可能）表示灯 *2 が点灯せず, パワーユニットが起動しない場合があります。 最悪の場合, 残量計や航続距離表示を残したまま走行不能となる場合があります。	日中, 気温が上がるのを待つなどして, 駆動用バッテリー周辺温度が上がってから, 起動してください。
		回生ブレーキ力が低下または無くなる場合があります。	減速するときは, ブレーキペダルを踏み足してください。
	充電, 電池に関して	充電ができない場合があります。	日中, 気温が上がるのを待つなどして, 駆動用バッテリー周辺温度が上がってから, 充電してください。

*1：→「パワーダウン警告灯」P. 8-13　パワーダウン警告灯の点灯は，お車の故障を示すものではありません。
*2：→「READY（走行可能）表示灯」P. 8-11

安全なドライブのために

3

お車のご使用前に知っておいていただきたいこと，守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
重要ですので，しっかりお読みください。

日常点検

J00200100865

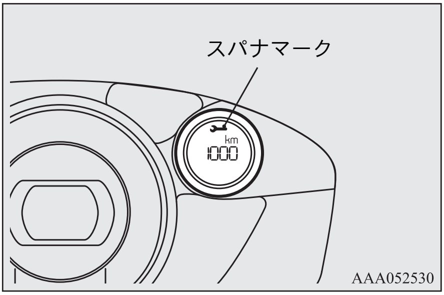
点検，整備を忘れずに

● 日常点検整備と定期点検整備は，お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。事故や故障を未然に防ぐため必ず実施してください。
● 日常点検整備は，長距離を走行するときや，洗車時などにお客様自身で行う点検整備です。
● 日常点検整備の項目および点検のしかたについては，別冊の「メンテナンスノート」に記載してありますので必ずお読みください。

● サービスリマインダーが点灯したら三菱自動車販売会社で定期点検整備を受けてください。

サービスリマインダー

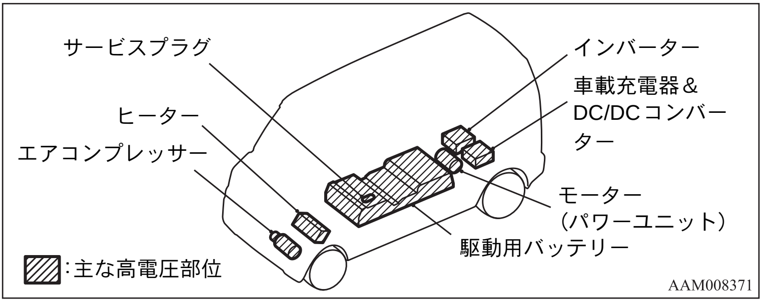
次回定期点検までの残り月数と残り距離をお知らせする機能です。
定期点検時期に近づくと，パワー スイッチをLOCKからONにしたときにメーター内のスパナマークが数秒間表示され，定期点検時期であることをお知らせします。
→「サービスリマインダー」P. 8-6



点検・整備をするときは

J00204900092

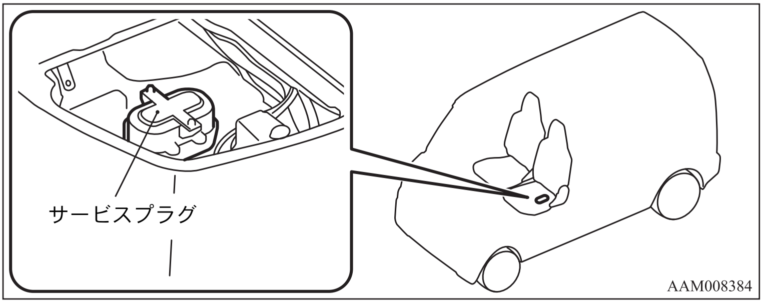
- 点検 ・ 整備をするときは，必ず車両から充電ガンを取り外し，パワースイッチがLOCKになっていることを確認してから行ってください。
- パワーユニットルーム内ではコンデンスタンク以外の部品に触れないでください。
  コンデンスタンク以外に点検が必要な部品はありません。特に高電圧を発生する部品および高電圧の配線（オレンジ色）ならびにそのコネクターの取り外し，分解などは絶対に行わないでください。また，普通充電ケーブル，普通充電ガン，プラグ，コンセントの分解は絶対に行わないでください。感電など，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
  これらの部位には取り扱い上の注意を記載したラベルが貼り付けてありますので，ラベルの指示にしたがってください。必要な整備については，三菱自動車販売会社へ依頼してください。



- EVシステムは，最大で330Vの直流高電圧が使用されるため，システム起動中や起動後，車両が止まったときに高温になることがあります。車両に貼り付けられているラベルにしたがい，高電圧と高温に注意してください。
- 高電圧バッテリーおよび関連部品には電圧がかかっており，常にバッテリーは満充電の状態であると考えてください。

3

● 助手席下にあるサービスプラグには，絶対にさわらないでください。サービスプラグは車両を修理するときなどに，三菱自動車販売会社で駆動用バッテリーの高電圧をしゃ断するためのものです。
取り扱いを誤ると感電など，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。



● READY（走行可能）表示灯が点灯しているとき，および充電ランプが点灯•点滅しているときは，高電圧システムが作動しているため，絶対に整備作業を行わないでください。
● パワーユニットルーム内の部品には高温になるものがあります。
やけどの原因となりますので，各部が十分冷えてから点検してください。
これらの部品には取り扱い上の注意を記載したラベルが貼り付けてありますので，ラベルの指示にしたがってください。
● 補機用バッテリーを取り外すときは，パワースイッチをLOCKの位置にしてから約2 分以上経過後に，接続されている＋端子や－端子を取り外してください。パワースイッチをLOCKの位置にした直後に補機用バッテリーの端子を取り外すと，電気部品故障の原因となります。
また，パワーユニット警告灯が点灯しているときは，高電圧部位に異常が発生しています。補機用バッテリーを外さずに，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

ラジエーターやコンデンスタンク（冷却水・温水ヒーター液）が熱いときは

J00205000029

- ラジエーターやコンデンスタンク（冷却水・温水ヒーター液）が熱いときは，コンデンスタンクのキャップを外さないでください。
  蒸気や熱湯が噴き出しやけどをするおそれがあります。

三菱自動車販売会社で点検を受けて

J00202100276

- つぎの場合は車が故障しているおそれがあります。
  そのままにしておくと走行に悪影響をおよぼしたり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - いつもと違う音や臭いや振動がするとき
  - ブレーキ液が不足しているとき
  - 地面に油などの漏れたあとが残っているとき

出発前は

J00200201368

シートベルトは必ず着用

● 運転する前に必ずシートベルトを着用してください。
→「シートベルト」P. 7-9

● 同乗者にもシートベルトを着用させてください。


AAA003372

燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まない

● 燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まないでください。
容器が破裂したり，蒸発ガスに引火し爆発するおそれがあります。


AAA003385

窓越しにパワーユニットを起動しない

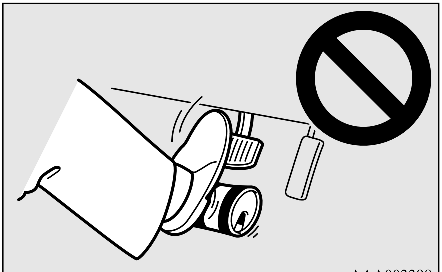
● 正しい運転姿勢で運転席に座り，パワーユニットを起動する習慣をつけましょう。

● セレクターレバーがⓅの位置にあることを確認します。
思わぬ事故を避けるため，ブレーキペダルを右足でしっかり踏んでパワーユニットを起動する習慣をつけてください。
→「パワーユニット起動のしかた」P. 9-7

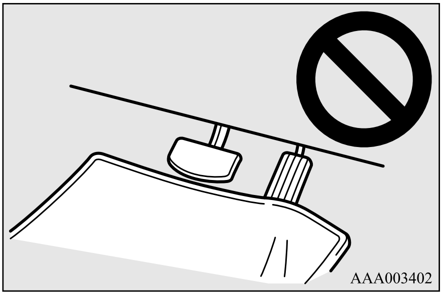
● 窓越しなど車外からパワーユニットを起動しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転席の足元付近を点検

● ブレーキペダルの下に物がころがり込むと，ブレーキ操作ができなくなるおそれがあります。
出発前に運転席の足元付近を点検してください。


AAA003398

● フロアマットはペダルに引っかからないよう，車にあったものを正しく敷いてください。
→「フロアマット」P. 10-8
正しく敷かないと，ペダル操作の妨げになり，重大な事故につながるおそれがありますので，つぎのことをお守りください。
- ずれないよう固定クリップで確実に固定する。
- ペダルをおおわない。
- 重ねて敷かない。
- アクセルペダルの下に敷かない。


AAA003402

荷物を積むときは

J00203000155

● 荷物は必ず指定積載重量までにしてください。
＜トラック＞
350kg
＜バン＞
2人乗りの場合：350kg
4人乗りの場合：200kg

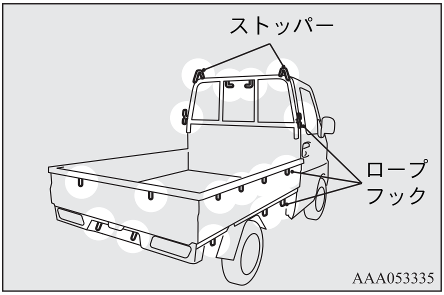
● バンに荷物を積むときは，荷物はできるだけ低くし，シートの高さ以上に積まないでください。
後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたとき，荷物が前方に飛び出してケガをするなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。
また，コーナリングのとき，車の揺れが大きくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

● 重い荷物はできるだけ前の方に積んでください。
後ろの方が重くなるとハンドルが不安定になります。

● 荷物は荷くずれしないようにしっかりと固定してください。

● トラックにロープをかけるときは，ロープフックに確実にかけてください。
ロープフック以外の場所にロープをかけると，変形によってゆがみが生じ，荷物が落下するおそれがあります。

● トラックのトリイの上に長い荷物を立てかけるときは，必ずストッパーの間に立てかけ，ロープをロープフックに確実にかけて固定してください。



AAA053335

お子さまを乗せるときは

J00200301503

お子さまは後席のある車に乗せる

- 助手席ではお子さまの動作が気になり運転の妨げになるだけでなく，お子さまが運転装置にふれて，重大な事故につながるおそれがあります。
- トラックにお子さまを乗せることはおすすめしません。
- やむを得ず助手席にお子さまを乗せるときでも，つぎのことをお守りください。
  - 必ずシートベルトを着用する
  - シートに深く腰かけて，背もたれに背中がついた正しい姿勢で座らせる
- お子さまがシートベルトやチャイルドシートを使用せずにインストルメントパネルの前に立っていたり，助手席に正しい姿勢で座っていなかったりすると，助手席SRSエアバッグ付き車はSRSエアバッグが膨らむ際，SRSエアバッグにより，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。



お子さまにもシートベルトを必ず着用させる

- ひざの上にお子さまを抱かないでください。
  急ブレーキをかけたときや衝突したときなど，腕だけでは十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。



- 後席でも必ずシートベルトを着用してください。

お子さまにはチャイルドシートを使用する

- シートベルトを着けたとき，肩部のベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまには，体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
→「チャイルドシート」P. 7-14
通常のシートベルトでは，衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 6 才未満のお子さまは，チャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
- 助手席SRSエアバッグ付き車は，助手席に乳児用シート（ベビーシート）など後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
助手席SRSエアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。



AAA003242

ドア，ウインドウ，シートの操作は大人が行う

- 手や顔などをはさまないよう注意して操作してください。

窓から手や顔を出させない

- 窓から手や顔を出していると，車外の物などに当たったり，急ブレーキをかけたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。


AAA011137

お子さまをシートベルトで遊ばせない

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると，窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
万一，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。


AGA002982

車から離れるときはキーを抜いてお子さまも一緒に

● お子さまだけを車内に残さないでください。
炎天下での車内は高温となり，熱中症になるおそれがあります。
● キーを差したままにしておくと，お子さまのいたずらにより，電装品の誤った操作，車の発進，火災など，重大な事故につながるおそれがあります。


TAA004004

お子さまを荷室で遊ばせない（バン）

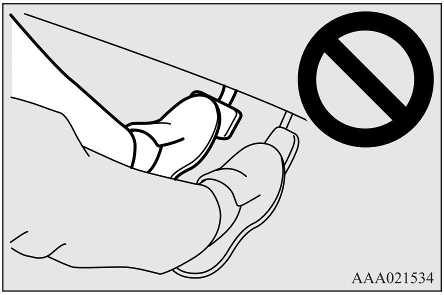
● 荷室は人が乗る構造になっておりません。
お子さまを乗せたり，遊ばせたりしないでください。
万一の場合，重大な事故につながるおそれがあります。

走行するときは

J00200400653

ブレーキペダルは右足で

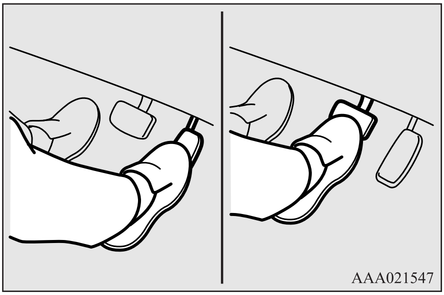
● 左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。



AAA021534

パワーユニットを起動する前に

● アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。
アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。



AAA021547

● セレクターレバーがⓅの位置にあることを確認してください。



AAA007237

3

パワーユニットを起動するときは

- ブレーキペダルを右足で踏んだままパワーユニットを起動します。
→「パワーユニット起動のしかた」P. 9-7

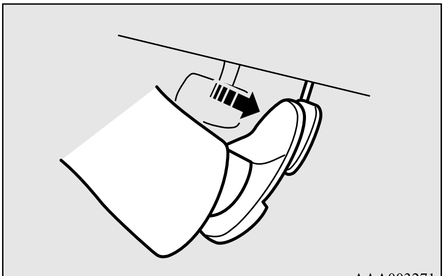
発進するときは

- READY（走行可能）表示灯が点灯した後，セレクターレバーを操作してください。
- ブレーキペダルを右足で踏んだままセレクターレバーを操作します。

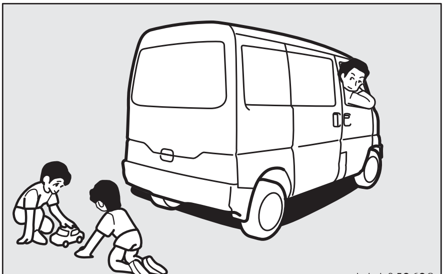


AAA007279

- アクセルペダルを踏み込みながらセレクターレバーを操作しないでください。
急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。
また，車両の故障の原因になります。
- Ⓡに入れるとブザーが鳴ります。
ブザーは車の外には聞こえませんので注意してください。
- 発進するときは，ブレーキペダルから徐々に足を離し，アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。


AAA003271

- エンジン音がしないため，周囲の状況に十分注意して安全運転に心がけてください。
- 駐車後や信号待ちなどで停車したあとは，子どもや障害物など，車のまわりの安全を十分確認してから発進してください。
- 車をバックさせるときは目で後方を確認してください。
バックミラーでは確認できない死角があります。


AAA052628

同乗者はシートを倒して寝ころばない

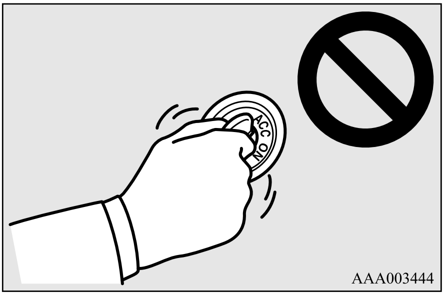
- 走行中，同乗者はシートを倒して寝ころばないでください。
  シートを倒して寝ころんでいると，急ブレーキをかけたときや衝突したときなど，身体がシートベルトの下にもぐり込み，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。



AAA003431

走行中は

- 走行中はパワースイッチを ACC にしないでください。
  走行中にパワースイッチを ACC にすると，パワーユニットが停止し，ブレーキの効きが悪くなったり，ハンドルが非常に重くなることがあるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。



AAA003444

- 走行中は，セレクターレバーを🅝に入れないでください。
  誤って🅟，🅡に入れてしまったり，回生ブレーキがまったく効かなくなり，思わぬ事故の原因になります。
  また，車両の故障の原因になります。

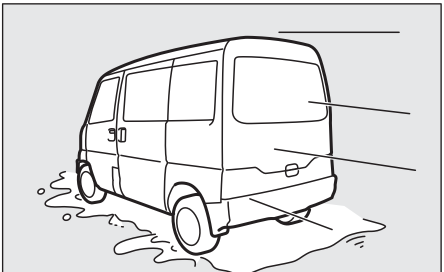
急発進，急加速，急ブレーキ，急ハンドルは避けて

- 急ブレーキや急ハンドルは車両のコントロールができなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  スピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。

雨天時や水たまりを走行するときは

J00202200600

- 雨天時やぬれた道路ではスピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。
  特に雨の降りはじめは路面が滑りやすいため注意してください。
- 水たまり走行後や洗車後，ブレーキに水がかかると一時的にブレーキの効きが悪くなることがあります。
  ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
- わだちなど水のたまっている場所を高速で走行すると，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。
- タイヤがすり減っていたり，空気圧が適正でないと，スリップしたり，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。



AAA052631

ハイドロプレーニング現象とは…

- 水のたまっている道路を高速で走行するとき，あるスピード以上になるとタイヤが路面の水を排除できず，水上を滑走する状態になり，車のコントロールが効かなくなる現象。

冠水した道路を走行しない

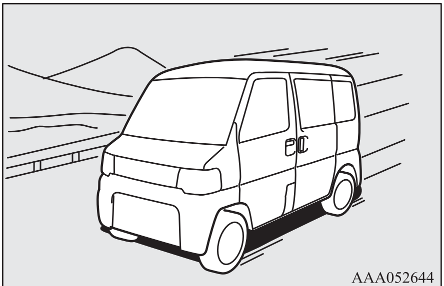
J00204800017

- 冠水した道路を走行すると，パワーユニットが停止するだけでなく，漏電やショートなど故障の原因になります。
  やむをえず冠水した道路を走行し，水に浸ってしまったときは，必ず三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

下り坂では回生ブレーキを併用

J00203600050

- ぬれた道路や凍結した道路での急激な回生ブレーキは避けてください。
  スリップして重大な事故につながるおそれがあります。
- 長い下り坂でフットブレーキのみを多く使用すると，ベーパロックやフェード現象を起こし，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
  坂の勾配に応じて必ず回生ブレーキを併用してください。
- 駆動用バッテリーの充電量が満充電に近いときまたは駆動用バッテリーの温度が低いときは回生ブレーキの効きが弱くなることがあります。このようなときはスピードを控えて走行してください。



AAA052644

回生ブレーキとは…

- エンジン車のエンジンブレーキに相当します。走行中アクセルペダルから足を離したときに，モーターを発電機として使用して運動エネルギーを電気エネルギーに変換します。
  この変換時にブレーキ力が発生し，変換された電気エネルギーは駆動用バッテリーに充電されます。
- ブレーキペダルを踏み込んだとき，回生ブレーキの効きが強くなります。また，セレクターレバーの位置がD→Eco→Bの順に回生ブレーキの効きが強くなります。
  走行状況に合わせて，セレクターレバーをEcoまたはBに入れてください。
- パワーユニットに異常があるとき，またはABSやTCLが作動しているとき，回生ブレーキの働きは制限されます。このとき，フットブレーキは働きます。

ベーパロックとは…

- ブレーキ液がブレーキの摩擦熱により過熱されて沸騰することにより気泡が発生し，ブレーキペダルを踏んでも気泡を圧縮するだけでブレーキが効かなくなる現象。

フェード現象とは…

- ブレーキパッドまたは，ブレーキライニングの摩擦面が過熱されることにより摩擦力が低下し，ブレーキの効きが悪くなる現象。

ブレーキペダルをフットレストがわりにしない

J00202400019

- ブレーキペダルに常に足をのせ，フットレストがわりにすることは避けてください。
  ブレーキ部品が早く摩耗したり，ブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。

スタック（立ち往生）したときは

J00202600271

- スタックしたときは，タイヤを高速で回転させないでください。
  タイヤがバースト（破裂）したり，異常過熱により，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  →「タイヤがスリップして発進できない」P. 15-7

寒冷時にブレーキの効きが悪くなったときは

J00202700171

- 寒冷時や雪道走行ではブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
  ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。

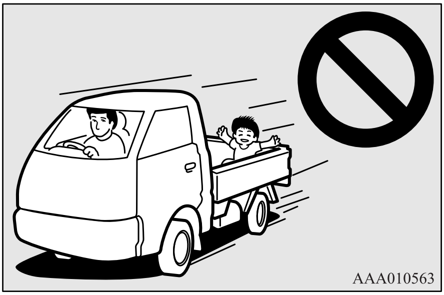
段差などを通過するときは

J00203300086

- 段差などを通過するときは，できるだけゆっくり走行してください。
  段差や凹凸のある路面を通過するときの衝撃によりタイヤおよびホイールを損傷するおそれがあります。
  またつぎのような場合，車体，バンパーなどを損傷するおそれがありますので十分注意してください。
  - 駐車場の出入口
  - 路肩や車止めのある場所
  - 勾配の急な場所
  - わだちのある道路

トラックの荷台に人を乗せたまま走行しない

J00202900030



- 荷台に人を乗せたまま走行しないでください。
  万一の場合，重大な事故につながるおそれがあります。

停車中は

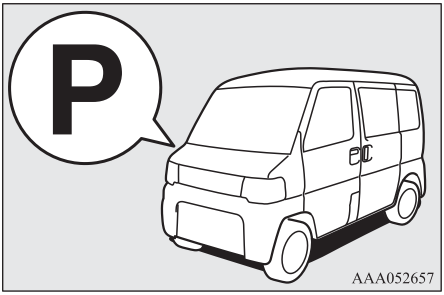
J00203700019

- 停車中は，むやみにアクセルペダルを踏み込まないでください。
  万一，セレクターレバーがⓅ，Ⓝ以外に入っていた場合，思わぬ急発進の原因になります。

駐車するときは

J00203800036

- 駐車するときは，ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れます。
- 車が完全に止まらないうちにⓅに入れると，急停止してけがをするおそれがあります。
  また，車両の故障の原因になります。
- 車から離れるときは，必ずパワースイッチをLOCKまで回し，READY（走行可能）表示灯が消灯したことを確認してください。
  READY（走行可能）表示灯が点灯したままにしておくと，万一，セレクターレバーがⓅ，Ⓝ以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。



その他に気をつけること

J00203900011

- 車を少し移動させるときでも，正しい運転姿勢をとり，ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
- 少しだけ後退したときなどは，セレクターレバーがⓇに入っていることを忘れてしまうことがあります。
  後退した後は，すぐにⓇからⓅまたはⓃに戻す習慣をつけましょう。
- 車を後退させるときは，身体を後ろにひねった姿勢になり，ペダルの操作がしにくくなります。
  ブレーキペダルが確実に踏めるように注意してください。
- 切り返しなどでⒹからⓇ，ⓇからⒹと何度もレバーを操作するときは，そのつどブレーキペダルをしっかりと踏み，車を完全に止めてから行ってください。
  車が動いているうちにⓅやⓇに入れると，車両の故障の原因になります。

走行中に異常に気づいたら

J00200500999

走行中に READY（走行可能）表示灯が消灯したときは

- 走行中に READY（走行可能）表示灯が消灯したときは，運転操作に変化がおきますので，つぎの点に注意して車を安全な場所に止めてください。
  - ブレーキ倍力装置が働かなくなることがあり，その場合，ブレーキの効きが非常に悪くなりますので，通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。
    ブレーキペダルから足を離し，再び踏み直すと，ブレーキの効きがさらに悪くなります。
  - 万一，スピードが落ちないときは，駐車ブレーキを慎重にかけてください。このときも，ブレーキペダルは強く踏み続けてください。
  - パワーステアリング装置が働かなくなることがあり，その場合，ハンドルが 非常に重くなります。

走行中にタイヤがパンクまたはバースト（破裂）したときは

- 走行中にタイヤがパンクまたはバーストすると，車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
  ハンドルをしっかり持ち，徐々にブレーキをかけてスピードを落としてください。
- つぎのようなときは，パンクやバーストが考えられます。
  - ハンドルがとられるとき
  - 異常な振動があるとき
  - 車両が異常に傾いたとき

警告灯が点灯または点滅したときは

- 警告灯が点灯または点滅したときは，安全な場所に停車し，適切な処置をしてください。
  →「警告灯が点灯または点滅したときは！」P. 15-2
  点灯または点滅したまま走行すると，思わぬ事故を引き起こしたり，モーター（パワーユニット）などを損傷するおそれがあります。

車体床下に強い衝撃を受けたときは

- 車体床下に強い衝撃を受けたときは，すぐに安全な場所に車を止めて下まわりを点検してください。
  駆動用バッテリー液の漏れ，車体や駆動用バッテリーの損傷は火災の原因となります。漏れや損傷などが見つかったときは，そのまま使用せず消防に通報してください。
- 車内または車外に液体の漏れが見つかったときは，火気を近づけないでください。
  また，絶対に触れないでください。
  駆動用バッテリー液が皮膚についたり，目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い，速やかに専門医の治療を受けてください。
- ブレーキ液の漏れがあると，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  漏れが見つかったときは，そのまま使用せず三菱自動車販売会社へご連絡ください。

駐停車するときは

J00200701174

長時間 READY（走行可能）表示灯が点灯したままでの停車は避ける

- 長く停車するときは，パワースイッチを LOCK まで回し，READY（走行可能）表示灯が消灯したことを確認してください。
  READY（走行可能）表示灯が点灯したままにしておくと，航続可能距離が短くなります。
- 無意識にセレクターレバーを動かしたり，アクセルペダルの踏み込みにより，不用意な発進など，重大な事故につながるおそれがあります。

車から離れるときは

- 車が無人で動き出したり，盗難にあうおそれがありますので，車から離れるときは必ずつぎのことをお守りください。
  - 駐車ブレーキをかける。
  - セレクターレバーをⓅに入れる。
  - パワースイッチをLOCKにする。
  - キーを抜き，ドアを施錠する。

  また，施錠していても車内に貴重品を置いたままにしないでください。

車を移動するときは必ず READY（走行可能）表示灯を点灯させる

- READY（走行可能）表示灯が点灯していないと，ブレーキの効きが悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  坂道で車を移動させるときも，必ずパワースイッチを START まで回し，READY（走行可能）表示灯を点灯させてください。

坂道に駐車するときは

- 坂道に駐車するときは，駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れてください。さらに輪止めをすると効果があります。
  輪止めは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
  輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。
- 急な坂道での駐車は避けてください。
  無人で車が動き出すなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けない

- ハンドル操作力が重くなることがあります。
  →「電動パワーステアリング」P. 9-17

3

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は

J00206600035

走行中はバンの荷室に乗らない，乗せない

- 走行中はバンの荷室に乗らないでください。また，走行中は荷室に医療用電気機器を使用している方を乗せないでください。医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

充電作業をする前に

- 充電による影響について医療用電気機器製造業者などに確認してから充電作業を行ってください。充電が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。
  →「普通充電のしかた（AC 200Vコンセントまたは AC 100V コンセントでの充電方法）」P. 5-4
  →「急速充電のしかた（急速充電器での充電方法）」P. 5-15

普通充電をするときは

- 充電中につぎのことをお守りください。
  - 充電ガンやコントロールボックスに近づかないでください。
  - 車内にとどまらないでください。
  - 物を取るときなどに，荷室を含めた車内に入り込まないでください。

  →「普通充電のしかた（AC 200Vコンセントまたは AC 100V コンセントでの充電方法）」P. 5-4

こんなことにも注意

J00200901411

洗車をするときは

● 洗車のときはパワースイッチをLOCKにしてください。
● 駆動用バッテリーを充電しながら洗車をしないでください。
火災，感電の原因となります。
● 洗車をする前には，充電リッドおよび中ブタが確実に閉まっていることを確認してください。
リッドが開いていると充電装置に水がかかり，火災，感電の原因となります。

運転中に自動車電話や携帯電話を使用しない

● 運転中，運転者が自動車電話や携帯電話を使用すると周囲の状況に対する注意が不十分になり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
● 運転中，運転者がハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用することは法律で禁止されています。

オーディオの操作は停車してから

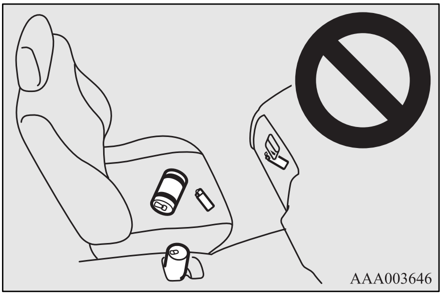
● 走行中にオーディオまたは，カーナビゲーションなどの操作をしないでください。
操作に気をとられて思わぬ事故につながるおそれがあります。

喫煙しながらの運転は控える

● 喫煙しながらの運転は控えてください。
注意がおろそかになり，思わぬ事故を招くことがあります。

車内にライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しない

● 車内にライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しないでください。
強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，ライターなどの可燃物は自然発火したり，炭酸飲料やビールなどの缶は破裂するおそれがあります。また，プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形，ひび割れをおこすおそれがあります。

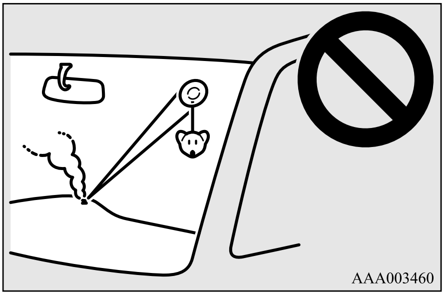


灰皿を使用したあとは

● 灰皿を使用したあとは，マッチやタバコの火は確実に消し，必ず閉めてください。
万一の場合，火災になるおそれがあります。

アクセサリー取り付け時の注意

- ウインドウガラスなどにアクセサリーをつけたり，インストルメントパネルの上に芳香剤などを置かないでください。
運転の妨げになったり，吸盤や芳香剤の容器がレンズの働きをして火災など，思わぬ事故の原因となります。



- 塗装が施されている部分にはアクセサリーなどをつけないでください。
吸盤に含まれる特殊な成分により，塗装面がはがれたり，変色したりするおそれがあります。

タイヤ，ホイールは指定サイズを使用

- タイヤ，ホイールのサイズなどは三菱自動車工業が国土交通省に届け出をしています。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
- ホイールは，リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも，車体に干渉したり，強度が不足して使えないときがありますので，指定以外のホイールは使用しないでください。

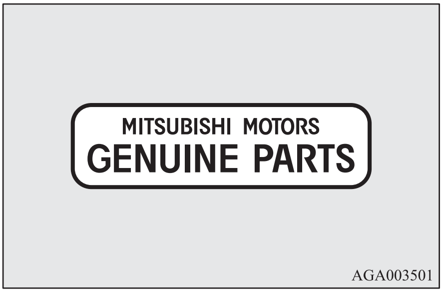
→「タイヤ，ホイールのサイズ」P. 16-4

READY（走行可能）表示灯を点灯させたままジャッキアップしない

- READY（走行可能）表示灯を点灯させたままジャッキアップすると，ジャッキから車体が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

違法改造はしない

- 法律で認められている改造以外は行わないでください。
  また，三菱自動車純正以外の部品を装着すると，車の性能や機能に影響し，思いがけない事故が発生するおそれがあります。



AGA003501

電装品や無線機などの注意

- 電装品や無線機などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。
  配線が車体に干渉したり，保護ヒューズがないなど取付け方法が適切でないと，電子機器部品に悪影響をおよぼしたり，火災など，思わぬ事故につながるおそれがあります。

MEMO

環境にやさしく快適なドライブのために

経済的な運転をするために

J00300200362

無駄な荷物を載せない

J00300500017

- 不要な荷物を降ろして重量を軽くしてください。

発進，加速はスムーズに

J00300600018

- 不必要な急発進，急加速，急減速など，アクセルペダルをバタつかせるような運転は避け，アクセルペダルの操作はゆるやかに行ってください。

速度はできるだけ一定に

J00300800010

- 法定速度を守り，できるだけ一定のスピードで運転してください。

駐車時はパワースイッチをLOCKに

J00301800020

- READY（走行可能）表示灯が点灯したまま長い間駐車すると，航続可能距離が短くなります。

タイヤの空気圧は定期的にチェック

J00301100010

- タイヤの空気圧はこまめに点検し，常に規定の空気圧に調整してください。

エアコンは控えめに

J00301200053

- エアコン（冷房または暖房）は駆動用バッテリーの電力を消費するため，過度に使用すると航続可能距離がいちじるしく短くなります。
  冷やしすぎや暖めすぎにならないように，風量をこまめに絞り，さらに設定温度を控えめに調整してください。

その他に気を付けること

J00301300041

- 車間距離を十分にとり，不必要なブレーキをかけないようにしてください。
- 回生ブレーキを使用すると，駆動用バッテリーに充電することもできます。
  →「回生ブレーキとは」P. 2-2，3-15
- 下り坂では早めにアクセルペダルを戻し，回生ブレーキを使用してください。
- 高速道路でも不必要な高速走行は避けてください。

機能を上手く使うために

J00300300015

携帯電話やパソコンなどの電子機器からの影響

- 車内で携帯電話を使用すると，オーディオから雑音が出ることがあります。
  このときは，携帯電話をオーディオからできるだけ離して使用してください。
- 車内や車の近くでパソコンなどの電子機器を使用すると，カーナビゲーションが正常に作動しないことがあります。
  このときは，電子機器を車からできるだけ離して使用してください。

環境保護のために守っていただきたいこと

J00300400162

廃棄物を処理するときは

J00301500056

- 補機用バッテリーは，鉛や希硫酸が使われています。
  使用済みの補機用バッテリーは，新品バッテリーを購入した販売店に処分を依頼してください。
- タイヤを燃やすと，有害なガスを発生させます。
  使用済みのタイヤは，新品タイヤを購入した販売店に処分を依頼してください。
- 冷却水などを地下や河川などに流すと，水質汚濁の原因となります。
  冷却水などを交換する場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

エアコンの冷媒ガスについて

J00301600015

- エアコン冷媒は，オゾン層を破壊させない代替フロンガス HFC-134a (R134a) を使用していますが，この代替フロンガスにも地球を温暖化させる働きがあります。エアコンの効きが悪い場合は三菱自動車販売会社でガス漏れの点検を行い，ガスの大気放出を防止してください。

4

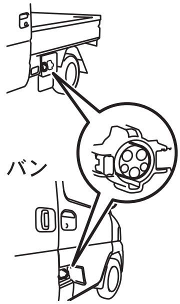
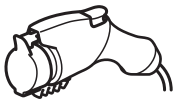
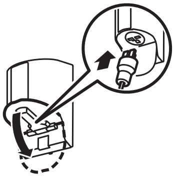
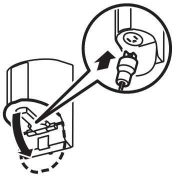
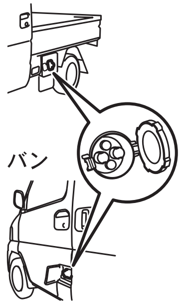
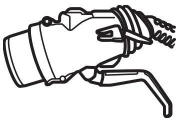
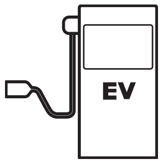
MEMO

充電

充電

J01802100080

駆動用バッテリーを充電するのに以下の方法があります。

種類	充電給電口	充電ガン	電源	充電時間 *[1]	参照
普通充電 (AC 200V)				総電力量 **16.0kWh車** 約7時間 総電力量 **10.5kWh車** 約4.5時間	P. 5-4
普通充電 (AC 100V)*[2] タイプ別装備				総電力量 **16.0kWh車** 約21時間 総電力量 **10.5kWh車** 約14時間	P. 5-4
急速充電 タイプ別装備				総電力量 **16.0kWh車** 約35分*[3] (満充電の80%まで) 総電力量 **10.5kWh車** 約15分*[3] (満充電の80%まで)	P. 5-15

*[1]: 充電時間はバッテリーの状態，車両の使用環境，急速充電器の仕様によって異なります。

*[2]: AC 100V用の普通充電ケーブルは，標準装備されておりません。
必要なときは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。

*[3]: 急速充電器の出力が50kW仕様の場合の充電時間です。

バッテリーについて

J01800100044

お車にはモーター（パワーユニット）およびエアコンを作動させる駆動用バッテリーとパワーユニットの起動，照明，ワイパーなどを作動させる補機用バッテリーの 2 種類が搭載されています。本章では駆動用バッテリーの充電について説明します。

アドバイス

- 補機用バッテリーは READY（走行可能）表示灯の点灯中または駆動用バッテリーの充電中に自動的に充電されます。
- 補機用バッテリーがバッテリー上がりを起こしているときは，パワーユニットを起動できません。
また，充電もできません。
→「補機用バッテリーが上がったときは！」P. 15-24

充電について

J01800200146

普通充電は AC 200V*1 または AC 100V*2 の EV 充電用コンセントを電源として，車載の普通充電ケーブルを使用して行います。
急速充電（タイプ別装備）は，CHAdeMO（チャデモ）規格に準拠した急速充電器で行います。
（CHAdeMO とは，日本の電気自動車用急速充電規格です。）
なお，普通充電は，公共用および家庭用に市販された充電ケーブル付き普通充電器を使用して行うことも可能です。ただし，これらの充電器には，MINICAB-MiEV の充電に対応していないものや，車載の普通充電ケーブルとは充電時間が異なるものがある可能性がありますので，各充電器のマニュアルおよび仕様をご確認の上，ご使用ください。

*1: AC 200V 普通充電ケーブル使用時
*2: AC 100V 普通充電ケーブル（タイプ別装備）使用時

⚠警告

- AC 200V•AC 100V いずれの場合も，20A 以上の専用分岐回路に接続された EV 充電用コンセントを使用してください。
また，電源回路には漏電遮断器を設置し，コンセントにはアース接続を施してください。EV 充電用以外のコンセントを使用した場合，または専用の電源回路を使わない場合は配線の異常過熱，ブレーカーによる電気回路の遮断，他の電気機器への悪影響などが発生することがあります。
- 設置場所が屋外，または雨水などで濡れる可能性がある場合には，防水処理された EV 充電用コンセントを使用してください。

5

⚠警告

- 雨や雪の日でも充電はできます。ただし，感電を防止するためつぎのことに注意してください。
  - 充電給電口，充電ガン，コンセント，プラグを濡れた手でさわらない。
  - 充電給電口，充電ガン，コンセント，プラグの端子部が濡れないように接続する。
  - 大雨，大雪，強風，雷などの悪天候のときや，今後悪天候が予想されるときは，屋外での充電は行わない。
- 充電給電口や充電ガンに水が入ると漏電の原因となり，火災，感電のおそれがあります。充電リッドおよび中ブタを空けたままにしたり，充電ケーブルを屋外に放置しないようご注意ください。
- 充電中にコンセントの接続部分が雪に埋もれてしまったときは，先にコンセントにつながっている手元スイッチまたはブレーカーを切ってから，雪を除去してプラグを抜いてください。
  充電中に車両が雪に埋もれてしまった場合も雪を除去してから，充電ガンを抜いてください。
- 外出先で普通充電をする場合，普通充電器の一部は，この車両に対応していないことがあります。使用する前に，この車両に対応していることを普通充電器の管理者または充電器メーカーにお問い合わせください。また，充電作業は充電器本体に表示された操作手順にしたがって行ってください。

アドバイス

- 駆動用バッテリーの容量を維持するため，つぎのことをおすすめします。
  - 2週間に1回程度は，普通充電で満充電にする。
  - 満充電付近で充電を繰り返さない。
  - できるだけ普通充電で充電する。
- 普通充電と急速充電（タイプ別装備）を同時に行うと，急速充電が優先され，普通充電は停止します。
- 充電中に停電が発生したときは，電気の復旧とともに充電も自動的に再開されます。

普通充電のしかた（AC 200Vコンセント*1またはAC 100Vコンセント*2での充電方法）

J01801200130

*1: AC 200V普通充電ケーブル使用時
*2: AC 100V普通充電ケーブル（タイプ別装備）使用時

⚠警告

- 安全のため，充電はお子さまや不慣れな方だけで行わないでください。また，充電ガンを幼児の手の届くところで使用しないでください。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は，充電による影響について医療用電気機器製造業者などに確認してから充電作業を行ってください。充電が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は，充電中につぎのことをお守りください。
  - 充電ガンやコントロールボックスに近づかないでください。
  - 車内にとどまらないでください。
  - 物を取るときなどに，荷室を含めた車内に入り込まないでください。
- 普通充電ケーブルを束ねたり，巻き付けた状態で充電しないでください。普通充電ケーブルが過熱し発火の原因となります。
- 充電前に，充電給電口および充電ガンにほこりなどの異物が入っていないことを確認してください。
  このとき充電給電口に手を触れないようにしてください。ほこりなどの異物が入り込んでいる場合は，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- 充電ガンと充電給電口を接続する際，接続部に水やほこりなどの異物が入らないようにしてください。
  水やほこりなどの異物が入ったまま接続すると火災，感電の原因となります。
  接続部に強く水などがかかるおそれのあるときは充電しないでください。

⚠警告

- 充電機器を取り扱うときはつぎの点に注意してください。火災，感電，ショートの原因となります。
  - 普通充電ケーブルを抜き差しするときは，ケーブル部を引っ張って抜かないでください。プラグ部を持って抜いてください。
  - 普通充電ガン，コントロールボックス，プラグは水の中につけないでください。
- 感電など充電中の事故を防ぐため，つぎのことをお守りください。
  - 普通充電ケーブルは，必ずこの車両用のものを使用する。
  - 防水処置のされているコンセントを使用する。
  - ボデーカバーをかけたまま充電しない。
  - 濡れた手でプラグの抜き差しをしない。
  - 落雷のおそれがある場合には充電を行わない。
- 普通充電ケーブルやプラグが損傷していたり，異物が入り接続できない場合は，無理に接続しないでください。
- プラグや充電ケーブル，コントロールボックスに異常な発熱を感じたらすぐに使用を中止してください。使用中表面が暖かくなることがありますが故障ではありません。
- いつもと違う臭いがしたり，車両から煙が出ているときは，すみやかに充電を中止してください。
- 周囲が囲まれた換気の悪い場所で充電しないでください。また補機用バッテリーに火気を近づけないでください。
  充電の際に補機用バッテリーから発生する可燃性ガスが建物内などに充満して，爆発するおそれがあります。
  やむを得ず充電するときは，換気を十分に行ってください。

⚠注意

- 発電機などAC 200VまたはAC 100V コンセント以外の電源から充電を行なわないでください。故障の原因となります。
- 充電中, パワースイッチがLOCKの位置でも，点検口内（運転席／助手席下）の冷却ファンが自動的に作動することがあります。
  充電中は，冷却ファンに手を近づけないでください。

アドバイス

- 普通充電ガンや普通充電給電口に異物が入り接続ができなくなったときは，無理に接続せずに三菱自動車販売会社にご連絡ください。無理に接続しようとすると，充電装置と車両が破損するおそれがあります。
- 充電中は盗難などを防ぐため，必ずドアを施錠してください。

5

◆ 普通充電ケーブル

J01801800110

付属の袋に普通充電ケーブルが入っています。

- AC 200V普通充電ケーブル5m

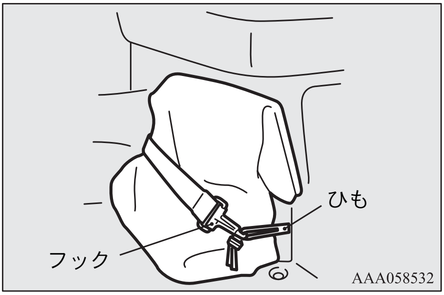
つぎの普通充電ケーブルが必要なときは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。

- AC 200V普通充電ケーブル10m
- AC 100V普通充電ケーブル5m

5

普通充電ケーブルの固定（トラック）

トラックの普通充電ケーブルは，収納袋のフックを助手席の足元にあるひもにかけて固定することができます。



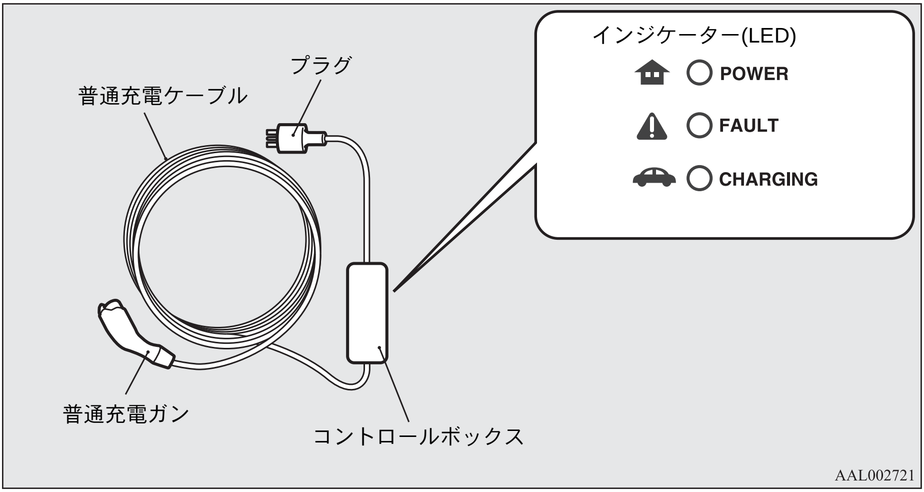
⚠注意

- 普通充電ケーブルを固定しないときは，ひもをカーペットの切り欠きの中に収納してください。収納しないと乗り降りの際，ひもに足を引っ掛けて，けがをするおそれがあります。



コントロールボックス

普通充電ケーブルには，コントロールボックスが装備されています。



インジケーターは以下の状況で点灯，点滅します。

○：点灯　◎：点滅　●：消灯

POWER	FAULT	CHARGING	作動状態
○	○	○	普通充電ケーブルのプラグをコンセントに接続するたびに，作動確認のため，すべてのインジケーターが約0.5秒点灯します。
○	●	●	作動確認が完了した後，普通充電ケーブルを充電口に接続していないか，充電口に接続していても充電が行われていないことを示します。
○	●	○	駆動用バッテリーが充電されています。
○	●	◎	充電が終了したことを示します。

5

POWER 🏠	FAULT ⚠	CHARGING 🚗	異常検知時作動状態および必要な対応
○	◎	●	漏電しているか, 普通充電ケーブルが故障しています。すぐに使用を中止して, 三菱自動車販売会社にご連絡ください。
○	○	●	普通充電ケーブルが故障しています。すぐに使用を中止して, 三菱自動車販売会社にご連絡ください。
●	●	●	コンセントが通電していないか, 普通充電ケーブルが故障しています。 コンセントに電源がきているにもかかわらず, プラグをコンセントに接続してもインジケーターが点灯しないときは, すぐに使用を中止して, 三菱自動車販売会社にご連絡ください。

5

⚠警告

- コントロールボックスの POWER とCHARGING インジケーターが点灯しないとき, または充電中にFAULTインジケーターが点滅または点灯したときは, すぐに普通充電ケーブルを取り外し, 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- 普通充電ケーブルの改造・分解はしないでください。火災, 感電, けがの原因となります。
- 普通充電ケーブルを使用しないときは普通充電ガンのキャップを必ず取り付け, 水で濡れたりほこりが入らない場所に保管してください。普通充電ガンやプラグの金属端子部に水やほこりなどの異物が入ると火災, 故障の原因となります。
- 普通充電ケーブル, 普通充電給電口, 普通充電ガン, プラグ, コンセントに損傷, 腐食, さびがある場合, またプラグを挿してグラグラするような劣化したコンセントでは充電しないでください。火災, 感電, ショートの原因になります。
- 普通充電ケーブルを取り扱うときはつぎの点に注意してください。
  ケーブルの損傷から, 火災, 感電, ショートの原因となります。
  - 落としたり, 強い衝撃を与えない。
  - 無理に引っ張らない。
  - ねじらない。
  - 引きずらない。
  - 上にものを載せない。
  - ストーブなどの熱器具に近づけない。

アドバイス

- 普通充電ケーブルをこの車両以外に使用しないでください。
- 普通充電ケーブルは，日本国内のEV充電用AC200Vコンセント*[1]またはEV充電用AC100Vコンセント*[2]専用です。
- プラグをコンセントに差し込んだとき，作動確認のためコントロールボックスの全てのインジケーターが一瞬点灯し，その後に POWER インジケーターが点灯，CHARGING インジケーターが点滅し続けます。
- 充電が完了したとき，コントロールボックスの CHARGING インジケーターが点滅します。なお，コンセントがつながっている間は POWER インジケーターが点灯し続けます。

*1: AC 200V普通充電ケーブル使用時

*2: AC 100V 普通充電ケーブル（タイプ別装備）使用時

コントロールボックスの取り扱い

⚠警告

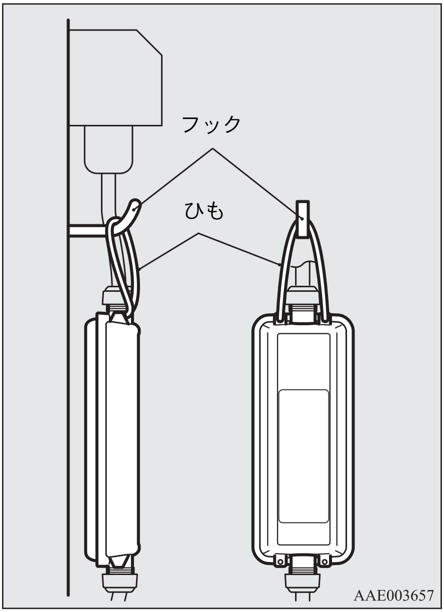
- コントロールボックスを取り扱うときはつぎの点に注意してください。コントロールボックスの損傷から火災，感電，けがの原因となります。
  - 改造・分解はしない。
  - 水の中につけない。
  - 強い衝撃を与えたり，落としたりしない。

⚠注意

- ケーブルやコントロールボックスに足を引っ掛けるなどして強い力が加わると，コンセントおよびプラグが破損するおそれがありますので，注意してください。

アドバイス

- コントロールボックスにひもを通して，フックに吊り下げることができます。
- フックおよびひもを使用する際は，普通充電ケーブルの重さ（約4kg）に耐えられるものを使用してください。



5

普通充電ケーブルのお手入れ

1. ガーゼなどの柔らかい布に，中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，軽くふき取ります。
2. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。
3. 水分をよくふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

⚠警告

- お手入れの際は，必ずプラグおよび普通充電ガンをコンセントから抜いてください。また，濡れた手で抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 普通充電ガンおよびプラグの金属端子部には水や中性洗剤を付けないようにしてください。水などが付いたままで使用すると火災，感電の原因となります。

⚠注意

- ベンジン，ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないください。変形，変色，故障の原因になります。また，各種クリーナ類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますので，よくご確認のうえ使用してください。

5

◆ 充電するときは

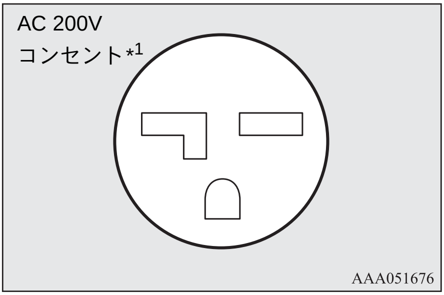
J01801700106

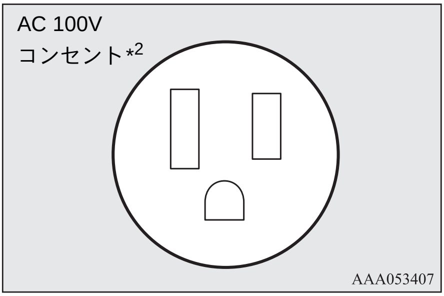
⚠警告

- コンセントはつぎの種類のもののみ対応しています。つぎの種類以外のコンセントおよび，専用回路ではないコンセントには，絶対に接続しないでください。

  AC 200V コンセント*[1]：
  日本配線システム工業会規格 JWDS-0033
  EV 充電用コンセント 20A 250V

  AC 100V コンセント*[2]：
  日本配線システム工業会規格 JWDS-0033
  EV 充電用コンセント 15A 125V





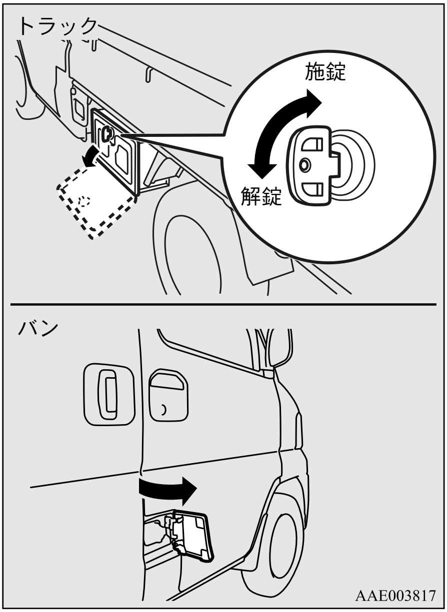
*:[1] AC 200V 普通充電ケーブル使用時

*:[2] AC 100V 普通充電ケーブル（タイプ別装備）使用時

⚠注意

- コンセントは地上 1m 前後に設置されたものを使用してください。コンセントの接地位置が低い場合，コントロールボックスが地面に接し，水没や踏みつけてしまうなど，トラブルの原因となります。

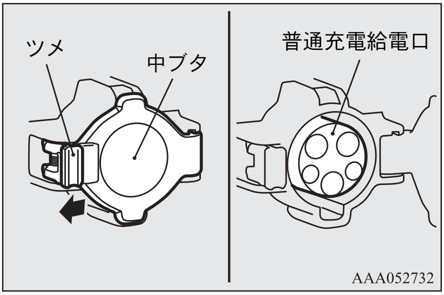
1. 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れます。
2. ライトなどの電装品を停止して，パワースイッチをLOCKまで回します。
3. トラックは，車両左側の充電ボックスにキーを差し込み，車両前方に回してリッドを開けます。リッドを開けた後は，キーが元の位置に自動で戻りますのでキーを抜きます。
   バンは，車両右側のフロントドア付近にあるリッドを開けます。



⚠注意

- トラックの充電ボックスのリッドにキーを差し込んだまま放置しないでください。車両盗難のおそれがあります。

4. ツメを押して中ブタを開けます。



⚠警告

- **普通充電給電口および普通充電ガンの金属端子部に手を触れないでください。**
  感電，故障の原因となります。

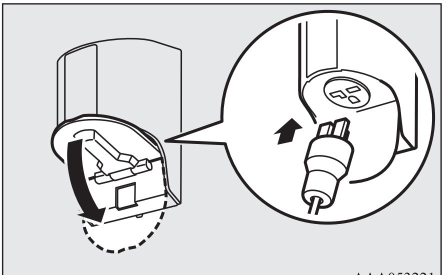
⚠注意

- トラックの充電ボックスのリッドおよび普通充電給電口の中ブタを開けたままサイドゲートを開けないでください。中ブタが破損するおそれがあります。

アドバイス

- 普通充電給電口の中ブタおよびリッドを開けたまま長時間放置しないでください。普通充電給電口にほこりなどの異物が入り，充電ができなくなるおそれがあります。
- 普通充電給電口には排水用の穴があります。この穴が詰まったりして普通充電給電口内に水が溜まったときは，充電を行わずに三菱自動車販売会社にご連絡ください。
- 普通充電給電口が凍結したときは，ヘアドライヤーなどで解凍してください。凍結したまま普通充電ガンを無理に接続しようとすると，故障の原因になります。

5. 普通充電ケーブルのプラグをコンセントに確実に差し込み，コンセントのふたロック機構でプラグをロックします。



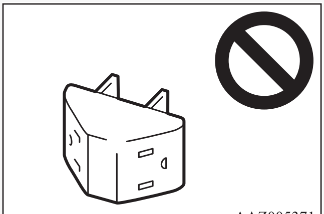
AAA053221

⚠警告

- 使用する前にコンセントにプラグが根元までしっかり差し込まれていることを確認してください。
- AC 200V•AC 100V いずれの場合も，20A 以上の専用分岐回路に接続されたEV充電用コンセントを使用してください。
  また，電源回路には漏電遮断器を設置し，コンセントにはアース接続を施してください。EV充電用以外のコンセントを使用した場合，または専用の電源回路を使わない場合は配線の異常過熱，ブレーカーによる電気回路の遮断，他の電気機器への悪影響などが発生することがあります。
- 設置場所が屋外，または雨水などで濡れる可能性がある場合には，防水処理されたEV充電用コンセントを使用してください。

⚠警告

- 普通充電ケーブルの先にプラグアダプターなどを取り付けて他の器具と併用したり，延長コードを使用すると，コンセントが異常発熱して火災の原因になるおそれがあります。



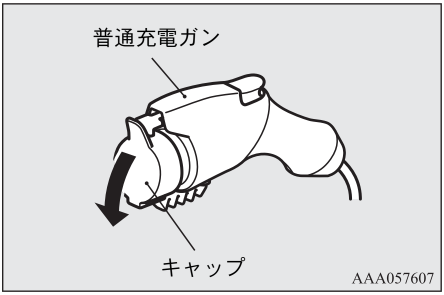
AAZ005371

アドバイス

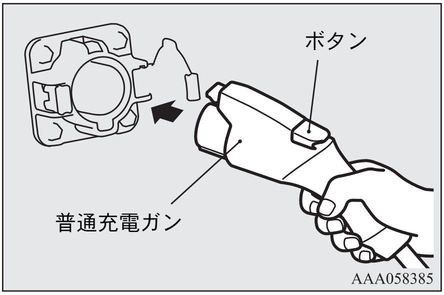
- AC 100V コンセント * にはプラグを差し込んだあと，時計回りに回して固定するタイプのものがありますが，これは屋外に設置される庭園灯•看板灯や，屋外で使用される電動工具への給電などを意図して設置されたものであり，頻繁な抜き差し使用を行う電気自動車の充電用としては耐久性が充分でない場合があります。
  こうしたコンセントを充電用に使用すると，大電流通電時にいちじるしく温度が上昇し，危険な状態になる場合がありますので，使用しないでください。
- つぎの場所に設置されているコンセントは使用する前に，この車両に対応しているか確認してください。
  - 自宅やマンションなどに設置されているコンセント
  - 一般の駐車場や車庫に設置されているコンセント

*: AC 100V 普通充電ケーブル（タイプ別装備）使用時

6. 普通充電ガンのキャップを取り外し，普通充電ガンおよび普通充電給電口の先端部にほこりなど異物が付いていないことを確認します。



7. 図のように普通充電ガンの下部を握り，ボタンを押さずにカチッと音がするまで差し込みます。



⚠警告

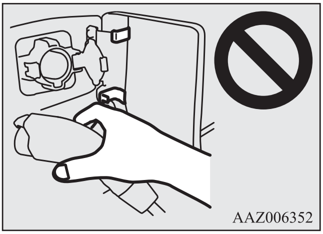
● バンの充電中に運転席ドアを開けるときは，運転席ドアとケーブルが接触しないように注意してください。また，ケーブルに足を引っ掛けるなどして強い力が加わると，ケーブルの損傷から火災，感電，ショートの原因となります。

⚠注意

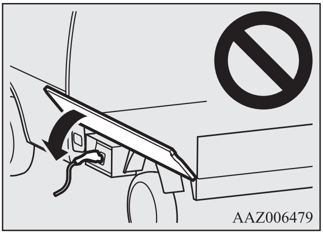
● 普通充電ガンの頭部を握らないでください。

⚠注意

● バンはリッドの内側の突起物に気をつけてください。

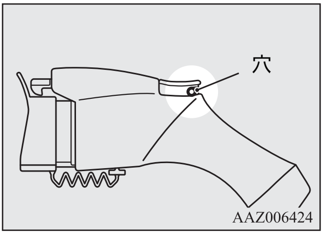


● 充電中は普通充電ガンに無理な力を加えないでください。また，充電中にトラックのサイドゲートを開けないでください。普通充電ガンや普通充電給電口が破損して，充電ができなくなる可能性があります。

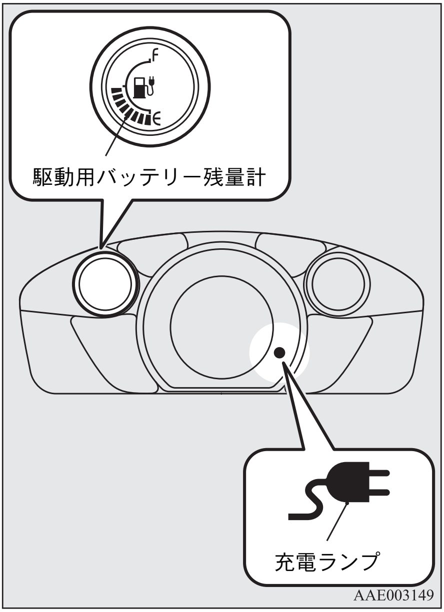


アドバイス

● 普通充電ガンを普通充電給電口に差し込んで，パワースイッチをSTART位置まで回しても，走行可能状態になりません。
● 充電中に普通充電ガンの穴に南京錠をつけることで，普通充電ガンの盗難防止ができます。南京錠は三菱自動車販売会社へお問い合わせください。



8. メーター内の充電ランプが点灯していることを確認します。
このとき，駆動用バッテリー残量計も同時に点灯します。



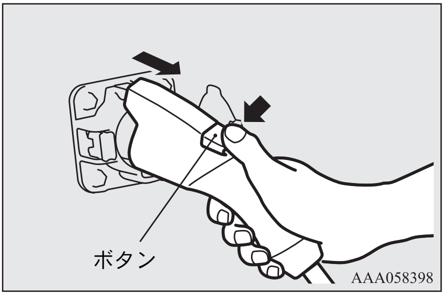
充電ランプが点灯しない場合は，充電が開始されていません。

普通充電給電口およびプラグが正しく接続されているか確認しながら，再度手順5.からやり直してください。

アドバイス

- 充電ランプは，充電ガンを充電給電口に差し込むと点滅し，充電が開始されると点灯に切り替わります。
- 充電中はメーター内の駆動用バッテリー残量計が点灯し，充電量を確認することができます。充電が完了すると，消灯します。

9. 充電ランプが消灯したら充電は完了です。図のように普通充電ガンの下部を握り，ボタンを押しながら引き抜き，普通充電ガンのキャップを取り付けます。



⚠注意

- 走行する前は，必ず普通充電ガンが普通充電給電口から取り外されていることを確認してください。普通充電ガンが根元まで差されておらずロックがかかっていない場合，パワースイッチを操作すると走行可能状態にできるため，車両が発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 充電を途中で中止することもできます。この場合も，ボタンを押しながら普通充電ガンを引き抜きます。

10. 中ブタを閉じてから，リッドを閉じます。

> **⚠警告**
>
> ● **充電が終わった後は普通充電給電口の中ブタおよびリッドを確実に閉めてください。**
> **また，普通充電給電口，中ブタおよび普通充電ガンに水やほこりが入らないように注意してください。**
> **水やほこりなどが入ると漏電の原因となり，火災，感電の原因となります。**

> **⚠注意**
>
> ● トラックの充電ボックスのリッドを閉じた後は，必ずキーを抜き，リッドが確実に施錠されていることを確認してください。施錠されていないと走行中にリッドが開き，充電給電口などが破損するおそれがあります。

> **アドバイス**
>
> ● 中ブタを閉めずにリッドを強引に閉めると，中ブタが破損するおそれがありますので確実に閉じてください。

11. 普通充電ケーブルのプラグをコンセントから引き抜きます。
12. 普通充電ケーブルを付属の袋に入れて保管します。

急速充電のしかた（急速充電器での充電方法）

タイプ別装備

J01801300128

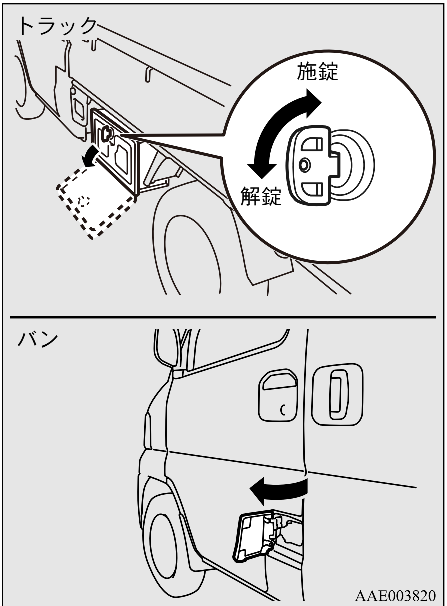
> **⚠警告**
>
> ● **必ず，CHAdeMO 規格に準拠し，CHAdeMO 協議会の認証を受けた急速充電器を使用してください。それ以外の急速充電器を使用すると火災，故障の原因となります。**
>
> ● **急速充電器の操作は，各急速充電器のマニュアルにしたがって正しく行ってください。**
> **無理な操作を行うと故障の原因となります。**
>
> ● **植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は，充電による影響について医療用電気機器製造業者などに確認してから充電作業を行ってください。充電が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。**
>
> ● **充電前に，急速充電給電口および急速充電ガンにほこりなどの異物が入っていないことを確認してください。**
> **このとき急速充電給電口に手を触れないようにしてください。**
>
> ● **急速充電ガンと急速充電給電口を接続する際，接続部に水やほこりなどの異物が入らないようにしてください。**
> **水やほこりなどの異物が入ったまま接続すると火災，感電の原因となります。**
> **接続部に強く水などがかかるおそれのあるときは充電しないでください。**
>
> ● **充電中は，急速充電ガンをむりやり外そうとしたり，ゆすったりしないでください。火災，感電，故障の原因となります。**

> **⚠注意**
>
> ● 充電中, パワースイッチがLOCKの位置でも，点検口内（運転席／助手席下）の冷却ファンが自動的に作動することがあります。
> 充電中は，冷却ファンに手を近づけないでください。

アドバイス

- 充電中には急速充電ガン，ケーブルが車体よりはみ出すため，体に引っ掛けたり，隣の車両に接触しないように注意してください。
- 急速充電ガンや急速充電給電口に異物が入り接続ができなくなったときは，無理に接続せずに三菱自動車販売会社にご連絡ください。無理に接続しようとすると，充電装置と車両が破損するおそれがあります。
- 充電中は盗難などを防ぐため，必ずドアを施錠してください。

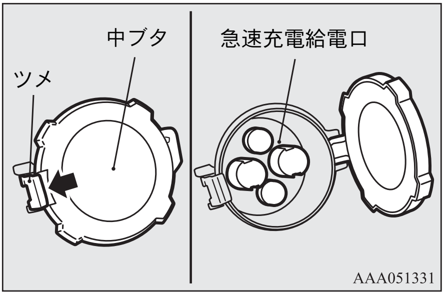
1. 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーを🅟に入れます。
2. ライトなどの電装品を停止して，パワースイッチをLOCKまで回します。
3. トラックは，車両左側の充電ボックスにキーを差し込み，車両前方に回してリッドを開けます。リッドを開けた後は，キーが元の位置に自動で戻りますのでキーを抜きます。
   バンは，車両左側のフロントドア付近にあるリッドを開けます。



⚠注意

- トラックの充電ボックスのリッドにキーを差し込んだまま放置しないでください。車両盗難のおそれがあります。

4. ツメを押して中ブタを開けます。



⚠警告

- **急速充電給電口および急速充電ガンの金属端子部に手を触れないでください。**
  感電，故障の原因となります。

⚠注意

- トラックの充電ボックスのリッドおよび急速充電給電口の中ブタを開けたままサイドゲートを開けないでください。中ブタがが破損するおそれがあります。

アドバイス

- 急速充電給電口の中ブタを開けたまま長時間放置しないでください。急速充電給電口にほこりなどの異物が入り，充電ができなくなるおそれがあります。
- 急速充電給電口には排水用の穴があります。この穴が詰まったりして急速充電給電口内に水が溜まったときは，充電を行わずに三菱自動車販売会社にご連絡ください。
- 急速充電給電口が凍結したときは，ヘアドライヤーなどで解凍してください。凍結したまま急速充電ガンを無理に接続しようとすると，故障の原因になります。

5. 急速充電給電口に急速充電ガンを取り付け，充電を開始します。
取り付け方，取り外し方については，各急速充電器のマニュアルにしたがってください。

⚠警告

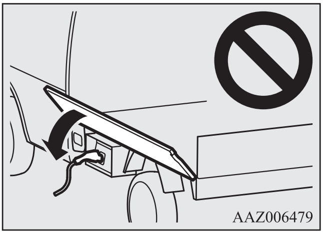
- **バンの充電中に助手席ドアを開けるときは，助手席ドアとケーブルが接触しないように注意してください。また，ケーブルに足を引っ掛けるなどして強い力が加わると，ケーブルの損傷から火災，感電，ショートの原因となります。**

⚠注意

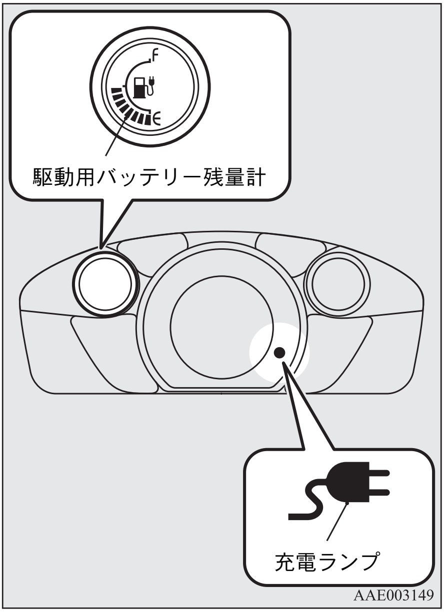
- 急速充電ガンを差し込むときは，急速充電給電口に対してまっすぐに根元まで差し込んでください。急速充電ガンが根元まで差し込まれないまま充電を開始すると，駆動用バッテリーが充電されなかったり，充電機器が破損するおそれがあります。
- 充電中は急速充電ガンがロックされ取り外すことができません。無理に急速充電ガンを外そうとすると急速充電ガンが破損する可能性がありますので，充電中は急速充電ガンに触らないようにしてください。途中で充電を止めるときは，急速充電器の表示手順に従って充電を停止して，充電が中止されたことを確認してから急速充電ガンを取り外してください。

⚠注意

- 充電中は急速充電ガンに無理な力を加えないでください。また，充電中にトラックのサイドゲートを開けないでください。
急速充電ガンや急速充電給電口が破損して，充電ができなくなる可能性があります。



6. メーター内の充電ランプが点灯していることを確認します。
このとき，駆動用バッテリー残量計も同時に点灯します。



充電ランプが点灯しない場合は，充電が開始されていません。
急速充電器のマニュアルにしたがってください。

アドバイス

- 充電ランプは，急速充電ガンを急速充電給電口に差し込むと点滅し，充電が開始されると点灯に切り替わります。
- 充電中はメーター内の駆動用バッテリー残量計が点灯し，充電量を確認することができます。充電が完了すると，消灯します。

7. 充電ランプが消灯したら充電は完了です。充電は下記の条件で終了します。
   - ほぼ満充電になったとき。
   - 充電時間が60分を経過したとき。
   - 急速充電器側で充電停止操作を行ったとき。
   - 急速充電器側に設定されている停止条件（充電量•充電時間）となったとき。

   各急速充電器のマニュアルにしたがって，急速充電ガンを取り外します。

⚠注意

- 充電が終わった後は急速充電ガンを取り付けたまま放置しないでください。誤ってケーブルに足を引っかけて転倒したり，いたずらにより急速充電給電口を破損するおそれがあります。
- 急速充電ガンを落下させるとケガをしたり，車両や急速充電コネクター，急速充電給電口を破損したりするおそれがありますので，十分注意してください。
- 走行する前は，必ず急速充電ガンが急速充電給電口から取り外されていることを確認してください。急速充電ガンが根元まで差されておらずロックがかかっていない場合，パワースイッチを操作すると走行可能状態にできるため，車両が発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 急速充電は満充電付近になると充電される速度が遅くなります。つぎに待っている人がいるときは，必要な量で充電を停止し，つぎの方にゆずってあげてください。
- 充電終了後は，充電器の前に車両を駐車したままにせず，すみやかに車両を移動してください。
- 急速充電は，充電量が100％になる前に充電が完了します。これはCHAdeMO規格の仕様であり，故障ではありません。

8. 中ブタを閉じてから，リッドを閉じます。

⚠警告

- **充電が終わった後は急速充電給電口の中ブタおよびリッドを確実に閉めてください。**
  また，急速充電給電口，中ブタおよび急速充電ガンに水やほこりが入らないように注意してください。
  水やほこりなどが入ると火災，感電，ショートの原因となります。

⚠注意

- トラックの充電ボックスのリッドを閉じた後は，必ずキーを抜き，リッドが確実に施錠されていることを確認してください。施錠されていないと走行中にリッドが開き，充電給電口などが破損するおそれがあります。

アドバイス

- 急速充電ガンを急速充電給電口に接続したままで，パワースイッチをSTART位置まで回しても，パワーユニットの起動はできません。
  起動させる前に，必ず急速充電ガンを外してください。
- 充電が終わった後，急速充電給電口の中ブタを閉めずにリッドを強引に閉めると，中ブタが破損するおそれがありますので確実に閉じてください。

充電トラブルシューティングガイド

J01804400061

症状	原因	対処法
充電が開始されない。	セレクターレバーが🅿以外の位置にある。	セレクターレバーを🅿の位置にしてください。
	パワースイッチがONになっている。	充電前に, パワースイッチをLOCKにしてください。
	駆動用バッテリーがすでに満充電になっている。	駆動用バッテリーがすでに満充電になっているときは, 充電が行われません。
	駆動用バッテリーの温度が極端に低い。	駆動用バッテリーの温度が極端に低いと充電が行われません。→「極寒時の注意事項と対処方法」P. 2-7
	補機用バッテリーがあがっている。	パワーユニットが起動できないため, 駆動用バッテリーが充電できません。補機用バッテリーを充電してください。→「補機用バッテリーが上がったときは！」P. 15-24
	車両または充電ケーブルに異常がある。	車両または充電ケーブルに異常がある可能性があります。メーター内のパワーユニット警告灯が点灯してないか確認してください。→「パワーユニット警告灯」P. 8-13 また, コントロールボックスのインジケーターが異常を示していないか確認してください。→「普通充電ケーブル」P. 5-6 警告が表示された場合は, すぐに充電を中止し三菱自動車販売会社に連絡してください。

5

症状	原因	対処法
普通充電が開始されない。	コンセントまで電力がきていない。	停電していたり,漏電遮断機が作動していないか確認してください。なお,電源にタイマー機能がついている場合,電源に設定されている時間帯までは,コンセントに電力が供給されないものもあります。 コントロールボックスのPOWERインジケーターが点灯しているか確認してください。
	充電ガンが正しく接続されていない。	普通充電ガンが正しく接続されているか確認してください。
	他の車種の普通充電ケーブルを使用している。	MINICAB-MiEV専用の普通充電ケーブルを使用してください。
	MINICAB-MiEVに対応していない普通充電器を使用している。	MINICAB-MiEVに対応した普通充電器であるか管理者または充電器メーカーにお問い合わせください。また,充電作業は充電器本体に表示された操作手順にしたがって行ってください。
普通充電が途中で止まってしまう。	コンセントまで電力がきていない。	充電中に漏電遮断器が作動したり,停電が起きたりした可能性があります。この場合,電力が復帰すると自動的に充電も再開されます。
	普通充電ケーブルが抜けてしまっている。	普通充電ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
	充電ガンのボタンが押されている。	充電ガンのボタンがしばらく押されたままになっていると,充電が停止します。 もう一度充電開始操作を行ってください。
	駆動用バッテリーの温度が極端に低い。	駆動用バッテリーの温度が極端に低いと充電が行われません。→「極寒時の注意事項と対処方法」P. 2-7
	普通充電のタイマーで終了している。	普通充電器本体には,一定時間で充電が停止するようにタイマーが設定されていることがあり,この時間が経過した場合は充電が停止されます。さらに充電したいときは,一度充電ガンを取り外し,もう一度充電開始操作を行ってください。

症状	原因	対処法
急速充電が開始されない。	充電ガンが正しく接続されていない。	急速充電ガンが正しく接続されているか確認してください。
	急速充電器のセルフチェック機能でNGになってしまった。	車両が故障している可能性があります。ただちに充電を停止して, 三菱自動車販売会社にご連絡ください。
	急速充電器の電源がOFFになっている。	急速充電器の電源をONにしてください。
急速充電が途中で止まってしまう。	急速充電のタイマーで終了している。	急速充電器本体には, 一定時間で充電が停止するようにタイマーが設定されていることがあり, この時間が経過した場合は充電が停止されます。さらに充電したいときは, 各急速充電器のマニュアルにしたがって一度急速充電ガンを取り外し, もう一度充電開始操作を行ってください。
	充電時間が60分経過した。	急速充電の時間は最大で60分に設定しているため, 60分が経過した場合は自動的に充電を停止します。さらに充電したいときは, 各急速充電器のマニュアルにしたがって一度急速充電ガンを取り外し, もう一度充電開始操作を行ってください。
	急速充電器の電源がOFFになってしまった。	急速充電器の電源をONにしてください。

MEMO

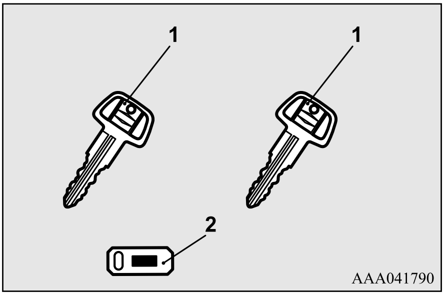
MEMO

各部の開閉

キー

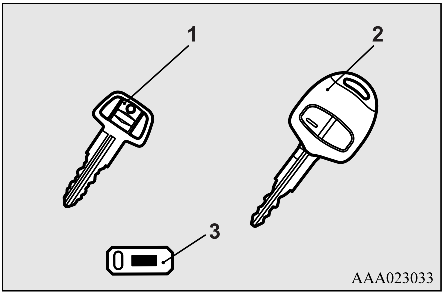
J00400101428

除く，キーレスエントリー 付き車



1： マスターキー
2： キーナンバープレート

キーレスエントリー 付き車



1： マスターキー
2： マスターキー
（キーレスエントリー用キー）
3： キーナンバープレート

⚠警告

- 航空機内にキーを持ち込むときは，機内でキーのスイッチを押さないでください。スイッチを押すと電波が発信され，航空機の運航に悪影響をおよぼすおそれがあります。
かばんなどに入れて持ち込むときも，簡単にスイッチが押されないようにしてください。

アドバイス

- キーレスエントリー機能付きのキーは，信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため，つぎの点をお守りください。
  - ダッシュボードの上など直射日光が当たる場所には放置しない
  - 分解，改造をしない
  - キーを無理に曲げたり，強い衝撃を与えない
  - 水にぬらさない
  - 磁気を帯びたキーホルダーなどを近づけない
  - オーディオ，パソコン，テレビなど磁気を帯びた機器の近くに置かない
  - 携帯電話や無線機など強い電波を発する機器の近くに置かない
  - 超音波洗浄器などで洗浄しない
- 電池交換のとき以外はキーを不用意に分解しないでください。分解，改造したキーを使用することは法律で禁止されています。
また，必ず日本国内でご使用ください。
- 万一，キーを紛失したときは，盗難などを防ぐため，ただちに三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，キーナンバーを三菱自動車販売会社へ連絡していただければ，キーを作ることができます。キーナンバーはキーナンバープレートに打刻してあります。
キーナンバープレートは，キーとは別に大切に保管してください。

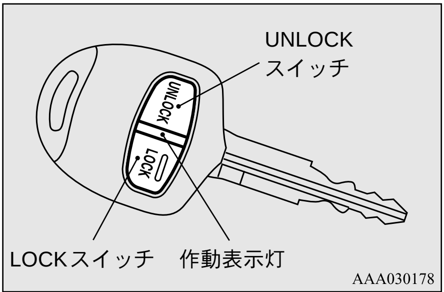
6

キーレスエントリー

タイプ別装備

J00400301329

リモコンスイッチですべてのドアおよびテールゲートの施錠・解錠をすることができます。



ドアおよびテールゲートの施錠・解錠

J00405700217

LOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し，UNLOCKスイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。
UNLOCKスイッチを押して解錠しても約30秒以内にドアおよびテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます。

アドバイス

- リモコンスイッチを押すと作動表示灯が点灯します。
- UNLOCKスイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ 施錠・解錠時の作動確認

J00405800218

つぎの通り作動を確認することができます。ただし，ルームランプの点滅・点灯はルームランプのスイッチが中間（●）の位置にあるときに限られます。

施錠時：ルームランプおよび非常点滅灯が1回点滅

解錠時：ルームランプが約 15 秒間点灯し，非常点滅灯が2回点滅

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみまたは解錠時のみにする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を働かなくする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）の点滅回数を変更する。
- リモコンスイッチは車から約 1 m 以内で作動します。
  近くにTV塔や変電所，放送局があるなど周囲の状況により作動距離が変わることがあります。
- つぎのようなときはリモコンスイッチは作動しません。
  - パワースイッチにキーが差してあるとき
  - ドア，テールゲートが開いている，または半ドアのとき
- リモコンスイッチを紛失したときや，新しいリモコンスイッチを作りたいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。最大4個まで作ることができます。
- つぎのときは電池の消耗が考えられます。
  - 正しい距離でリモコンスイッチを押しても施錠・解錠しないとき
  - 作動表示灯が暗い，または点灯しないとき

  電池が消耗した場合は，新しい電池に交換してください。
  →「電池交換のしかた」P. 6-4

電池交換のしかた

J00415100214

⚠警告

● 電池および取り外した部品は，誤ってお子さまが飲み込まないように注意してください。

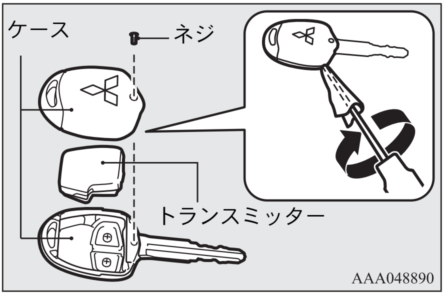
アドバイス

● 電池交換をする際は，キーを破損するおそれがあるため，三菱自動車販売会社での交換をおすすめします。
● キーは信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため，内部の金属部分や回路に触れないでください。また水やゴミを付着させないでください。
● 電池は三菱自動車販売会社，時計店またはカメラ店などでお買い求めください。

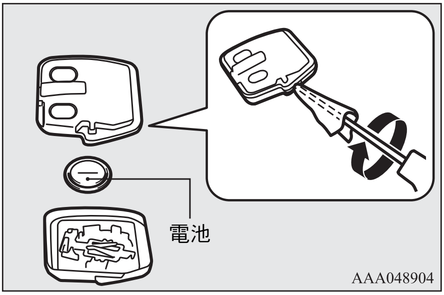
使用電池：CR1616

6

1. 電池交換をする前に部屋のドアノブ等の金属部分に触れて，身体の静電気を除去してください。
2. 三菱マークを上にしてネジを取り外します。
   先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んでケースを外し，トランスミッターを取り出します。



3. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んでトランスミッターを開きます。
   新しい電池は－極を上にして取り付けます。



4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

ドア

J00400400567

⚠警告

- 車から離れるときは，火災や盗難などを未然に防ぐため，必ずパワースイッチを LOCK にしてドアを施錠してください。
法的にも義務づけられています。
お子さま連れのときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
また車内に貴重品を置いたままにしないでください。

⚠注意

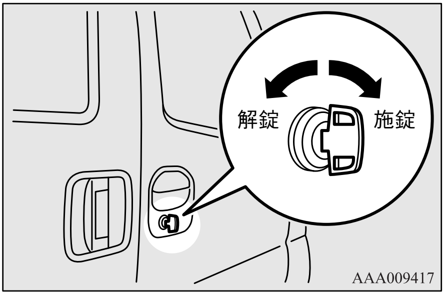
- ドアを閉めるときは，確実に閉め，メーター内の半ドア警告灯が消灯していることを確認してください。半ドアでは，走行中にドアが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。

車外から施錠・解錠するときは

J00404400897

◆ キーを使って施錠・解錠するときは

キーを車両前方に回すと施錠，車両後方に回すと解錠されます。

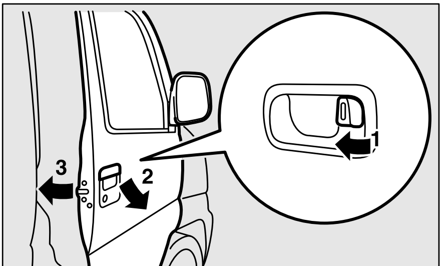


6

◆ キーを使わずに施錠するときは

フロントドア

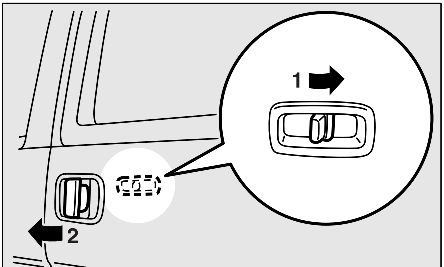
1. ドア内側のロックノブを車両前方に倒し,
2. ドアハンドルを引いたまま
3. ドアを閉じます。



AAA032172

リヤスライドドア（バン）

1. ドア内側のロックノブを車両前方に倒します。
2. ドアを閉じます。



AAA021488

⚠注意

- ドアを閉めるときは手をはさまないように気をつけてください。

◆ パワースイッチ切り忘れ警告ブザー

J00413300049

パワースイッチがONの位置のままで, 運転席ドアを開くとパワースイッチ切り忘れ警告ブザーが断続的に鳴り，パワースイッチの切り忘れを知らせます。

◆ キー抜き忘れ警告ブザー

J00404500638

パワースイッチにキーを差したまま運転席ドアを開くとキー抜き忘れ警告ブザーが断続的に鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。

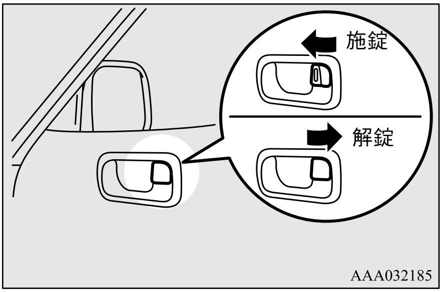
6

車内から施錠・解錠するときは

J00404600857

フロントドア

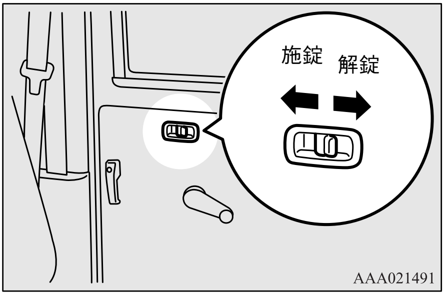
ロックノブを車両前方へ倒すと施錠し，車両後方へ戻すと解錠します。



AAA032185

リヤスライドドア（バン）

ロックノブを車両前方へ倒すと施錠し，車両後方へ倒すと解錠します。



AAA021491

アドバイス

- センタードアロック付き車は，施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。
  このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

センタードアロック（バン）

J00400501132

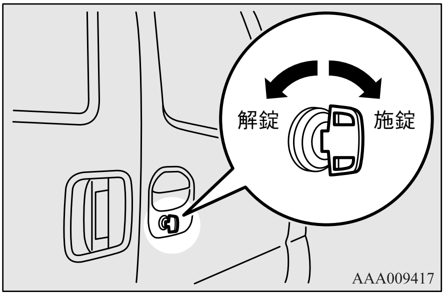
つぎの操作ですべてのドアおよびテールゲートの施錠・解錠ができます。

アドバイス

- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。
  このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

キーを使って施錠・解錠するときは

運転席ドアのキーを車両前方に回すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し，車両後方に回すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。

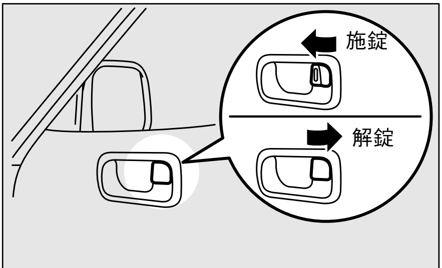


AAA009417

6

ロックノブを使って施錠・解錠するときは

運転席ドア内側のロックノブを車両前方へ倒すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し，車両後方へ倒すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。



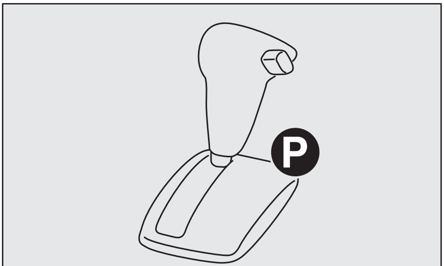
AAA032185

セレクターレバーを使って解錠するときは

J00411300162

パワースイッチが ON のときにセレクターレバーをⓅに入れるとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。

工場出荷時は「解錠しない」に設定されています。「解錠する」に変更したいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。



AAA052006

テールゲート（バン）

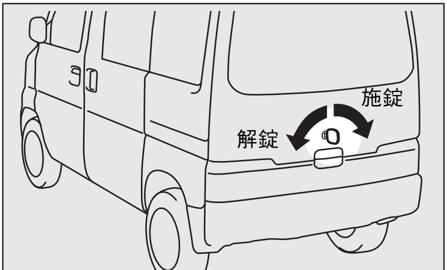
J00401101021

⚠警告

- ラゲッジルームは人が乗る構造になっておりません。お子さまを乗せたり，遊ばせたりしないでください。万一の場合，重大な事故につながるおそれがあります。
- テールゲートを開閉するときは，まわりに人がいないことを確認し，頭をぶつけたり，手や首などをはさまないように注意してください。

車外から施錠・解錠するときは

キーを差し込み，右に回すと施錠，左に回すと解錠されます。



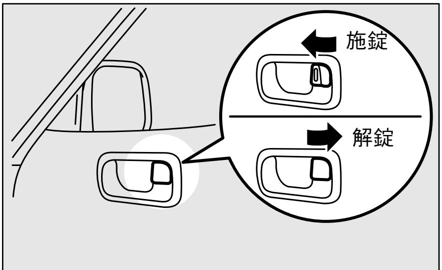
AAA052686

アドバイス

- センタードアロックまたはキーレスエントリーを使って運転席ドアを施錠・解錠すると，テールゲートも同時に施錠・解錠されます。

車内から施錠・解錠するときは

運転席のロックノブを車両前方に倒すと施錠，車両後方に倒すと解錠されます。



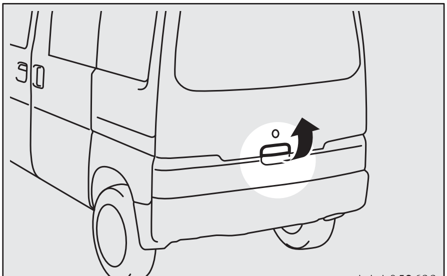
AAA032185

アドバイス

- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。
  このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

開けるときは

解錠後，ハンドルを引いて持ち上げます。テールゲートを開くとラゲッジルームランプが点灯し，閉じると消灯します。



AAA052699

⚠注意

- テールゲートを開けるときはまわりに人がいないことを確認してください。

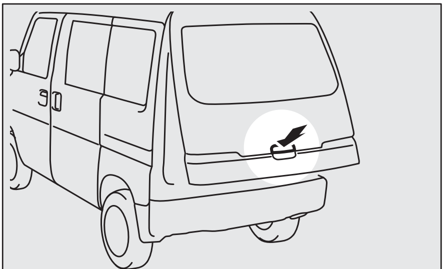
6

閉めるときは

⚠注意

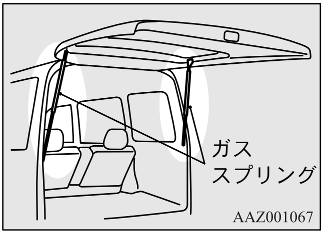
- テールゲートを閉じた後は必ずテールゲートが確実に閉じていることを確認してください。走行中に開くと，荷物が落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。

テールゲートを引き下げ，ハンドルの上から押さえつけて閉じます。


AAA057740

アドバイス

- テールゲートを支えるためのガススプリングがつぎの位置についています。



AAZ001067

損傷や作動不良を防ぐため，つぎのことをお守りください。
- ガススプリングに手をかけてテールゲートを閉めたり，押したり引いたりしないでください。
- ビニール片，テープなどがガススプリングに付着しないようにしてください。
- ひもなどをガススプリングに巻き付けないでください。
- ガススプリングに物をかけないでください。

- テールゲートを閉めるときは，テールゲートやガススプリングと荷物が干渉していないことを確認してください。干渉したままテールゲートを閉めるとテールゲートやガススプリングが損傷し，テールゲートを閉めることができなくなるおそれがあります。

6

リヤゲート（トラック）

J00402400079

⚠警告

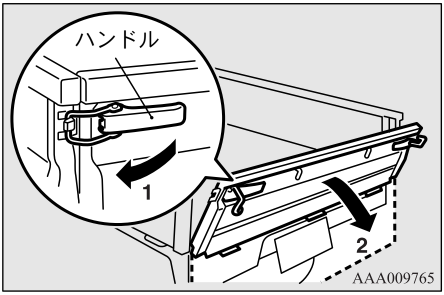
- 道路上でリヤゲートを開けて駐停車するときは，車両後方に停止表示板などを置いてください。
  リヤゲートを開けたときに後続車から非常点滅灯などが確認できなくなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- リヤゲートを倒したまま走行しないでください。
  制動灯や尾灯などが後続車から確認できず，思わぬ事故につながるおそれがあります。

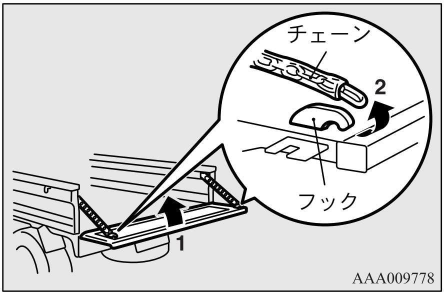
開けるときは

1. 左右のハンドルを手前に引いてロックを外し，
2. リヤゲートをゆっくり倒します。



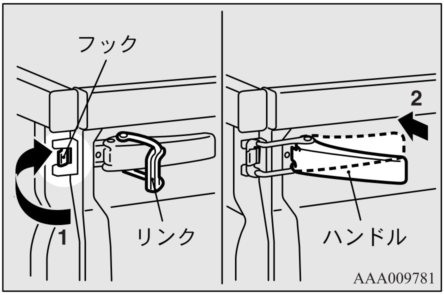
チェーンの取り外し方

1. リヤゲートを少し持ち上げながら
2. チェーンをフックから外します。



閉めるときは

1. リヤゲートを閉じてリンクをフックにかけ，
2. ハンドルを押してロックします。



アドバイス

- リヤゲートには積荷の重量をかけないでください。
- ゲートを閉じる前にチェーンをフックにかけてください。またゲートを閉じるとき，チェーンをはさまないように注意してください。

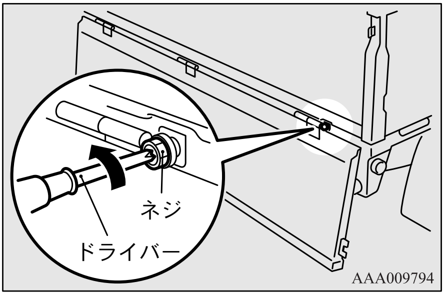
6

取り外すときは

⚠注意

- 車体の端部などで手にけがをしないように作業を行ってください。
- けがをしないために，リヤゲートを取り外したり，取り付けたりするときは，リヤゲートを確実に持って行ってください。

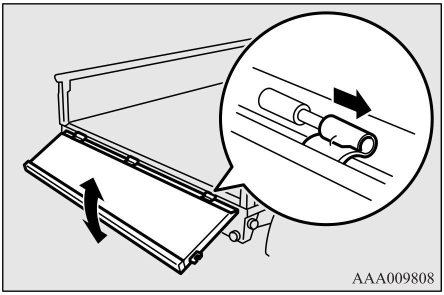
1. リヤゲートを開け，ネジを＋ドライバーなどで取り外します。



アドバイス

- ドライバーは標準装備されておりませんので市販品をお買い求めください。

2. リヤゲートを少し起こし，上下にゆらしながら右側に移動させて取り外します。

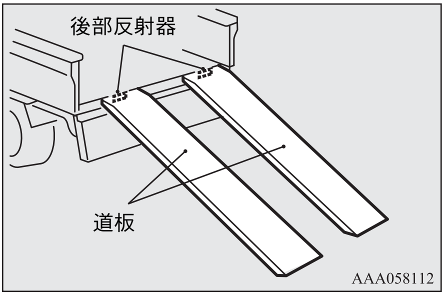


取り付けるときは

リヤゲートを取り付け，ネジを＋ドライバーなどで締め付けます。

道板を使うときは

リヤゲートを倒し，道板をかけます。道板の使い方や注意事項は，道板に添付の取扱説明書をお読みください。



⚠注意

- 道板を使うときや作業車の乗降時は，後部反射器への接触に注意してください。後部反射器が破損するおそれがあります。

アドバイス

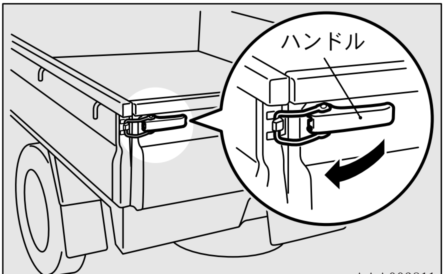
- 道板（パワーブリッジ）は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

サイドゲート（トラック）

J00402500038

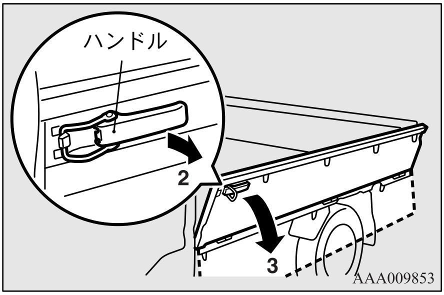
開けるときは

1. リヤゲートのハンドルを手前に引き，ロックを外します。



AAA009811

2. サイドゲート前側のハンドルを手前に引きロックを外し
3. サイドゲートをゆっくり倒します。



AAA009853

⚠注意

- つぎのようなときはサイドゲートを開けないでください。
  部品が破損するおそれがあります。
  - 充電給電口に充電ガンを差しているとき
  - 充電ボックスのリッドにキーを差しているとき
  - 充電ボックスのリッドおよび充電給電口の中ブタを開けているとき

閉めるときは

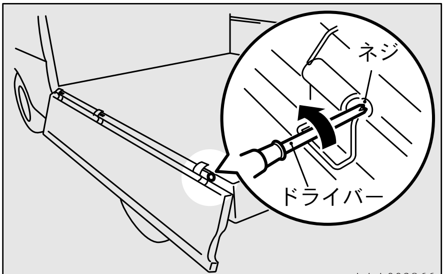
開けるときの逆手順で行います。

アドバイス

- サイドゲートには積荷の重量をかけないでください。
- リヤゲートを閉じるとき，リヤゲートチェーンをはさまないように注意してください。
- 左右のサイドゲートを開けるときは，リヤゲートを開けてから行ってください。閉じるときは，サイドゲートを先に閉じてください。

取り外すときは

1. サイドゲートを開け，ネジを＋ドライバーなどで取り外します。



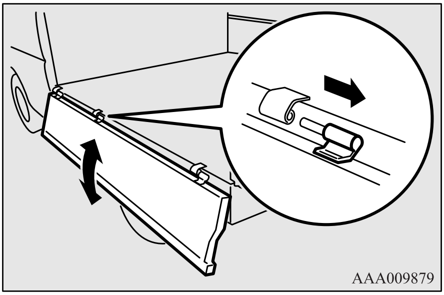
AAA009866

アドバイス

- ドライバーは標準装備されておりませんので市販品をお買い求めください。

6

2. サイドゲートを少し起こし，上下にゆらしながら後方に移動させて取り外します。



取り付けるときは

サイドゲートを取り付け，ネジを＋ドライバーなどで締め付けます。

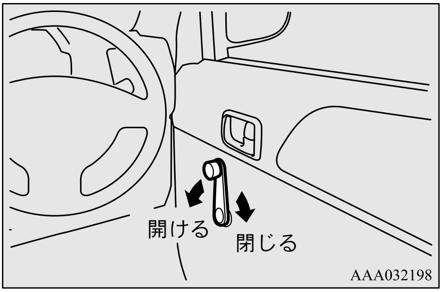
⚠注意

- 車体の端部などで手にけがをしないように作業を行ってください。
- けがをしないために，サイドゲートを取り外したり，取り付けたりするときは，サイドゲートを確実に持って行なってください。

マニュアルウインドウ

J00401400085

ハンドルを車両前方へ回すと開き，車両後方へ回すと閉じます。



アドバイス

- バンの後席ドアガラスは全開しません。

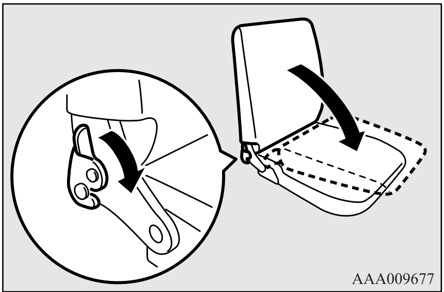
点検口（運転席／助手席下）

J00402200107

運転席および助手席を操作することにより，ウォッシャー液，ヒューズなどの点検をすることができます。

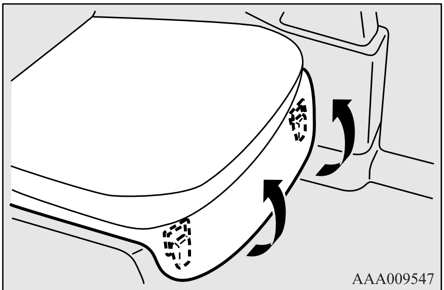
トラック（運転席）

1. シートを後方へいっぱいまで移動します。
2. レバーを前へ押して背もたれを前に倒します。



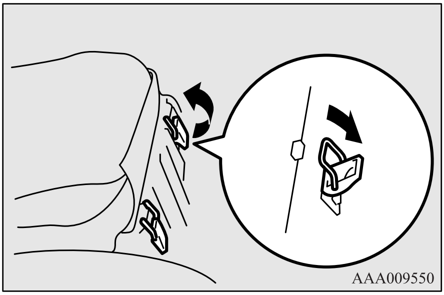
AAA009677

3. シートクッション下側のカーペットをめくります。



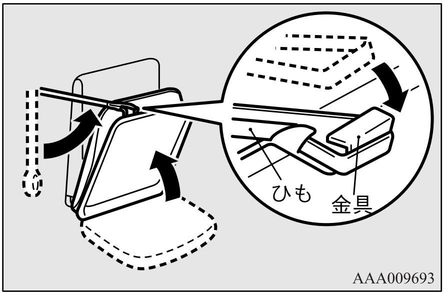
AAA009547

4. シートクッション下側のレバーを引き上げロックを外します。



AAA009550

5. シート全体を持ち上げ，運転席シート右側のひもを金具にかけて確実に固定します。

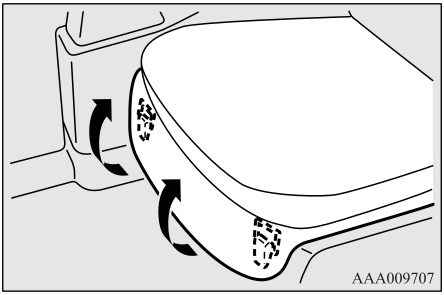


AAA009693

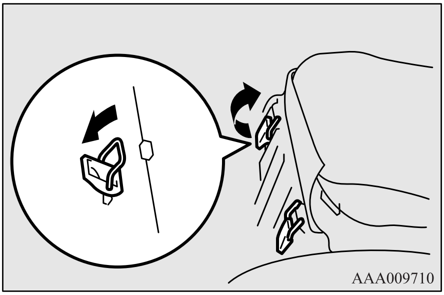
6. 元に戻すときは逆の手順で行います。
7. 元に戻した後はシートを軽くゆすり，シートが確実に固定されていることを確認します。

トラック（助手席）

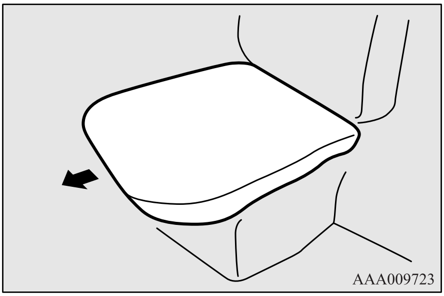
1. シートクッション下側のカーペットをめくります。


AAA009707

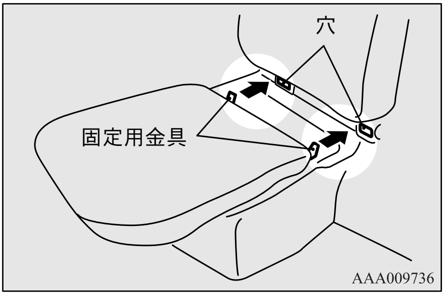
2. シートクッション下側のレバーを引き上げロックを外します。


AAA009710

3. シートクッションを前方に取り外します。


AAA009723

4. 元に戻すときはシートクッション固定用金具を背もたれ下の取り付け穴に差し込み，取り外すときと逆の手順で固定します。

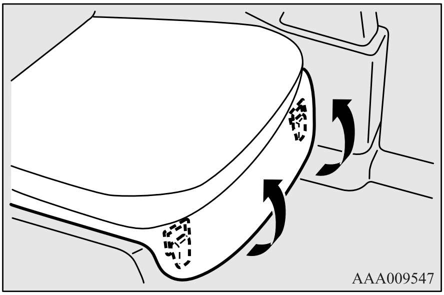


AAA009736

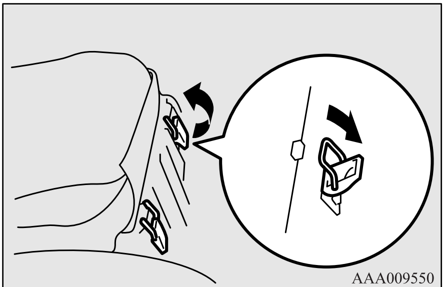
5. 元に戻した後はシートクッションを軽くゆすり，シートクッションが確実に固定されていることを確認します。

バン

1. 運転席シートは後方へいっぱいまで移動します。
2. シートクッション下側のカーペットをめくります。

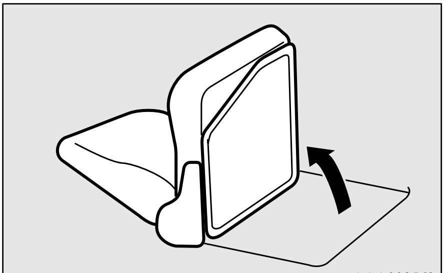

AAA009547

3. シートクッション下側のレバーを引き上げロックを外します。



AAA009550

4. シート全体をゆっくり後ろに倒します。



AAA009563

5. 元に戻すときは逆の手順で行います。
6. 元に戻した後はシートを軽くゆすり，シートが確実に固定されていることを確認します。

⚠注意

- シートを後ろに倒すときは，シート後方に人や荷物がないことを確認してから行ってください。

パワーユニット点検口

J00413400040

パワーユニット点検口が，トラックは荷台の下，バンは荷室の下にあります。
パワーユニットルームの点検をするときは，ラゲッジフロアマット（バン）およびパワーユニットルームリッドを取り外してください。

⚠注意

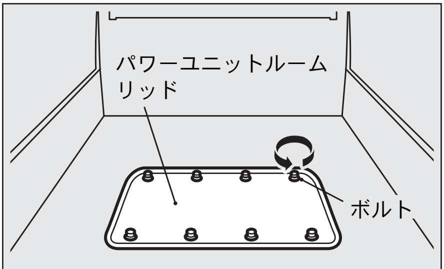
- パワーユニットルームリッドおよびその周辺は熱くなっていることがありますので注意してください。

開けるときは

6

◆ トラック

ボルト（8箇所）をスパナなどで左に回して外し，パワーユニットルームリッドを取り外します。



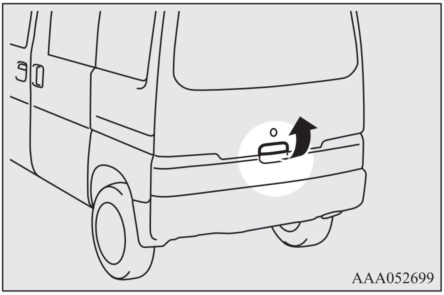
AAA058402

アドバイス

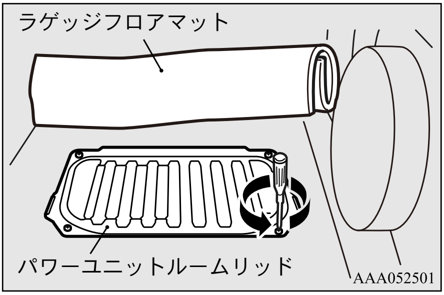
- スパナは標準搭載されていませんので市販品をお買い求めください。

◆ バン

1. テールゲートを開けます。
→「キーレスエントリー」P. 6-3
→「センタードアロック」P. 6-7
→「テールゲート」P. 6-8



2. ラゲッジフロアマットを車両前方にめくり，パワーユニットルームリッドのネジ（4 箇所）を左に回して外し，パワーユニットルームリッドを取り外します。



アドバイス

● パワーユニットルームリッドを地面に置くときは，パワーユニットルームリッド裏側のゴム面を上にして置いてください。
下にして置くとゴムにゴミなどが付き，パワーユニットルームリッドを元に戻すときに確実に取り付けられなくなります。

閉めるときは

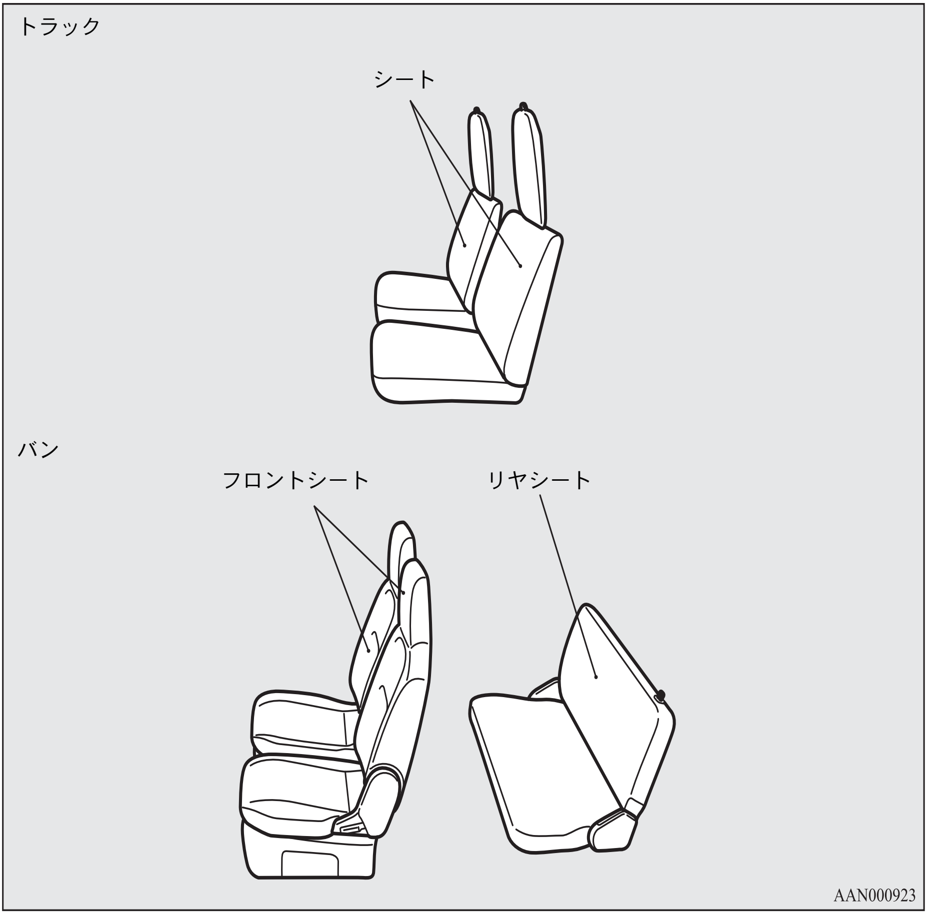
開けたときと逆の手順で行います。

安全装備

7

シート

J00509901244



フロントシート

- 前後調整（運転席）P. 7-5
- 背もたれの角度調整(バン）P. 7-5
- 背もたれの前倒し（バン／助手席）P. 7-6
- シートヒーター タイプ別装備 P. 7-6

リヤシート（バン） タイプ別装備

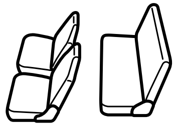
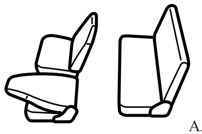
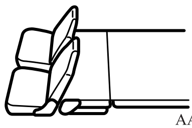
- 折りたたむときはP. 7-8

7

シートアレンジ（バン）

J00500100640

お好みに合わせて，つぎのようなシートアレンジをすることができます。

通常の使い方	 AAM000871
背もたれの前倒し（助手席） → P. 7-6	 AAM000984
荷室の作り方 タイプ別装備 →P. 7-7	 AAM000997

シート調整

J00500200452

シート各部の調整は走行前に行ってください。

⚠警告

- シートの調整は必ず走行前に行ってください。走行中にシートを調整すると必要以上に動くことがあり，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの調整をした後は，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- シートの調整は必ず大人が行ってください。お子さまが操作すると思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- シートを操作しているときは，シートの下や動いている部分に手足を近づけないでください。

正しい運転姿勢がとれるように，つぎの点に注意してシートを調整してください。



⚠警告

- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。
  正しい運転姿勢がとれないため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

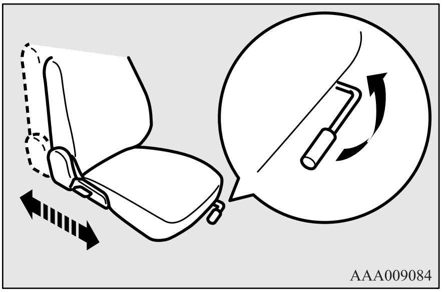
⚠注意

- 後方へシートを移動したり，背もたれを倒すときは乗員に注意してください。（バン）

前後調整（運転席）

J00513500013

レバーを引いたまま調整します。
調整後はシートを前後に軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。

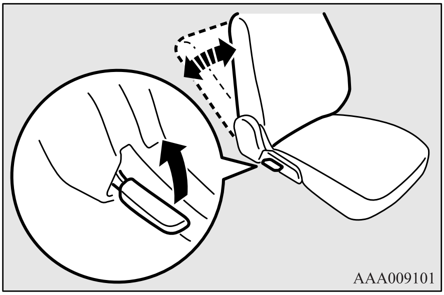


AAA009084

背もたれの角度調整（バン）

J00513600014

レバーを引いたまま調整します。
調整後は背もたれを軽くゆすり，背もたれが確実に固定されたことを確認します。



AAA009101

⚠注意

- レバーを操作するときは，背もたれに身体を添わせるか，手を添えて行ってください。
  背もたれが急に戻り顔などにあたるおそれがあります。

背もたれの前倒し（バン／助手席）

J00513700015

助手席シートの背もたれを前倒しすることにより，大きな荷物を積むことができます。

⚠警告

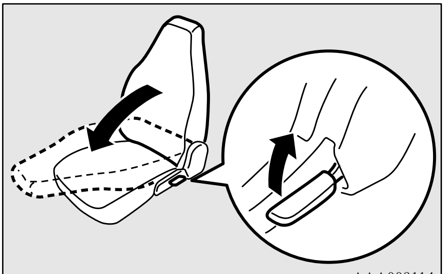
- 背もたれを前倒しにした状態で人を乗せて走行しないでください。
  急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- レバーを操作するときは，背もたれに手を添えて行ってください。背もたれが急に戻り顔などにあたるおそれがあります。

◆ 倒すときは

レバーを引いたまま背もたれを前へ倒します。



AAA009114

◆ 戻すときは

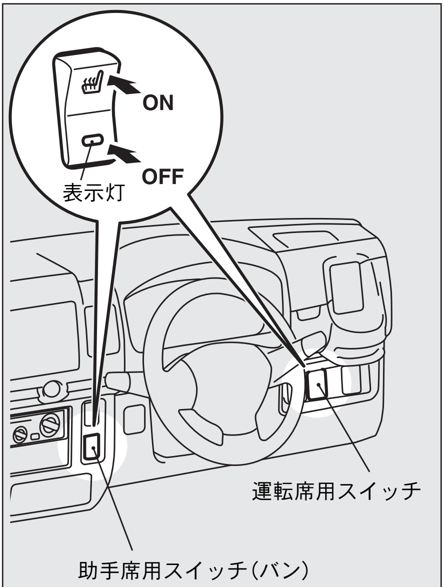
背もたれを確実にロックするまで起こします。戻したあとは，背もたれが確実に固定されていることを確認します。

シートヒーター

タイプ別装備

J00513800016

パワースイッチが ON のときにスイッチの上側を押すとヒーターが作動し，スイッチ内の表示灯が点灯します。
シートヒーターを切りたいときはスイッチの下側を押します。



AAE003660

⚠注意

- READY（走行可能）表示灯が消灯しているときの連続使用は補機用バッテリーが上がる原因になります。
- 長時間の連続使用は低温やけど（水ぶくれなど）の原因になります。特につぎのような方は注意してください。
  - 乳幼児，お子さま，お年寄，病気の方，身体の不自由な方
  - 皮膚の弱い方
  - 疲労の激しい方
  - 飲酒した方およびねむけをさそう薬などを飲んだ方（かぜ薬など）
- 重い荷物をシートの上に置いたり，針やくぎなどをシートに刺したりしないでください。

7

⚠注意

- 毛布や座ぶとんなど保温性のよいものをシートにかけないでください。過熱の原因となります。
- シートを手入れするとき，ベンジン，ガソリン，およびアルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。シート表面およびヒーターの損傷原因となります。
- 水，ジュースなどをこぼしたときは十分乾かしてから使用してください。

アドバイス

- ご使用にならないときはスイッチを OFF にしてください。

荷室の作り方（バン）

タイプ別装備

J00503500414

リヤシートを折りたたむことにより，大きな荷物を積むことができます。

⚠警告

- 荷室を作るときは必ず走行前に行ってください。走行中にシートを操作すると必要以上に動くことがあり，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートを折りたたんだり，または元に戻したときは，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き，重大な事故につながるおそれがあります。
- 走行中に荷室に人が乗ったり，お子さまを遊ばせないでください。
  急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

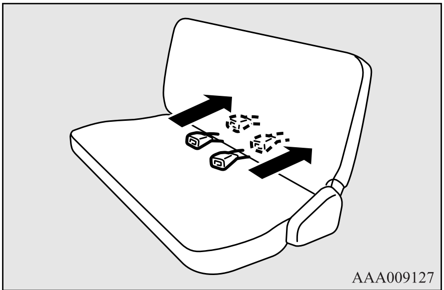
⚠注意

- 室内にはシートの高さ以上に荷物を積まないでください。また，荷物は確実に固定してください。
  後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたときに荷物が飛び出して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを操作するときは，手足をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

折りたたむときは

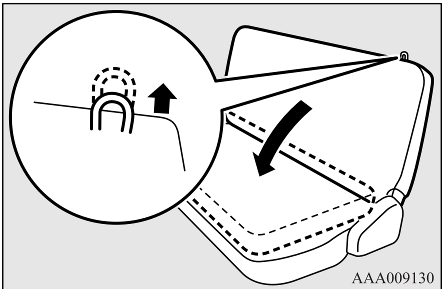
J00507600282

1. シートベルトのバックルを荷室側へ押し出します。



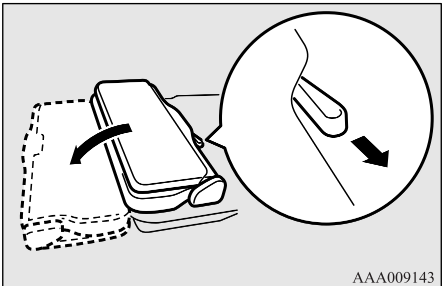
AAA009127

2. ノブを引き上げたまま，背もたれを前へ倒します。



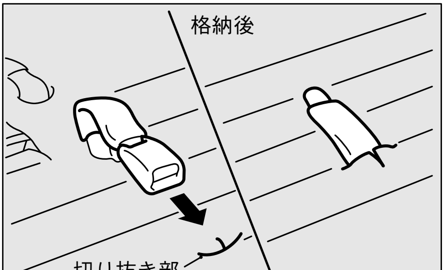
AAA009130

3. シート後方のバンドを引いてロックを外し，シート全体を前方へ倒します。



AAA009143

4. シートベルトのバックルをフロアの切り抜き部に格納します。

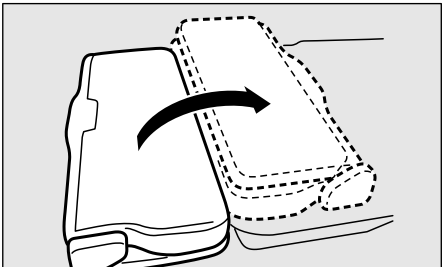


AAA009156

戻すときは

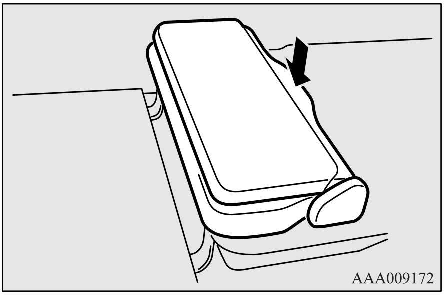
J00507700241

1. シート全体を後方へ起こします。



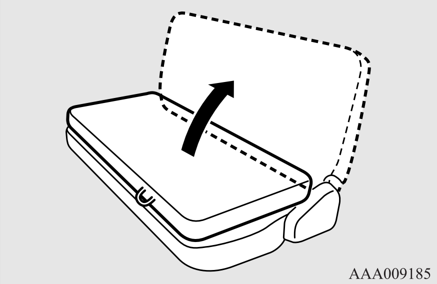
AAA009169

2. シート後部をカチッと音がするまで押し付けるか，またはシートを少し持ち上げた位置（約 30cm）から離し確実に固定します。



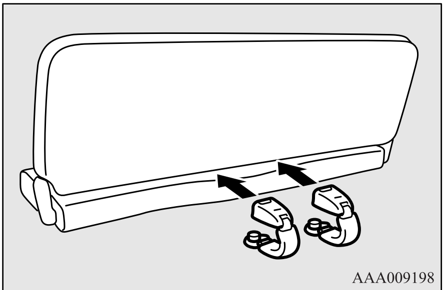
AAA009172

3. ノブを引き，背もたれを確実にロックするまで起こします。



AAA009185

4. 背もたれとクッションの間を通してシートベルトのバックルを元の位置に戻します。



AAA009198

5. 操作後はシートを軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。

シートベルト

J00505100687

シートベルトは万一の場合，運転者と同乗者の安全を守ります。シートベルトはつぎの使用方法，注意を守り，運転する前に必ず着用してください。



AAE000092

⚠警告

- 肩部ベルトは脇の下を通さないで，肩に十分かかるように着用してください。ベルトが肩に十分かかっていないと衝突したときなどに身体が前方に投げ出され，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 腰部ベルトは腹部にかけないでください。衝突したときなどに腹部などに強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ベルトは1人用です。2人以上で使用しないでください。衝突のときなどにベルトが正常に働かず，重大な傷害を受けるおそれがあります。

7

⚠警告

- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 車に乗るときは必ず全員がシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに身体がシートに保持されず，車外に投げ出されたりして，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトは上体を起こして，シートに深く腰かけた状態で着用してください。正しい姿勢で着用しないと十分な効果を発揮しないおそれがあります。正しい姿勢については「シート調整」を参照してください。→ P. 7-4
- シートベルトはねじれのないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり，衝突したときなどに局部的に強い力を受けてシートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ハンドルやインストルメントパネルに必要以上に近づいて運転しないでください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- お子さまでもシートベルトを必ず着用させてください。ひざの上でお子さまを抱いていても，急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。



⚠警告

- 妊娠中の女性や疾患のある方も，万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし，局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので，医師にご相談のうえ注意事項を確認してからご使用ください。
妊娠中の方は，腰部ベルトを腹部を避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩部ベルトは確実に肩を通し，腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。
- シートベルトを着用する場合は洗たくばさみやクリップなどでベルトにたるみをつけないでください。ベルトにたるみがあると十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- ほつれや切り傷ができたり，金具部などが正常に動かなくなったときは，シートベルトを交換してください。異常がある状態で使用すると衝突時に正常に動かず，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- 万一，事故にあって，シートベルトに強い衝撃を受けた場合は，外観に異常がなくても必ず交換してください。軽い事故の場合も三菱自動車販売会社で点検を受けてください。ベルト自体が壊れている場合があり，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- シートベルトを修理または交換する場合は三菱自動車販売会社へご相談ください。
- バックルや巻き取り装置の内部に異物などを入れないようにしてください。またシートベルトの改造や取り付け，取り外しをしないでください。衝突したときなどに十分な効果を発揮できないおそれがあります。
- ベルトが汚れた場合は，中性洗剤を使用してください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤の使用や漂白，染色は絶対にしないでください。
シートベルトの性能が落ち，十分な効果を発揮できなくなるおそれがあります。

3点式シートベルト

J00505200239

ベルトの長さを調整する必要はありません。ベルトは身体の動きに合わせて伸縮しますが，強い衝撃を受けたときは，ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

アドバイス

- ベルトをすばやく引き出すことにより，ベルトがロックするか確認できます。

◆ 着用するときは

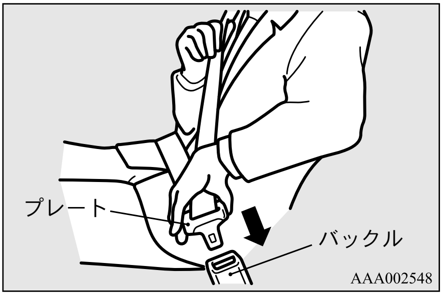
J00507800170

1. プレートを持ってシートベルトをゆっくりと引き出します。

アドバイス

- シートベルトがロックしたまま引き出せないときは，一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ，再度ゆっくりと引き出してください。

2. ベルトがねじれていないか確認した後，プレートをバックルにカチッと音がするまではめ込みます。



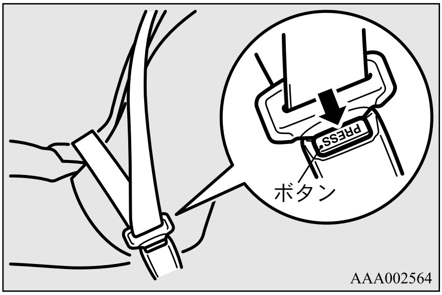
3. 腰部ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ，ベルトを引いて腰部に密着させます。



◆ 外すときは

J00507900328

プレートを持ってバックルのボタンを押します。
ベルトは自動的に巻き取られますので，プレートに手を添えて，ゆっくり戻してください。



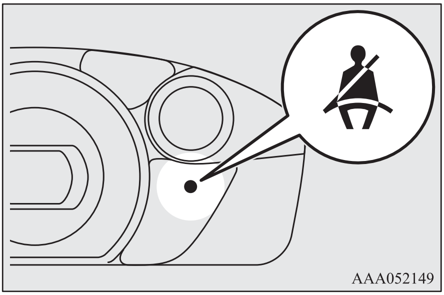
⚠警告

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
  ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると，窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
  万一，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

◆ シートベルト警告

J00509700782

運転席および助手席（バン）のシートベルトを着用しないままパワースイッチをONにすると，警告灯が点灯し，約6秒間ブザーが鳴ってシートベルトの着用を促します。
そのままシートベルトを着用せずに走行したとき，パワースイッチをONにしてから約1分が経過していると警告灯が点灯・消灯を繰り返し，ブザーが断続的に鳴ります。
警告灯とブザーの警告は約90秒で止まります。
その後，シートベルトを着用しないまま停車・発進を繰り返すと，発進するたびに警告灯とブザーによってシートベルトの着用を促します。また，走行中にシートベルトを外しても同じようにシートベルトの着用を促します。
シートベルトを着用すれば警告は止まります。



アドバイス

- バンの助手席用の警告は，助手席に組み込まれた乗員検知センサーが助手席に掛かる重量を検知したときに作動します。助手席に荷物などを置くと，センサーが重量を検知して，警報が作動することがあります。

プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト

J00505701101

プリテンショナー付シートベルトは，運転席および助手席に装備されています。

プリテンショナー機構

プリテンショナー機構は，パワースイッチが ON のときに運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方より受けたときに，シートベルトを瞬時に引き込み，シートベルトの効果をいっそう高める装置です。

⚠警告

- プリテンショナー付シートベルトの効果を十分に発揮させるため，つぎのことをお守りください。
  - シートを正しい位置に調整してください。
    →「シート調整」P. 7-4
  - シートベルトを正しく着用してください。
    →「シートベルト」P. 7-9
- プリテンショナー付シートベルトやフロアコンソール付近の修理，カーオーディオなどの取り付けをする場合はプリテンショナー機構に影響をおよぼすおそれがありますので，三菱自動車販売会社にご相談ください。

⚠注意

- 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。プリテンショナー付シートベルトが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。

アドバイス

- プリテンショナー付シートベルトはシートベルトを装着していなくても，前方からの強い衝撃を受けると作動します。

アドバイス

- プリテンショナー付シートベルトは一度作動すると再使用できません。
  三菱自動車販売会社で運転席，助手席側を同時に交換してください。

フォースリミッター機構

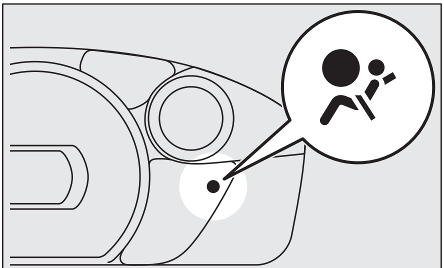
J00510100021

衝突時に，シートベルトにかかる荷重を効果的に吸収し，乗員への衝撃をやわらげる装置です。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯

J00510000378

正常なときはパワースイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，SRS エアバッグおよびプリテンショナー機構が作動すると，点灯したままとなります。
SRS エアバッグ警告灯はプリテンショナー機構警告灯と兼用しています。



AAA052152

⚠注意

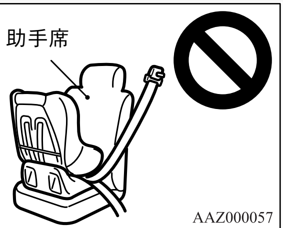
- 警告灯がつぎのようになったときはシステムの異常が考えられます。
  衝突したときなどに SRS エアバッグおよびプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがありますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - パワースイッチを ON にしても警告灯が点灯しない，または点灯したまま
  - 走行中に警告灯が点灯する

チャイルドシート

J00506001172

⚠警告

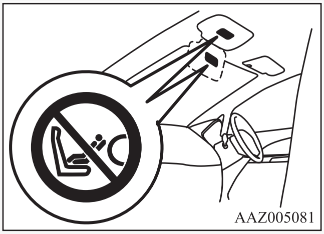
- シートベルトは大人の体格に合わせて設計されています。シートベルトを着けたとき肩部ベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまは通常のシートベルトでは衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
- 6才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
- チャイルドシートの取り付けは後席を推奨しています。トラックへのチャイルドシートの取り付けはおすすめしません。
- 助手席SRSエアバッグ付き車は，助手席に乳児用シート（ベビーシート）など後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
  また，幼児用シート（チャイルドシート）など前後向きとも装着可能なシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
  助手席 SRS エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。



AAZ000057

⚠警告

- 助手席SRSエアバッグ付き車は，助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートを取り付けることを禁止するラベルが，サンバイザーに貼り付けてあります。



AAZ005081

- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合は，必ず前向きのチャイルドシートを取り付けてください。

⚠注意

- バンのフロントシートを後方へ移動したり背もたれを倒すときは，チャイルドシートに座ったお子さまに十分注意してください。
  お子さまがシートとチャイルドシートの間にはさまれるおそれがあります。

7

シート位置別チャイルドシートの適合性一覧表（シートベルト使用による取り付け）

J00506200904

下の表から，装着位置に応じてチャイルドシートを選択してください。

質量グループ（お子さまの体重）		トラック（助手席）		バン	
		エアバッグ付き車	除く，エアバッグ付き車	助手席	リヤシート左右席
0	10㎏まで	X	U	X	U
0+	13㎏まで	X	U	X	U, L*1
I	9～18㎏	UF	U	UF, L*2	U, L*2
II	15～25㎏	UF	U	UF, L*3	U, L*3
III	22～36㎏	UF	U	UF, L*3	U, L*3

記号の説明

- U: 国連の安全基準 ECE-R44 に適合している汎用型（ユニバーサル）カテゴリーのチャイルドシートのみが取り付け可能です。
- UF: 国連の安全基準ECE-R44に適合している汎用型（ユニバーサル）カテゴリーの前向きチャイルドシートのみが取り付け可能です。
- L: 以下のリストに示す三菱自動車純正チャイルドシートの取り付けが可能です。
- X: チャイルドシートを取り付けることはできません。

三菱自動車純正チャイルドシート

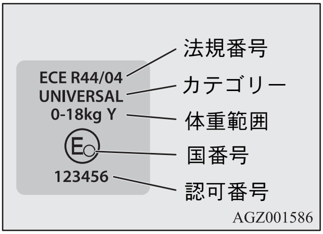
ご購入，ご使用に関しては三菱自動車販売会社へご相談ください。

記号	純正部品番号	ECE NO.
L*1	MZ525277	E1-04301146
L*2	MZ525280	E1-04301133
L*3	MZ525270	E1-04301169

7

アドバイス

● ECE-R44 に適合したチャイルドシートには，つぎの認可マークが表示されています。



チャイルドシートの取り付け方

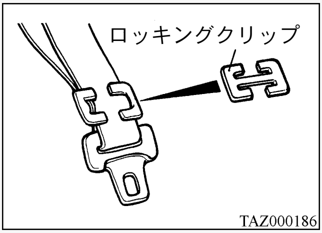
J00506500949

チャイルドシートを取り付けるときは，つぎの手順で確実に取り付けてください。

◆ 取り付けるときは

⚠警告

- チャイルドシートの種類によって取り付け方法が異なります。
  必ずチャイルドシートの取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。
  チャイルドシートによってはチャイルドシートに付属のロッキングクリップでの固定が必要です。



1. チャイルドシートを取り付けたい席に置きます。
2. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートをシートベルトで固定します。
3. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されていることを確認します。

◆ 取り外すときは

プレートをバックルから外して，シートベルトをチャイルドシートから取り外します。
ベルトは自動的に巻き取られますので，プレートに手を添えて，ゆっくり戻してください。

7

SRSエアバッグ

J00506601224

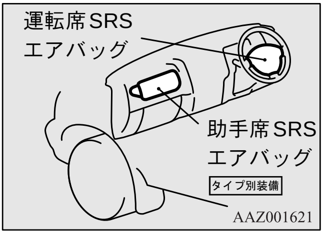
SRSとはSupplemental Restraint Systemの略語で補助拘束装置の意味です。
パワースイッチが ON のときに，運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに，シートベルトの働きを補って，運転者または助手席同乗者の頭部や胸部への衝撃をやわらげる装置です。

⚠警告

- SRS エアバッグはシートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。
  シートベルトをしていないと急ブレーキなどで身体が前方へ放り出されることがあり，その際にSRSエアバッグが膨らむとその強い衝撃で命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトはつぎの理由により必ず着用してください。
  - SRSエアバッグが膨らんだとき，シートベルトがあなたの身体を正しい位置に保ちます。
  - SRS エアバッグが作動しないときでも，シートベルトによりけがを軽減することができます。
- シートは正しい位置に調整し，背もたれに背中をつけた正しい姿勢でシートに座ってください。
  SRS エアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRS エアバッグに近づきすぎた姿勢で乗車していると SRS エアバッグが膨らむ際，エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRS エアバッグ構成部品およびその周辺は膨らんだ後，高温になりますのでさわらないでください。やけどをするおそれがあります。

⚠注意

- SRS エアバッグが収納されている部分に傷がついていたり，ひび割れがあるときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。



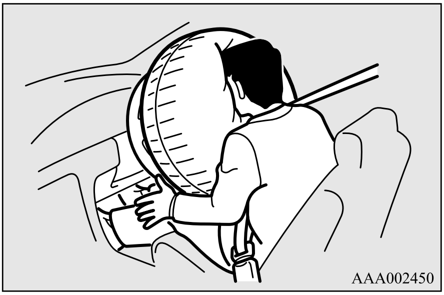
アドバイス

- SRS エアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRS エアバッグとの接触によりすり傷や打撲などを受けることがあります。
- SRS エアバッグが膨らむときかなり大きな音がし，白煙が出ますが火災ではありません。また人体への影響もありません。
  ただし，呼吸器系の疾患がある人や皮膚が弱い人の場合，一時的にのどや皮膚に刺激を感じることがあります。また，残留物（カスなど）が目や皮膚など身体に付着したときは，できるだけ早く水で洗い流してください。
  皮膚が弱い人の場合，まれに皮膚を刺激することがあります。
- 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしぼむので視界を妨げません。
- SRS エアバッグは一度膨らむと再使用できません。三菱自動車販売会社でSRSエアバッグ構成部品を交換してください。
- 衝撃や助手席SRSエアバッグが膨らむことにより，前面ガラスが破損する場合があります。

運転席SRSエアバッグ

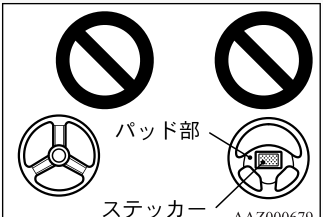
J00506700390

運転席SRSエアバッグはハンドルの中に装備されています。


AAA002450

⚠警告

● ハンドルの交換や，パッド部にステッカーを貼ったり，カバーを付けることはしないでください。SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。



AAZ000679

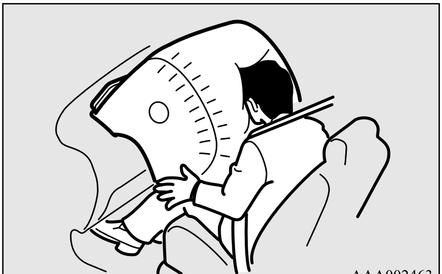
● ハンドルに顔や胸を近づけた姿勢で運転しないでください。
SRS エアバッグが膨らむ際，エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席SRSエアバッグ

タイプ別装備

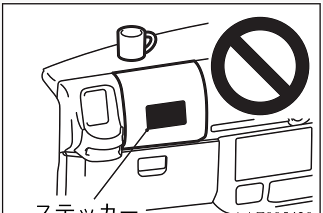
J00506801183

助手席SRSエアバッグはグローブボックス上のインストルメントパネルの中に装備されています。
助手席SRSエアバッグは同乗者がいなくても運転席SRSエアバッグと同時に作動します。


AAA002463

⚠警告

● インストルメントパネルの上に物を置いたり，前面ガラスやルームミラーにアクセサリーなどを取り付けたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。
また，インストルメントパネルの上にステッカーを貼ったりしないでください。SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。



AAZ005430

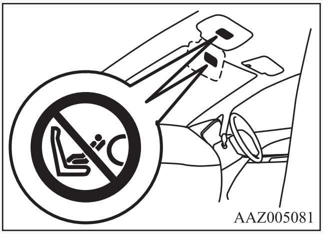
7

⚠警告

- お子さまを乗せるときには，必ずつぎのことをお守りください。SRS エアバッグが膨らむときの強い衝撃でお子さまの命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
  - 必ずシートベルトを着用させてください。
  - シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまには，チャイルドシートを装着してご使用ください。
  - 6 才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
  - 助手席SRSエアバッグ付き車は，助手席に乳児用シート（ベビーシート）など後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
    また，幼児用シート（チャイルドシート）など前後向きとも装着可能なシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
    助手席SRSエアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。



  - 助手席SRSエアバッグ付き車は，助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートを取り付けることを禁止するラベルが，サンバイザーに貼り付けてあります。



  - やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合は，必ず前向きのチャイルドシートを取り付けてください。

7

⚠警告

- 助手席同乗者は，シートの前端に座ったり，インストルメントパネルに手や足を乗せたり，顔や胸を近づけた姿勢で座らないでください。また，お子さまをインストルメントパネルの前に立たせたり，ひざの上に抱いたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむ際，SRS エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。


TAZ000085

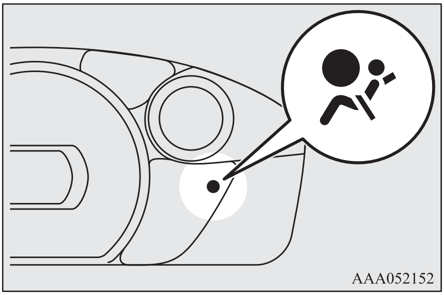

TAZ000098

- 助手席同乗者は，かばんなどの荷物をひざの上にかかえるなど，SRS エアバッグとの間に物を置いたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむ際に物が飛ばされ重大な傷害を受けるおそれがあります。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯

J00507301026

正常なときはパワースイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，SRS エアバッグおよびプリテンショナー機構が作動すると，点灯したままとなります。
SRS エアバッグ警告灯はプリテンショナー機構警告灯と兼用しています。


AAA052152

⚠注意

- 警告灯がつぎのようになったときはシステムの異常が考えられます。
  衝突したときなどに SRS エアバッグおよびプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがありますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - パワースイッチを ON にしても警告灯が点灯しない，または点灯したまま
  - 走行中に警告灯が点灯する

運転席・助手席SRSエアバッグの作動条件

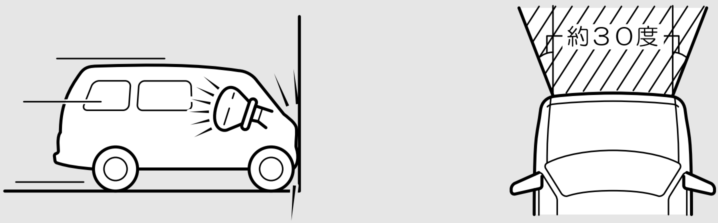
J00506900363

◆ 作動するとき

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに作動します。

約25km/h以上の速度でコンクリートのような固い壁に正面から衝突したとき

車両の前方左右約30度以内の方向から強い衝撃(左記と同等)を受けたとき



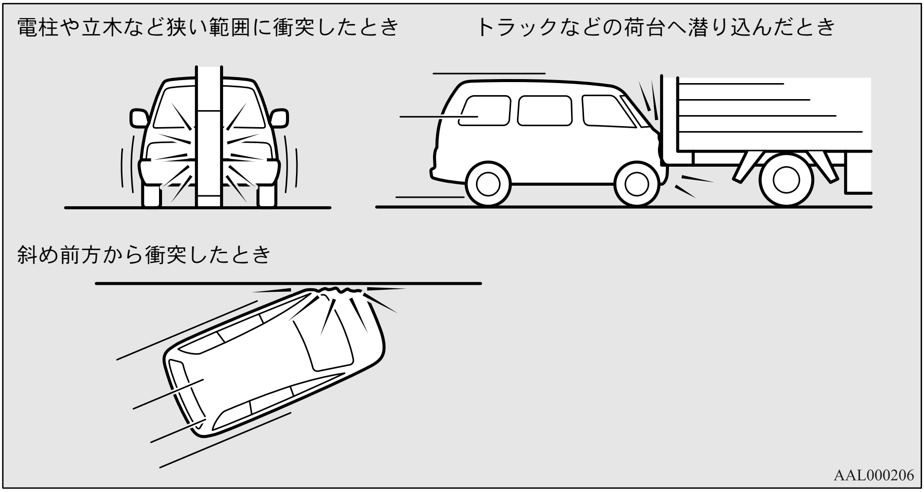
AAJ001469

アドバイス

- コンクリートのような固い壁でなく，衝撃を吸収できるもの（車やガードレールのように変形，移動するもの）に衝突した場合は，エアバッグが作動するときの衝突速度（車速）は高くなります。

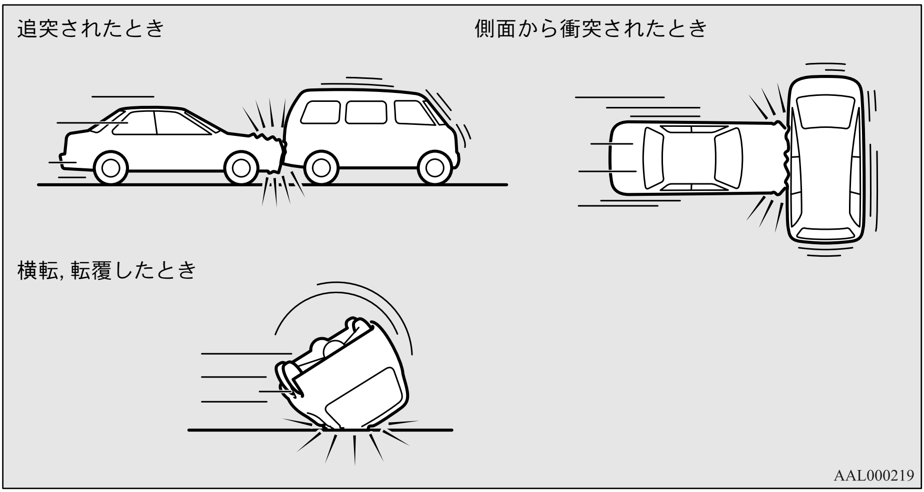
◆ 作動しないことがあるとき

衝突により車両前部が大きく変形しても，衝突した位置や角度，衝突したものの形状や状態などによってSRSエアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさとSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。



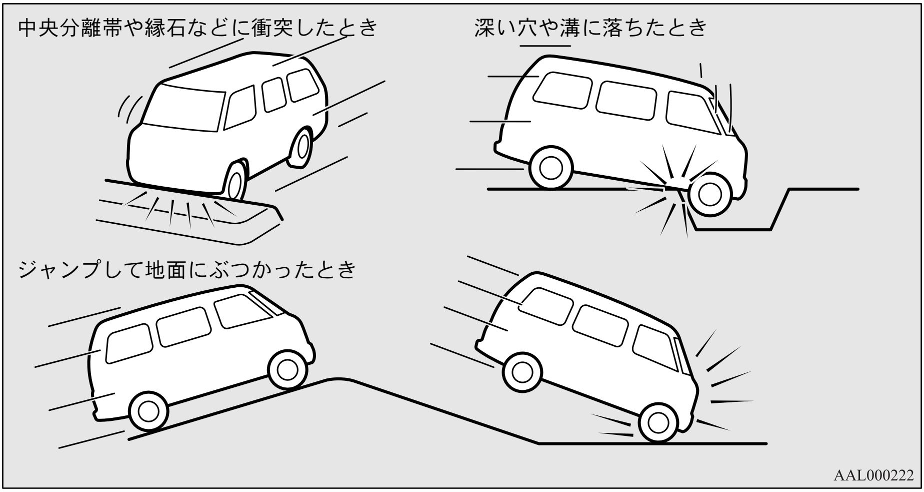
◆ 作動しないとき

SRSエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また，一度作動したSRSエアバッグは，2回目以降の衝突では再作動しません。



◆ 作動することがあるとき

走行中，車両下部に強い衝撃を受けたときに作動することがあります。

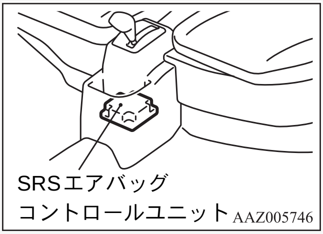


取り扱い上の注意

J00507400756

⚠警告

- ハンドル周り，インストルメントパネル，フロアコンソール付近の修理，カーオーディオなどの取り付け，および車両前部の修理をする場合は，SRS エアバッグシステムに影響をおよぼしたり，SRS エアバッグが思いがけなく作動しけがをするおそれがありますので，三菱自動車販売会社へご相談ください。
- サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり，サスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- ステアリングパッドやインストルメントパネル上部など SRS エアバッグ展開部付近を強くたたくなど，過度の力を加えないでください。
  SRSエアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRS エアバッグコントロールユニットの取り扱いについてはつぎのことをお守りください。取り扱いを誤ると SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
  - SRSエアバッグコントロールユニットの取り外し，分解をしない。
  - SRSエアバッグコントロールユニットおよびその周辺に水をかけない。
  - SRSエアバッグコントロールユニットおよびその周辺に重い荷物を落としたり，強くけるなど，過度の力を加えない。



⚠注意

- 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。SRS エアバッグが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。
- 電気テスターを使って，エアバッグの回路診断はしないでください。SRS エアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- 無線機の電波などは，SRS エアバッグを作動させるコンピューターに悪影響を与えるおそれがありますので，無線機などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

アドバイス

- お車をゆずられるときは SRS エアバッグ装着車であることを説明し，取扱説明書を車につけておいてください。

7

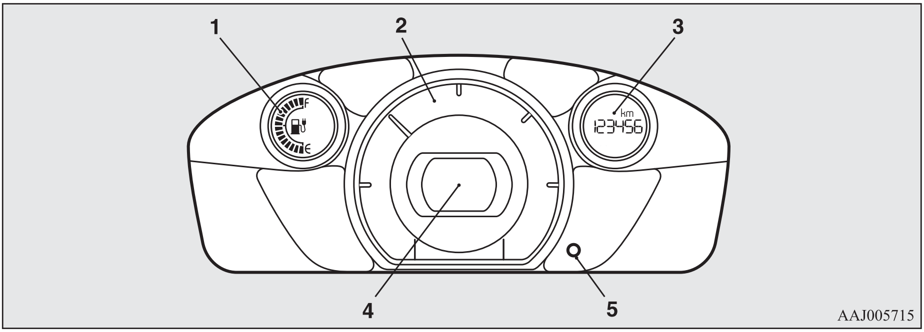
MEMO

計器盤・スイッチ

8

メーター

J00600100960



1- 駆動用バッテリー残量計→P. 8-9
2- パワーメーター →P. 8-3
3- オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）／
メーター照度表示／サービスリマインダー／航続可能距離表示→P. 8-3
4- スピードメーター →P. 8-3
5- リセットボタン／メーター照度調整ボタン／切り換えボタン→P. 8-3

スピードメーター

J00600200150

READY（走行可能）表示灯が点灯しているときに，走行速度を示します。

パワーメーター

J00616900035

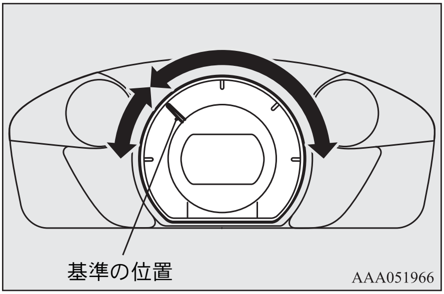
パワーユニット，エアコンの消費電力および回生ブレーキで発生した電気エネルギーの充電電力を示します。
READY（走行可能）表示灯を点灯させると指針が基準の位置に移動し，車両の使用状況に応じて指針が左右に振れます。

基準の位置より右に振れたとき

パワーユニットおよびエアコンの消費電力を示します。
右に振れる量が大きいほど，電力を多く消費しています。

基準の位置より左に振れたとき

回生ブレーキで発生した電気エネルギーの充電電力を示します。
左に振れる量が大きいほど，電気エネルギーを多く充電しています。



オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）／メーター照度表示／サービスリマインダー／航続可能距離表示

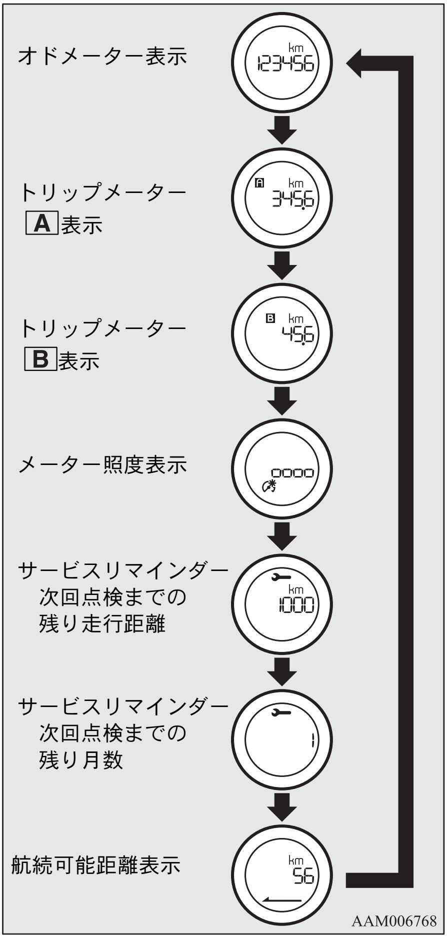
J00600600558

パワースイッチが ON のとき，オドメーター表示，トリップメーター表示，メーター照度表示，サービスリマインダー，または航続可能距離表示を表示します。

8

表示を切り換えるときは

切り換えボタンを軽く（約1秒未満）押すたびに表示が切り換わります。



アドバイス

- 航続可能距離表示は，パワースイッチがONのときに表示されます。
- メーター照度表示またはサービスリマインダー表示のとき約10秒間何も操作しないとオドメーター表示に戻ります。

◆ オドメーター

走行した総距離をkm単位で表示します。

◆ トリップメーター

2地点間の走行距離をkm単位で表示します。

＜トリップメーターA，トリップメーターBの使用例＞

トリップメーターAで自宅を出発してからの距離を測りながら，トリップメーターBで途中の経由地からの距離を測ることができます。

リセットするときは

0に戻すにはリセットボタンを約1秒以上押し続けます。この場合，表示されている方だけリセットされます。

＜例＞

トリップメーターAが表示されていればトリップメーターAだけリセットされます。

アドバイス

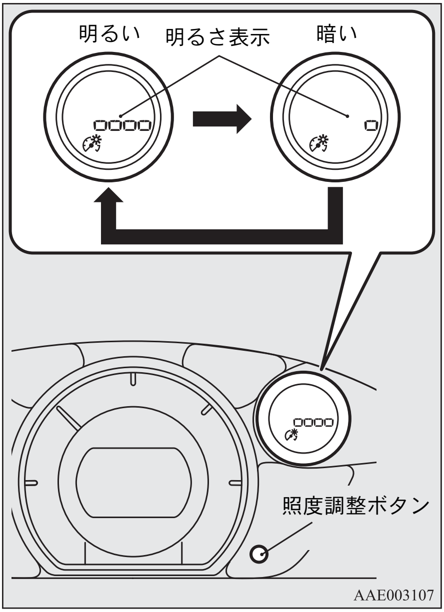
- トリップメーターはA, B共に9999.9kmまで計測することができます。
- パワースイッチをACCまたはLOCKにした後でもリセットボタンを押すと約30秒間オドメーターまたはトリップメーターを表示します。
- 補機用バッテリーの端子を外すと，トリップメーターのA表示，B表示とも記憶が消去され，表示が0に戻ります。

◆ メーター照度表示

メーターの明るさを表示します。
明るさ表示の数が多いほどメーター照明が明るくなります。

メーターの明るさを変えるときは

ボタンを押し続けると明るさ表示がオートスクロールし，手を離すと止まります。
お好みの明るさに調整してください。

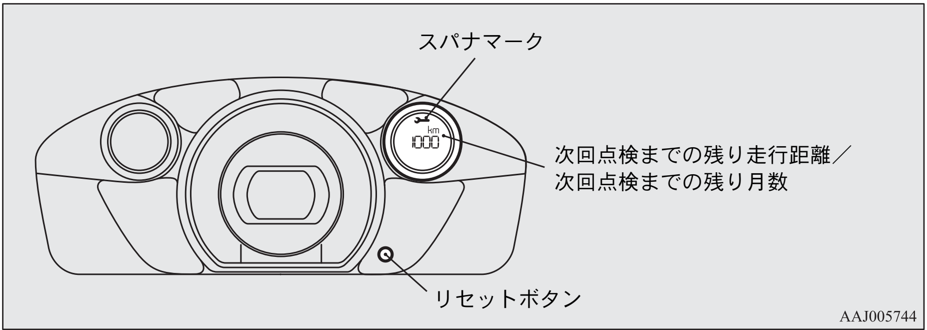


アドバイス

- 尾灯の点灯・消灯に応じてそれぞれ調整することができます。
- ライトスイッチが≣Dまたは≣D0≣位置にあるときは，メーターの照明が自動的に調整した明るさに切り換わります。
- パワースイッチをACCまたはLOCKにした後でも，メーターの明るさの状態を記憶しています。

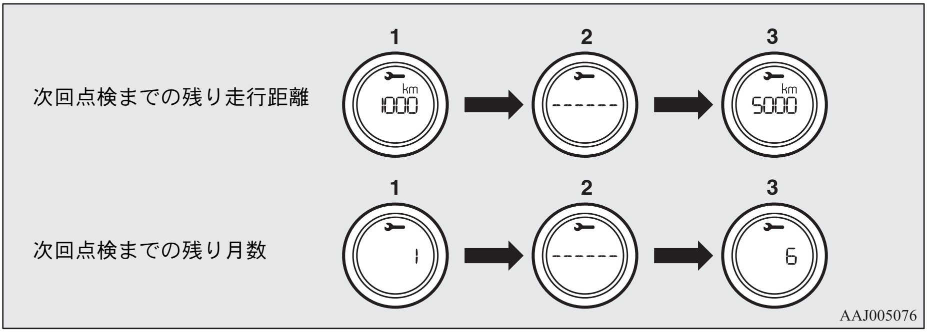
◆ サービスリマインダー

J00611400107

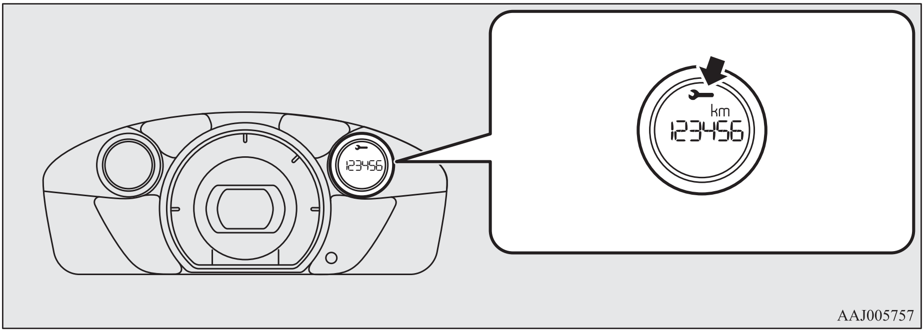


新車1 ヶ月点検(1.000km), 新車6 ヶ月点検(5.000km)とその後の12 ヶ月ごとの定期点検までの残り走行距離または残り月数を表示します。
点検時期が近づいたときは, “------”を表示して知らせます。
また, このときパワースイッチをLOCKまたはACCからONにするとスパナマークが数秒間表示されます。

8



1. 次回点検までの残り走行距離または次回点検までの残り月数を表示します。
2. 点検時期が近づいたことを“------”を表示して知らせます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
このときパワースイッチをLOCKまたはACCからONにするとスパナマークが数秒間表示されます。



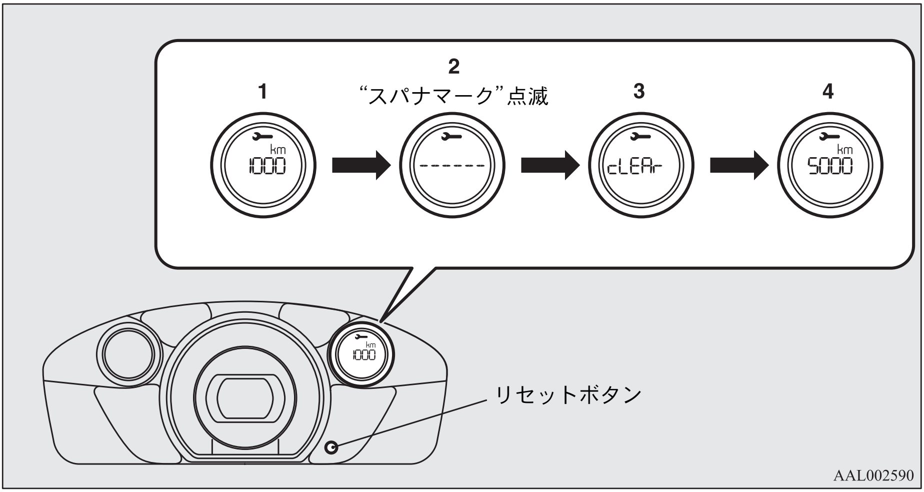
3. 三菱自動車販売会社で点検を受けると，次回点検までの残り走行距離または次回点検までの残り月数を表示します。

アドバイス
● 距離は100km 単位，期間は1ヶ月単位で減少します。 ● 新車6ヶ月点検を過ぎると，期間のみを表示します。 ● サービスリマインダーの設定を変更することができます。 詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

リセットするときは

パワースイッチがLOCKまたはACCのときに，スパナマーク，“------”表示をリセットすることができます。
リセットすると次回点検までの残り走行距離または次回点検までの残り月数を表示し，パワースイッチをLOCKまたはACCからON にしたときに表示されていたスパナマークは表示されなくなります。

1. リセットボタンを押して，次回点検までの残り走行距離または次回点検までの残り月数を表示させせます。
2. リセットボタンを長く（約2 秒以上）押して“スパナマーク”を点滅表示させせます。（点滅中，約10 秒間何も操作しないと元の表示画面に戻ります。）
3. 点滅中にリセットボタンを軽く押すと “------”が“cLEAr ”表示にかわります。
4. その後，次回点検までの残り走行距離または次回点検までの残り月数を表示します。



⚠注意

- 日常点検整備と定期点検整備は, お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。
  事故や故障を未然に防ぐために必ず実施してください。

アドバイス

- “------”表示はパワースイッチがON のときはリセットできません。
- “------”表示後，一定距離及び一定期間が経過すると自動的にリセットされてつぎの定期点検までの時期を表示します。
- 誤ってリセットした場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ 航続可能距離表示

J00618700053

おおよその航続可能距離（あと何km走行できるか）を表示します。航続可能距離が短くなると“---”を表示します。

アドバイス

- 航続可能距離は今までの走行データをもとに表示されますが，走行状態（道路状況，運転のしかたなど）およびエアコン（冷房または暖房）の作動状態により変化します。
  例えば，渋滞路走行，登坂路走行，急加速の繰り返し，エアコン作動時などは，航続可能距離表示の値が大きく下がります。
  また，補機用バッテリーの端子を外したときは，今までの駆動用バッテリーの消費電力データが消去されるので，それまでとは異なった値が表示されることがあります。表示はあくまでも参考としてご利用ください。
- 充電すると航続可能距離が更新されます。
  ただし，充電量が少ないと正しい数値が表示されません。

駆動用バッテリー残量計

J00617000033

充電中またはパワースイッチが ON のときに，駆動用バッテリーの残量を表示します。

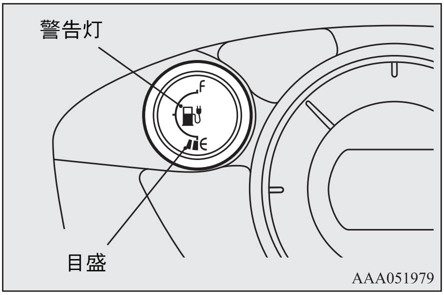
F- 満充電です。
E- 充電してください。

アドバイス

- 充電中は，充電ランプも同時に点灯します。
  →「充電ランプ」P. 8-11

◆ 駆動用バッテリー残量警告灯

J00617100050



パワースイッチが ON のときに駆動用バッテリー残量計の目盛が 2 つ以下になると，つぎのように警告灯，目盛が点滅します。

目盛2つのとき：警告灯が点滅
目盛1つのとき：警告灯と目盛が交互に点滅

警告灯が点滅したら早めに充電してください。
→「充電のしかた」P. 5-4，5-15

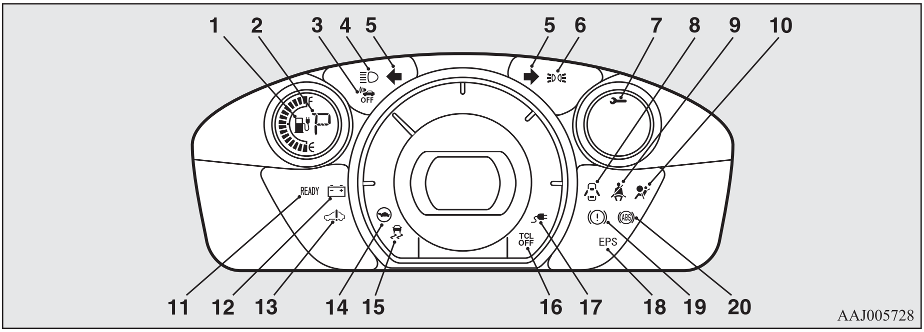
アドバイス

- エアコン（冷房または暖房）使用中に目盛が0になると，エアコンが停止して，送風のみに切り換わります。
- 目盛が0になると，パワーダウン警告灯が点灯し，出力を制限します。
- 充電中は，目盛が2つのときは警告灯が点滅し，目盛が1つのときは警告灯と目盛が交互に点滅します。

8

表示灯・警告灯

J00601501261



1- 駆動用バッテリー残量警告灯→P. 8-9
2- セレクターレバー位置表示灯→P. 9-9
3- 車両接近通報装置OFF表示灯→P. 9-14
4- ヘッドライト上向き表示灯→P. 8-11
5- 方向指示表示灯／非常点滅表示灯→P. 8-11
6- 車幅灯表示灯→P. 8-11
7- サービスリマインダー →P. 8-6
8- 半ドア警告灯→P. 8-12
9- シートベルト警告灯→P. 7-12
10- SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯→P. 7-13, 7-21
11- READY（走行可能）表示灯→P. 8-11
12- 補機用バッテリー充電警告灯→P. 8-12
13- パワーユニット警告灯→P. 8-13
14- パワーダウン警告灯→P. 8-13
15- トラクションコントロール(TCL)作動表示灯→P. 9-20
16- トラクションコントロール(TCL)OFF表示灯→P. 9-20
17- 充電ランプ→P. 8-11
18- 電動パワーステアリング警告灯→P. 9-18
19- ブレーキ警告灯→P. 8-11
20- ABS警告灯→P. 9-16

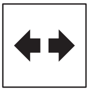
8

表示灯

J00601600018

方向指示表示灯／非常点滅表示灯

J00601700396



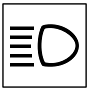
方向指示レバー，非常点滅灯を作動させると点滅します。

アドバイス

- 点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト上向き表示灯

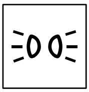
J00601800010



ヘッドライトを上向きにすると点灯します。

車幅灯表示灯

J00602100108



車幅灯，尾灯を点灯させると表示灯が点灯します。

READY（走行可能）表示灯

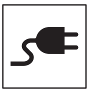
J00617200022



パワースイッチを START まで回し走行が可能な状態になると点灯します。

充電ランプ

J00617300023



普通充電ケーブルまたは急速充電ケーブルが接続されると点滅します。
その後，充電が開始されると点灯に切り換わり，充電が完了すると消灯します。

警告灯

J00602500014

ブレーキ警告灯（ブレーキ警告ブザー）

J00602601054



パワースイッチをONにすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，つぎのようなときに点灯します。
走行する前に，必ず警告灯が消えていることを確認してください。

- 駐車ブレーキをかけたままのとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- ブレーキ負圧発生システムに異常があるとき
- ブレーキ力配分機能に異常があるとき

◆ ブレーキ警告ブザー

J00617700030

ブレーキの負圧が不足するとブザーが鳴り，ブレーキの効きが悪くなるおそれがあることを運転者に知らせます。

アドバイス

- ブレーキペダルを何度も繰り返して踏み込むと，ブレーキ警告灯が点灯し，ブレーキ警告ブザーが鳴ります。ブレーキ操作をやめて数秒後に警告灯が消灯し，ブザーが鳴り止めば異常ではありません。

⚠注意

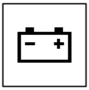
- つぎの場合はブレーキの効きが悪くなったり，急ブレーキをかけたとき車体姿勢が不安定になるおそれがありますので，急ブレーキや高速走行を避けただちに車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へご連絡ください。
  - 駐車ブレーキをかけてもブレーキ警告灯が点灯しない，または戻してもブレーキ警告灯が消灯しない
  - 走行中ブレーキ警告灯が点灯したまま消灯しない
  - ブレーキ警告灯と ABS 警告灯が同時に点灯する
    →「ABS警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したときは」P. 9-17
  - ブレーキ警告ブザーが鳴り止まない
- ブレーキの効きが悪い場合はつぎの処置により車を止めてください。
  - ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。
    ブレーキペダルが奥まで踏み込まれた状態になることがありますが，そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
  - 万一，ブレーキが効かないときは，回生ブレーキでスピードを落としてから駐車ブレーキを慎重にかけてください。
    このとき後続車に注意をうながすため，ブレーキペダルを踏んでストップランプを点灯させてください。

アドバイス

- パワースイッチを ON にした直後やブレーキペダルを踏み込んだときに，パワーユニットルームからブレーキ負圧電動ポンプの作動音が聞こえることがあります。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。

補機用バッテリー充電警告灯

J00617900032



補機用バッテリーの充電系統に異常があると点灯します。
正常なときは パワースイッチをONにすると点灯し，パワーユニットが起動すると消灯します。

⚠注意

- パワーユニットが作動しているときに点灯したときは，必ずつぎのことをお守りください。
  - ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。
  - 補機用バッテリーに充電しないでください。

半ドア警告灯

J00603200597



いずれかのドア（含む，テールゲート）が完全に閉められていないときに点灯します。
半ドアのまま車速が約8km/h以上になると，警告灯が 16 回点滅すると同時にブザーが 16 回鳴り，半ドアを知らせます。

⚠注意

- 走行する前に，警告灯が消灯していることを確認してください。

アドバイス

- 警告灯の点滅とブザーの機能を働かなくすることができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 運転席ドアが開いていると，パワースイッチ切り忘れ警告ブザーまたはキー抜き忘れ警告ブザーが鳴るため，半ドアを知らせる警告ブザーは鳴りません。

パワーユニット警告灯

J00617400024



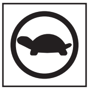
高電圧部位に異常があると点灯します。
→「点検・整備をするときは」P. 3-3

⚠注意

- 走行中に点灯したときは，ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社にご連絡ください。

パワーダウン警告灯

J00617800057



つぎのようなときに点灯し，安全装置が働いて出力を制限します。

- 駆動用バッテリー残量計の目盛が0のとき
- 駆動用バッテリーの残量が少ないときや，電圧が低下しているとき，モーター（パワーユニット）や駆動用バッテリーの温度が高いときまたは低いとき

パワーダウン警告灯が点灯したときは，つぎのように処置してください。

- 駆動用バッテリーの残量が少ないときは，早めに駆動用バッテリーを充電してください。
  →「充電」P. 5-2
- 外気温が高いときや上り坂を連続で走行した後などに警告灯が点灯したときは，モーター（パワーユニット）や駆動用バッテリーを冷却するために安全な場所に停車してください。しばらく放置しても警告灯が点灯したままのときは，三菱自動車販売会社にご連絡ください。
- 外気温が低いときに警告灯が点灯したときは，車を暖かい場所へ移動してください。

⚠注意

- 走行中にパワーダウン警告灯が点灯したときは，アクセルペダルを踏んでも車速が上がらなくなることや減速することがあります。また，減速によって他の車両よりも速度が落ち，衝突の危険が高まるおそれがあります。急加速や急発進を避け周囲の状況に十分注意して走行してください。

アドバイス

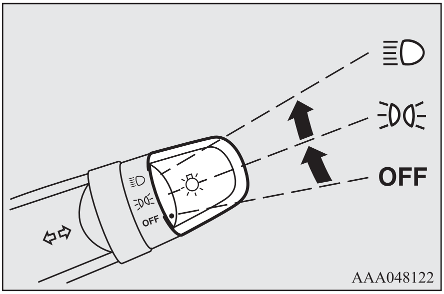
- パワーダウン警告灯の点灯は，車の故障を示すものではありません。
- エアコン（冷房または暖房）使用中にパワーダウン警告灯が点灯すると，エアコンが停止して送風のみに切り換わることがあります。

ライトスイッチ

J00604000967

パワースイッチの位置に関係なく使用できます。
レバー先端のツマミを回すと下表の○印のランプが点灯します。

ツマミの位置	≣D	≣D0≣
ヘッドライト	○	—
車幅灯	○	○
尾灯	○	○
番号灯	○	○
計器類照明灯	○	○



⚠注意

- 点灯中および消灯直後は，レンズの表面が高温になっているため触らないでください。やけどをするおそれがあります。

アドバイス

- 雨の日や洗車後などにレンズ内側が曇ることがあります。これは湿気の多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。ランプを点灯すると熱で曇りは取れます。ただし，ランプ内に水がたまっているときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト [*1] オートカット機能（自動消灯）

J00606000844

*1 ヘッドライトや車幅灯などの車外照明

- ライトスイッチが≣Dまたは≣D0≣の位置でも，パワースイッチをLOCKにし，運転席ドアを開くと，ランプ類が自動的に消灯します。
  - キーを抜き運転席ドアを開いた場合は，ブザーが鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。
  - キーを差したまま運転席ドアを開いた場合は，ブザーが断続的に鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。
- ライトスイッチが≣Dまたは≣D0≣の位置でも，パワースイッチをLOCKにし，運転席ドアを開かないまま約3分たつとランプ類が自動的に消灯します。

◆ 降車後，照明として利用するときは

J00615600051

降車後も約 3 分間ランプ類を点灯させておくことができます。

1. ライトスイッチをOFFにし，パワースイッチをLOCKにします。
2. ライトスイッチをの位置にし，降車します。

アドバイス

-
  ライトスイッチを位置にすると降車後照明として利用できません。（自動消灯せず通常通り，ランプ類が点灯し続けます。）
- 運転席から降車するとき，キーが抜かれていればライト消し忘れ警告ブザーが鳴り，キーが差さっていればキー抜き忘れ警告ブザーが鳴りますが，ドアを閉じれば止まります。

3. 約 3 分後にランプ類が自動消灯します。

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - ライトスイッチが位置でも降車後照明として利用できるようにする。
  - ランプ類のオートカット機能を働かなくする。

ライト消し忘れブザー

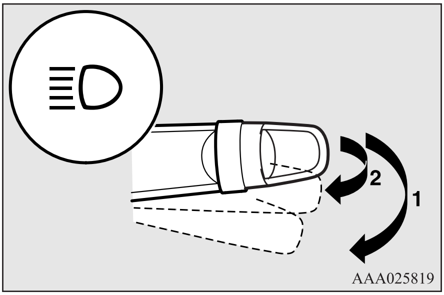
J00606100308

ライトスイッチがまたはの位置のままでキーを抜き，運転席のドアを開くと，ブザーが鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。
ヘッドライトオートカット機能が働く，ライトスイッチをOFFにする，またはドアを閉じればブザーは止まります。

上下切り換え

J00606200413

レバーを(1)まで引くたびにヘッドライトの照らす方向が上向き，下向きと交互に切り換わります。
レバーを(2)まで軽く引くと，引いている間ヘッドライトが上向きになり，メーター内の表示灯も点灯します。



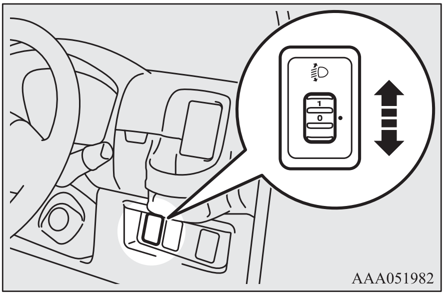
アドバイス

- ライトスイッチがOFF位置でも，レバーを(2)まで軽く引いている間ヘッドライトが上向きで点灯します。
- ヘッドライトを上向きにしたまま戻し忘れても，次回ライトスイッチをの位置にすると必ず下向きで始まります。

ヘッドライトレベリングダイヤル

J00604100896

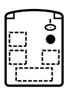
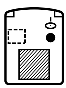
ヘッドライトの照らす方向（光軸）は，乗員の人数や荷物の重さなどによって変化します。人や荷物をのせて，ヘッドライトの光軸がいつもより上向きになった場合は，ダイヤルを回してヘッドライトの光軸を下向きに調整します。
ダイヤルの数字が大きくなるほど下向きになります。



荷物の重さに応じて下記の表を目安にダイヤル位置を調整してください。
荷物をおろした後は，必ずダイヤルを“0”の位置に戻してください。

注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

乗員や荷室の積載状態		ダイヤル位置
	運転席乗車時	0
	運転席乗車時＋荷室最大積載時（後席折りたたみ）	2

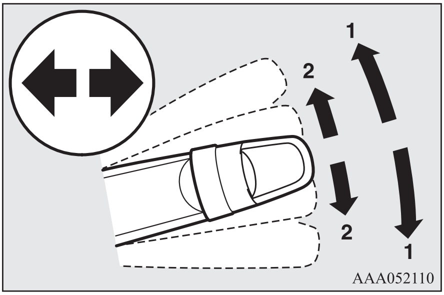
アドバイス

- 車検などで光軸調整をするときは，ダイヤルを “0”の位置（光軸が一番上向きの位置）にしてから行ってください。

方向指示レバー

J00604200930

パワースイッチが ON のときにレバーを (1) まで操作すると，方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。
レバーはハンドルを戻すと自動的に戻ります。ゆるいカーブなどで戻らないときは手で戻してください。
車線変更などのときは，レバーを(2)まで軽く操作すると操作している間だけ方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。
また，レバーを(2)まで軽く操作し，すぐ離すと3回, 方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。



1- 方向指示
2- 車線変更

アドバイス

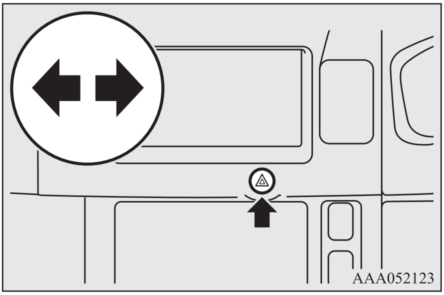
- 点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - パワースイッチがONまたはACCのときにレバーを操作すると，方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅する。
  - 車線変更時，方向指示灯の3回点滅機能を働かなくする。
  - 車線変更時，方向指示灯の3回点滅機能のレバー操作時間を調整する。

8

非常点滅灯スイッチ

J00604300742

故障したときなど，やむを得ず路上に車を止めたいときに使用します。
スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅し，メーター内の表示灯も点滅します。もう一度押すと消灯します。



アドバイス

- READY（走行可能）表示灯が消灯しているときに長時間使用すると補機用バッテリーが上がり，パワーユニットの起動ができなくなることがあります。

8

ワイパー／ウォッシャースイッチ

J00604801005

パワースイッチがONまたはACCのときに使用できます。

⚠注意

- 寒冷時にウォッシャーを使用するとガラスに噴きつけられたウォッシャー液が凍結し，視界を妨げることがあります。ウォッシャー使用前にヒーターやリヤウインドウデフォッガーを使って，ガラスを暖めてください。

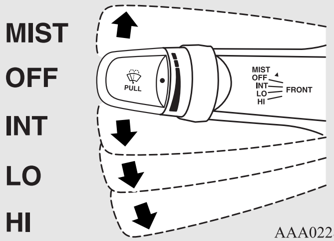
アドバイス

- ガラスがほこりや泥で汚れているときは，洗車するかウォッシャー液を噴射してからワイパーを使用してください。
  汚れたままでワイパーを動かすとガラスに傷がつくことがあります。
- ウォッシャー液が出ないとき，ウォッシャースイッチを操作し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。
  →「ウォッシャー液の点検・補給」P. 13-2
- 凍結などでワイパーブレードがガラスに張り付いたまま作動させないでください。ガラスに張り付いたまま作動させるとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーターが故障するおそれがあります。
  凍結のおそれがあるときや長時間ワイパーを使用しなかったときは，ワイパーブレードがガラスに張り付いていないことを確認してください。
- ワイパーを作動中，積雪などによりワイパーブレードが途中で止まったときはワイパースイッチをOFFにしてもモーターに電流が流れておりパワースイッチをLOCK にしないとモーターが焼き付くことがあります。必ず車を安全な場所に止めてパワースイッチを LOCK にし，ワイパーブレードが作動できるように積雪などを取り除いてください。

フロントワイパースイッチ

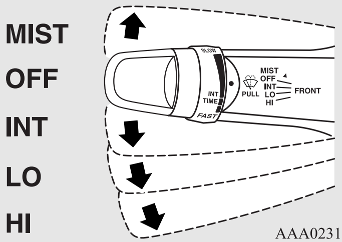
J00615400264

除く, リヤワイパー付き車



AAA022850

リヤワイパー付き車



AAA023134

MIST	1回作動（ワイパーミスト機能）
OFF	停止
INT	間けつ作動（車速感応） 車速に応じてワイパーが間けつ作動します。 車速が速くなると間けつ時間が短くなります。
LO	低速作動
HI	高速作動

アドバイス

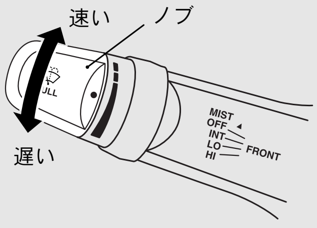
- 車速感応の機能を働かなくすることができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ 間けつ時間の調整のしかた

J00618200032

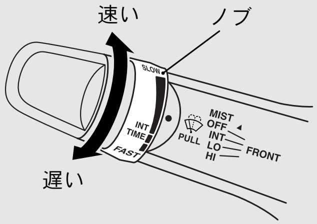
レバーがINT（間けつ作動）位置のときにノブを回すと間けつ時間を調整できます。

除く, リヤワイパー付き車



AAA023147

リヤワイパー付き車



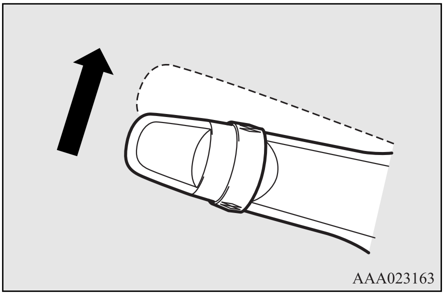
AAA023150

8

◆ ワイパーミスト機能

J00618300046

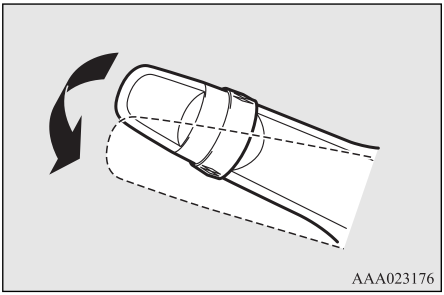
レバーを MIST 位置に上げて離すとワイパーが1回だけ作動します。霧雨のときなどにご使用ください。レバーをMIST位置に上げている間はワイパーが連続作動します。



フロントウォッシャースイッチ

J00604900562

レバーを手前に引いている間ウォッシャー液が噴射します。
ワイパーが作動していないときや間けつ作動中にウォッシャー液を噴射するとワイパーが数回作動します。



アドバイス

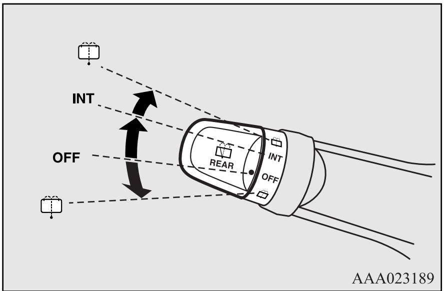
- ワイパーを作動させずにウォッシャー液を噴射するときは，レバーを手前に引いた状態でパワースイッチを ON または ACC にするとワイパーは連動せず，ウォッシャー液のみが噴射します。
- ウォッシャー液を噴射しても常時ワイパーを連動させないようにすることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

8

リヤワイパー／ウォッシャースイッチ

タイプ別装備　J00605000892

パワースイッチがONまたはACCのときに使用できます。



レバー先端のツマミを回すとつぎの通り作動します。

INT　間けつ作動
数回作動し，その後約8秒おきに作動

OFF　停止

この位置に回している間，ウォッシャー液を噴射。同時にワイパーが数回作動。

アドバイス

- 後方の視界を確保するため，INTの位置で間けつ作動中にセレクターレバーをⓇに入れるとワイパーが自動的に数回作動し，その後間けつ作動に戻ります。
- ワイパーを作動させずにウォッシャー液を噴射するときは，レバー先端のツマミをの位置に回した状態でパワースイッチをONまたはACCにするとワイパーは連動せず，ウォッシャー液のみが噴射します。

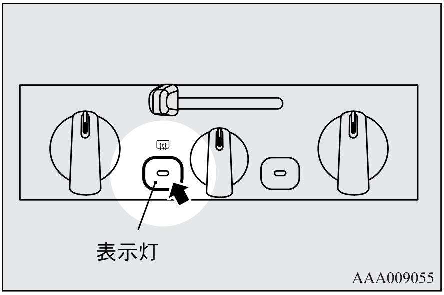
アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - ワイパーの間けつ作動時間を調整する。この調整をした場合，間けつ作動だけでなく1秒以内にレバー先端のツマミをINT（間けつ作動）の位置に2回繰り返して回すと，ワイパーを連続作動に切り換えることができます。（連続作動モード）
  - ワイパーの間けつ作動を連続作動にする。
  - ウォッシャー液を噴射しても常時ワイパーを連動させない。

リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ

タイプ別装備 J00605500738

リヤガラスにプリントされた電熱線でガラスを暖めて曇りを取ると同時に，ガラス表面の霜や氷を取り除きやすくします。
パワースイッチが ON のときにスイッチを押すと作動し，表示灯が点灯します。
もう一度押すとスイッチが切れます。



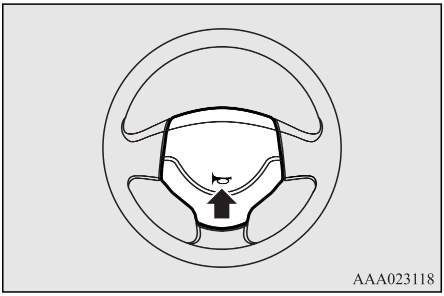
アドバイス

- READY（走行可能）表示灯が消灯しているときに使用しないでください。補機用バッテリーが上がり，パワーユニットの起動ができなくなることがあります。
- この装置は補機用バッテリーの消費電力が大きいので曇りが取れたら停止させてください。
  長時間使うと補機用バッテリーの電圧が低下し，パワーユニットの起動ができなくなることがあります。
- リヤガラス付近に物を置かないでください。車の振動で物が当たると電熱線が切れることがあります。
- リヤガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないように柔らかい布を使い電熱線に沿ってふいてください。

ホーンスイッチ

J00605600511

ハンドルの📯マーク部付近を押すとホーン（警音器）が鳴ります。



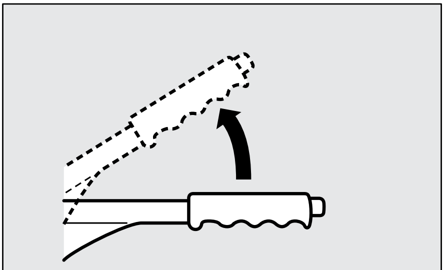
運転装置

駐車ブレーキ

J00700101098

かけるときは

ブレーキペダルを踏み込んだまま，ボタンを押さずに駐車ブレーキレバーをいっぱいまで引きます。



AAA010837

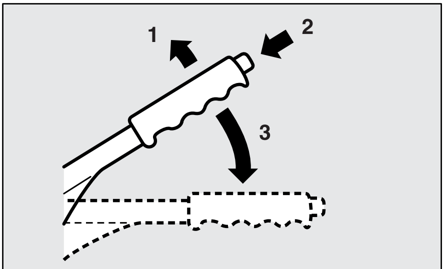
⚠注意

- 坂道に駐車するときは駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れてください。
- 駐車ブレーキをかけるときはブレーキペダルをしっかり踏み，完全に車を止めてから駐車ブレーキレバーを引いてください。
  車が動いているうちに駐車ブレーキレバーを引くと後輪がロックして車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
  また，駐車ブレーキの故障の原因になります。

解除するときは

1. ブレーキペダルを踏み込んだまま，レバーを少し引き上げ
2. ボタンを押したまま
3. 完全に戻します。

解除したときはメーター内のブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。



AAA010840

⚠注意

- 駐車ブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し，ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。

ルームミラー

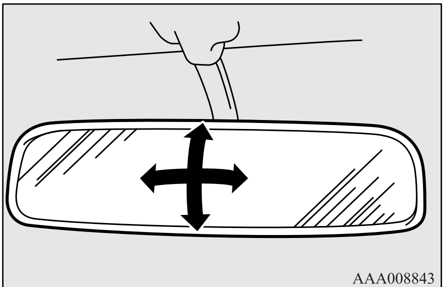
J00700300077

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

ミラーの角度調整

ミラーの本体を上下左右に動かして角度を調整します。



AAA008843

ドアミラー

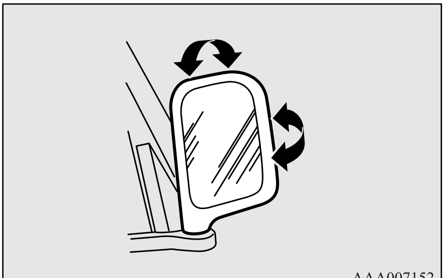
J00700500604

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。
- ドアミラーは凸面鏡を採用しています。
  凸面鏡は平面鏡に比べ，物が遠くに見え，実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

ミラーの角度調整

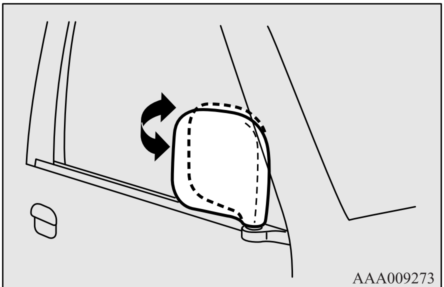
ミラー全体を動かして角度を調整します。



AAA007152

ドアミラーの格納・復帰

手でミラーを車両後方に倒して格納します。
戻すときは車両前方へ起こします。



AAA009273

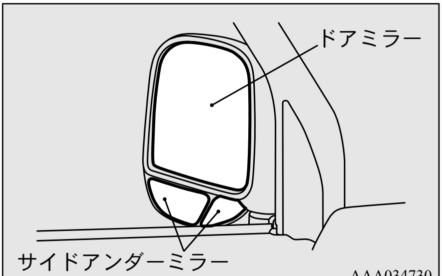
⚠注意

- ミラーを倒したままで運転しないでください。ミラーによる後方確認ができず思わぬ事故につながるおそれがあります。

サイドアンダーミラー

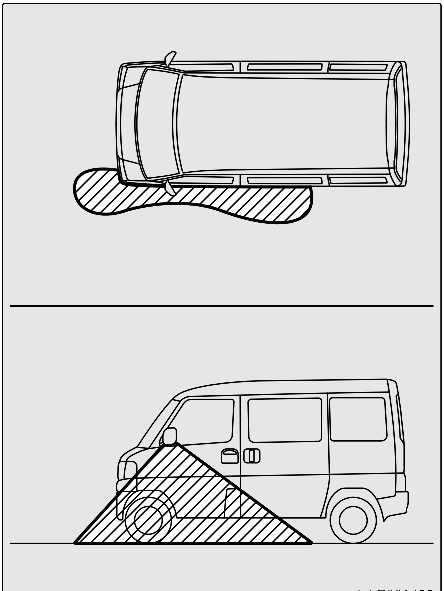
J00700600100

発進時またはごく低速時に助手席側の車両側面を確認するときに使用します。



AAA034730

ミラーに映るおよその範囲



AAE001422

⚠注意

- 後方の確認はルームミラー，ドアミラーで行ってください。

⚠注意

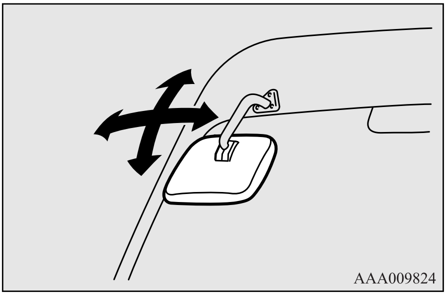
- 車の直前，後方および左斜め前方は運転席からでは十分に確認しにくい箇所です。駐車場などで前進または後退を行うときはミラーだけにたよらず，一度車から降りて周りの状況をよく確認して車を動かしてください。
- 信号待ちなどで一旦停止したときでも周りの状況に注意し，安全を十分に確認してから発進してください。

リヤアンダーミラー

タイプ別装備

J00700700039

ミラー本体を上下左右に動かして，後方の死角が十分確認できる位置に調整します。



AAA009824

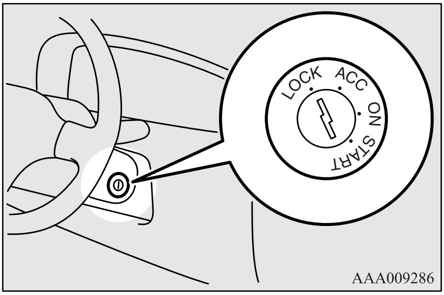
アドバイス

- 車をバックするときはミラーだけにたよらず，一度車から降りて周りの状況を確認してから車を動かしてください。

9

パワースイッチ

J00719000041



各位置の働き

J00719100039

LOCK	ハンドルがロックされる位置 キーが抜き差しできます
ACC	READY（走行可能）表示灯が消灯しているときでもオーディオ，シガレットライターなどが使用できる位置
ON	パワーユニット作動中の位置 すべての電気系統が働きます
START	パワーユニットを起動する位置 手を離すと自動的に ON の位置へ戻ります

アドバイス

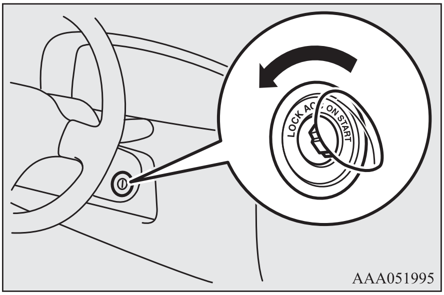
- READY（走行可能）表示灯が消灯しているときはパワースイッチを LOCK にしてください。パワースイッチを ON または ACC のままオーディオなどの電気製品を長時間使用すると，補機用バッテリーが上がり，パワーユニットの起動ができなくなるおそれがあります。
- パワースイッチが LOCK から ACC に回らないときはハンドルを軽く左右に動かしながらパワースイッチを回してください。

キーを抜くときは

J00719200043

セレクターレバーを確実にⓅに入れてから，パワースイッチを LOCK まで回してキーを抜きます。

→「セレクターレバーの動かし方」P. 9-8



AAA051995

アドバイス

- セレクターレバーを確実にⓅに入れていないと，パワースイッチを LOCK まで回せないため，キーを抜くことはできません。

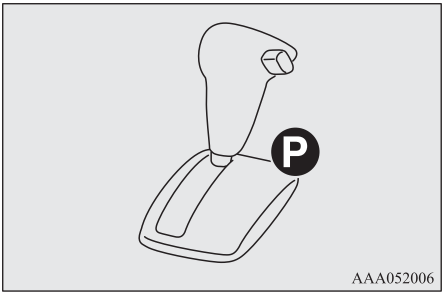
パワーユニット起動のしかた

J00719300057

⚠注意

- 窓越しなど車外からパワーユニットを起動しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- READY（走行可能）表示灯が点灯中にパワーユニット警告灯が点灯したときは，高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
→「パワーユニット警告灯」P. 8-13

1. 正しい運転姿勢をとります。
   ブレーキペダルが確実に踏め，ハンドル操作が楽にできるように，シート位置を調整します。
   →「シート調整」P. 7-4
2. 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
3. セレクターレバーがⓅにあることを確認します。



AAA052006

アドバイス

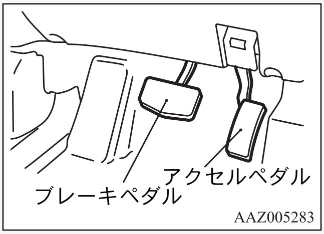
- セレクターレバーがⓅの位置以外ではパワーユニットを起動することはできません。

9

4. ブレーキペダルを右足で踏み，パワースイッチを押しながらいっぱいまで回し，START位置で1~2秒間保持した後，ONの位置までゆっくり戻します。起動音と共にREADY（走行可能）表示灯が点灯すればパワーユニットの起動は完了です。

⚠警告

- **アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。**
  アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。



アドバイス

- READY（走行可能）表示灯が点灯しない場合は，パワースイッチをいったんLOCKまで戻し，しばらくしてからSTARTに回してパワーユニットを起動してください。
- パワーユニットを起動したまま運転席ドアを開くとパワースイッチ切り忘れ警告ブザーまたはキー抜き忘れ警告ブザーが断続的に鳴ります。
  →「パワースイッチ切り忘れ警告ブザー」P. 6-6
  →「キー抜き忘れ警告ブザー」P. 6-6

9

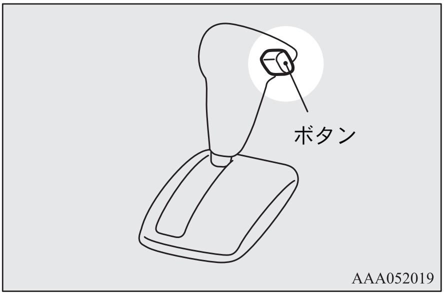
トランスミッション

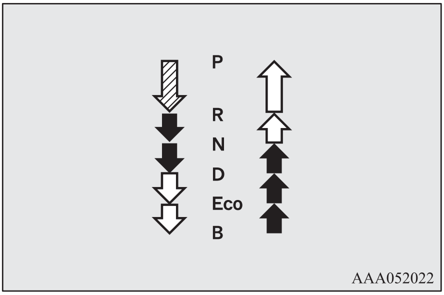
J00719400016

「安全なドライブのために：走行するときは」も合わせてお読みください。→P. 3-11

セレクターレバーの動かし方

J00719500033





(斜線矢印)	ブレーキペダルを踏んだまま，ボタンを押して操作します。
⬇	ボタンを押さずに操作します。
⇩	ボタンを押したまま操作します。

⚠警告

- **⬇の操作は必ずボタンを押さずに行ってください。いつもボタンを押したまま操作すると誤ってⓅ, Ⓡ, Ⓑに入れてしまい，思わぬ事故の原因となり重大な傷害を受けるおそれがあります。**

⚠警告

● セレクターレバーをⓃ→Ⓓまたは Ⓝ→Ⓡに操作するときは，安全のため必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。また，車両の故障の原因になります。

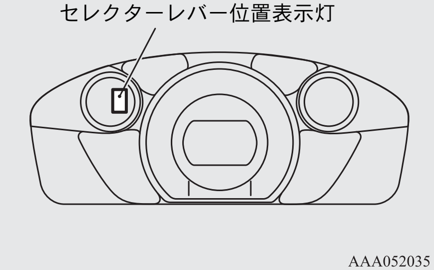
アドバイス

● レバーの操作は誤操作防止のため，各位置ごとに一旦止めて確実に行ってください。操作後は必ず表示灯でポジションを確認してください。
● ブレーキペダルを踏んでいないと，シフトロック装置が働いてⓅから他の位置に操作できません。また，パワースイッチが LOCK 位置のときはブレーキペダルを踏んでもⓅから他の位置に操作できません。
● ⇩の操作はブレーキペダルを先に踏んでから行ってください。ブレーキペダルを踏む前に操作すると，セレクターレバーが動かなくなることがあります。
● ⒹからⓇ，ⓇからⒹおよびⓅに入れるときはブレーキペダルをしっかりと踏み，完全に車を止めてから入れてください。車が動いているうちにⓅやⓇに入れると車両の故障の原因になります。

セレクターレバー位置表示灯

J00719600021

セレクターレバーの位置をメーター内に表示します。

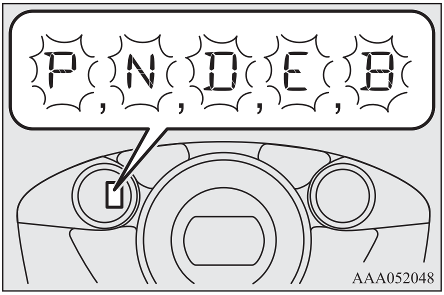


AAA052035

セレクターレバー位置表示灯が点滅したときは

J00719700048

セレクターレバー位置表示灯が点滅したときは，トランスミッションに何らかの異常が発生し，安全装置が働いていると考えられます。ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。



AAA052048

アドバイス

● セレクターレバー位置がⓇのとき，セレクターレバー位置表示灯は点滅しません。

9

セレクターレバーの位置・働き

J00719800036

P	(パーキング) 駐車およびパワーユニットを起動するとき	車輪が固定されます。駐車のときは必ず駐車ブレーキをかけてⓅに入れてください。ⓅでのみパワースイッチをLOCKまで回すことができます。
R	(リバース) 後退させるとき	Ⓡに入れるとブザーが鳴り，Ⓡにあることを運転者に知らせます。

⚠注意

- ブザーは車外の人には聞こえませんのでご注意ください。

N	(ニュートラル) 中立	動力が発生しません。 また，車輪も固定されません。
D	(ドライブ) 通常走行	通常走行するときに使います。
Eco	(エコ) 経済的な走行およびゆるやかな下り坂走行	電力の消費を抑えた走行をしたいときおよび軽い回生ブレーキが必要なときに使います。
B	(回生ブレーキ) 急な下り坂走行	回生ブレーキが必要なときに使います。 →「回生ブレーキ」P. 3-15

⚠警告

- **ぬれた道路や凍結した道路では急激な回生ブレーキは避けてください。スリップして重大な事故につながるおそれがあります。**

アドバイス

- 駆動用バッテリーの充電量が満充電に近いときまたは駆動用バッテリーの温度が低いときは回生ブレーキの効きが弱くなることがあります。このようなときはスピードを控えて走行してください。

運転のしかた

J00719900011

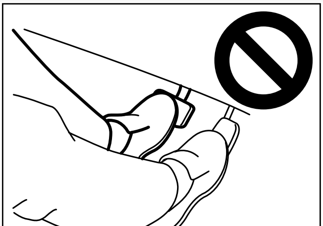
発進

J00720000025

1. READY（走行可能）表示灯が点灯していることを確認します。
2. ブレーキペダルを右足で踏みます。

⚠警告

- ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。
  左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。



AAZ002224

⚠注意

- セレクターレバーをⓅ，Ⓝ以外の位置（前進または後退の位置）に入れるとクリープ現象により，ブレーキペダルから足を離すとアクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。

クリープ現象とは…

- セレクターレバーをⓅ，Ⓝ以外に入れると，アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出す現象。

3. セレクターレバーを前進はⒹまたは Eco ，後退はⓇに入れます。

⚠警告

- セレクターレバーの操作は必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。また，車両の故障の原因になります。

4. セレクターレバーの位置を確認します。



AAA006403

5. 周囲の安全を確認し，駐車ブレーキを解除します。
6. ブレーキペダルを徐々にゆるめ，アクセルペダルをゆっくりと踏み込んで発進します。

◆ 急な上り坂での発進

1. 車が動き出さないよう駐車ブレーキをかけたまま，ブレーキペダルから足を離します。
2. アクセルペダルをゆっくり踏みながら，車が動き出す感触を確認し，駐車ブレーキを解除して発進します。

走 行

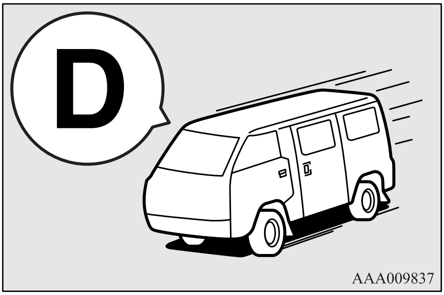
J00720100055

⚠警告

- 走行中はセレクターレバーをⓃに入れないでください。誤ってⓅ，Ⓡに入れてしまったり，回生ブレーキが効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。また，車両の故障の原因になります。

◆ 通常走行

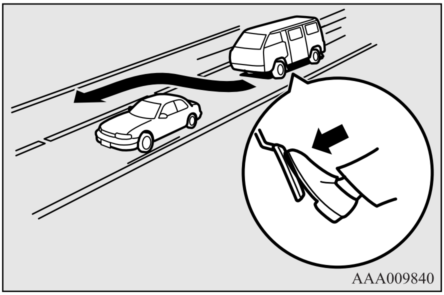
セレクターレバーをⒹまたはEcoで走行します。
アクセルペダルとブレーキペダルの操作だけで加速，減速を行います。



9

◆ 急加速したいとき

アクセルペダルを深く踏み込みます。



◆ 上り坂走行

アクセルペダルをゆっくり踏み込み，スピードを調節します。

◆ 下り坂走行

長い下り坂や急な下り坂など回生ブレーキを必要とする場合は，坂道の程度やスピードに応じてセレクターレバーをEcoまたはⒷに入れます。

長い下り坂でフットブレーキのみを多く使用すると，ベーパロックやフェード現象を起こし，ブレーキの効きが悪くなることがあり危険です。必ず回生ブレーキを併用してください。

→「回生ブレーキ」P. 3-15
→「ベーパロック」P. 3-15
→「フェード現象」P. 3-15

アドバイス

- 駆動用バッテリーの充電量が満充電に近いときまたは駆動用バッテリーの温度が低いときは回生ブレーキの効きが弱くなることがあります。このようなときはスピードを控えて走行してください。

停車

J00720200027

1. セレクターレバーはⒹまたはEcoのままブレーキペダルをしっかりと踏みます。
2. 必要に応じて駐車ブレーキをかけます。

⚠注意

- 坂道ではクリープ現象が働いても，車が後退することがあります。停止時はブレーキペダルを踏み，しっかりと駐車ブレーキをかけてください。
- 上り坂でブレーキペダルを踏まずに，アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つことはしないでください。車両の故障の原因になります。

3. 渋滞などで停車時間が長くなりそうなときはセレクターレバーをⓃに入れます。
4. 再発進するときは，セレクターレバーがⒹまたはEco位置にあることを確認してから駐車ブレーキを解除して発進してください。

駐車

J00720300028

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけます。
3. セレクターレバーをⓅに入れます。

⚠注意

- Ⓟでは車輪が固定されるため，車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には必ずセレクターレバーがⓅに入っていることを確認してください。
- 車が完全に止まらないうちにⓅに入れると，急停止してけがをするおそれがあります。また，車両の故障の原因になります。

アドバイス

- 坂道では，駐車ブレーキをかける前にセレクターレバーをⓅに入れると，発進時のセレクターレバー操作が重くなることがあります。

4. パワースイッチをLOCKにします。

⚠注意

- 車から離れるときは必ずパワースイッチをLOCKまで回し，READY（走行可能）表示灯が消灯したことを確認してください。
READY（走行可能）表示灯が点灯したままにしておくと，万一，セレクターレバーがⓅ以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。

9

車両接近通報装置

J00722500037

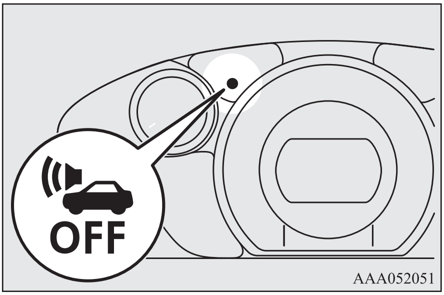
車両接近通報装置は，車速が約25km/h以下のとき，通報音で歩行者などに車両の接近などを知らせる装置です。
車両接近通報装置がONのとき，つぎの場合に前進時，後退時ともに通報音が鳴ります。

- 車速が約3km/h以下で，ブレーキペダルを踏んでいないとき
- 車速が約3~約25km/hのとき

つぎの場合は通報音は鳴りません。

- 車速が約3km/h以下で，ブレーキペダルを踏んだとき
- 車速が約25km/ｈ以上のとき
- セレクターレバーをⓅに入れたとき
- メーター内の車両接近通報装置　OFF表示灯が点灯しているとき

パワースイッチをONにすると，メーター内の車両接近通報装置OFF表示灯が点灯し，数秒後に消灯します。



⚠警告

- 車両接近通報装置が鳴っていても，歩行者には特に注意してください。歩行者は車両の接近や発進に気付かずに，事故が発生して重大な傷害または死亡につながるおそれがあります。

⚠注意

- 走行する前に，必ず表示灯が消えていることを確認してください。
  表示灯が点滅しているときは，パワースイッチを LOCK にし，再度パワースイッチをONにします。表示灯が消灯すれば異常ありません。再度表示灯が点滅するときは，装置の故障が考えられますので，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

9

車両接近通報装置の ON/OFF 作動切り換え

J00722600038

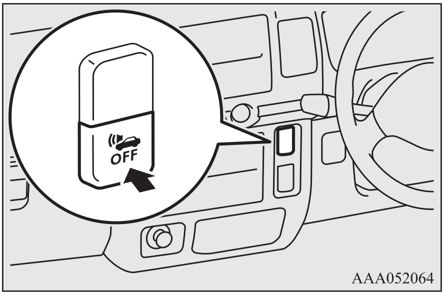
パワースイッチを ON にすると，自動的に車両接近通報装置はONになります。

通常走行時は車両接近通報装置が ON で走行してください。

自動車専用道路などを走行する際，車両接近通報装置OFFスイッチでOFFにすることもできます。

車両接近通報装置 OFF スイッチを押すと，通報音が鳴らない状態になり，メーター内の車両接近通報装置表示灯が点灯します。

もう一度押すと車両接近通報装置は ON になります。



⚠警告

- 歩行者がいる可能性があるときは，絶対に車両接近通報装置を OFF にしないでください。

アドバイス

- 車両接近通報装置を OFF にしているときに，パワースイッチを ACC または LOCK にして, 再度パワースイッチを ON にすると車両接近通報装置が ON になります。
- 車両接近通報装置を OFF にした後も OFF スイッチを押し続けると，誤操作防止機能が働いて車両接近通報装置は ON に戻ります。

アンチロックブレーキシステム(ABS)

J00703000756

アンチロックブレーキシステム (ABS) とは，急ブレーキや滑りやすい道路でブレーキを踏んだときに車輪のロックを防止し，制動力を維持し，かつ安定した車体姿勢とハンドル操舵性を保つ装置です。

⚠注意

- ABS は制動時の車体安定性を確保するためのもので必ずしも制動距離が短くなるとはかぎりません。ABS を過信せず，十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。
- 雪道を走行した後は足回りに付いた雪や泥を取り除いてください。足回りを清掃するときはホイール付近に付いている車速感知装置や配線などを傷付けないよう十分注意してください。
- 指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差の少ないタイヤを使用してください。指定サイズ，種類や銘柄が異なったり，磨耗度合いがいちじるしく異なるタイヤを使用すると，ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。

9

アドバイス

- つぎのような場合は，ABS の付いていない車に比べて制動距離が長くなることがありますので，速度はひかえめにし，車間距離を十分とって運転してください。
  - 砂利道や深い新雪路を走行するとき
  - タイヤチェーンを装着しているとき
  - 道路の継ぎ目や段差を乗り越えるとき
  - 凸凹道などの悪路を走行するとき
- マンホール，工事用の鉄板，白線の上，段差を乗り越えるときなど，車輪が滑りやすい状況では，車輪のロックを防止するため急制動以外でも ABS が作動することがあります。
- ABS が作動すると車体, ハンドル, ブレーキペダルに振動を感じたり，作動音が聞こえます。
  また，ブレーキペダルを踏み込んだときに固く感じることがあります。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- 走行開始後，シートの下より作動音がしたり，ブレーキペダルにショックを感じることがありますが，これは ABS 装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
- ABS は, 発進後車速が約 10km/h になるまで作動しません。また，車速が約 5km/h まで下がると作動を停止します。

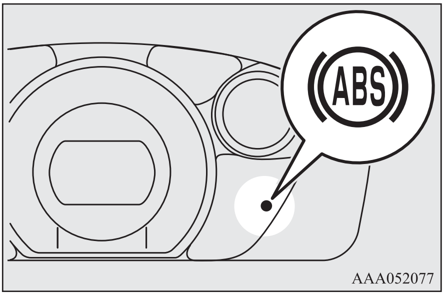
ABS警告灯

J00704500921

正常なときは, パワースイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。

⚠注意

- パワースイッチを ON にしても点灯しない，または点灯したままのときは装置の故障が考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。



走行中に警告灯が点灯したときは

J00704600629

◆ ABS 警告灯のみ点灯したときは

急ブレーキや高速走行を避け安全な場所に車を止めます。

セレクターレバーをⓅに入れてパワースイッチを LOCK にした後 START まで回し，パワーユニットを起動します。その後しばらく走行して点灯しなければ異常ありません。
しばらく走行しても点灯したままのときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。この場合，ABS は作動せず，普通のブレーキとして作動します。

◆ ABS 警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したときは

- ブレーキ力の配分機能が作動しないことがあるため，急ブレーキをかけたときに車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
  急ブレーキや高速走行を避け，車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へ連絡してください。
- 補機用バッテリーが電圧不足のときにパワーユニットを起動すると，警告灯が点灯することがありますが ABS の故障ではありません。
  駆動用バッテリーを充電すると補機用バッテリーも同時に充電され，警告灯は消灯します。
  充電しても点灯したままのときや，たびたび点灯するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

電動パワーステアリング

J00703100252

READY（走行可能）表示灯が点灯しているときにパワーアシストが作動し，ハンドルの操作力を軽くする装置です。
もしパワーアシストが作動しなくなったときは，ハンドルが重くなります。
この場合は三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠警告

- **走行中は パワースイッチを ACC にしないでください。パワースイッチを ACC にすると，ハンドルが非常に重くなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。**

アドバイス

- 駐車するときなどに，ハンドルをいっぱいに回す操作を繰り返すと，システムの過熱を防止するため保護機能が働きハンドル操作が徐々に重くなります。この場合，しばらくハンドル操作を控えてください。
  システムの温度が下がるとハンドルの操作力は元に戻ります。
- ヘッドライトを点灯したままで停車しているとき，ハンドル操作をするとヘッドライトが暗くなることがありますが異常ではありません。しばらくすれば元の明るさに戻ります。

9

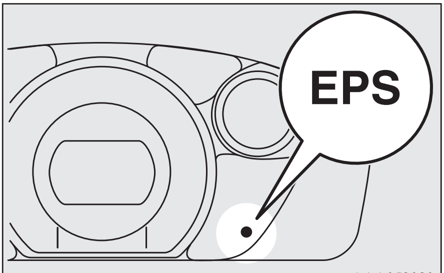
電動パワーステアリング警告灯

J00704700356

システムに異常があると点灯します。
正常なときはパワースイッチを ON にすると点灯し，パワーユニットが起動すると消灯します。

⚠注意

- パワーユニット起動中に警告灯が点灯したときは，ハンドルが重くなることがありますので，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。



AAA052080

トラクションコントロール(TCL)

J00710300230

トラクションコントロール(TCL)は, 滑りやすい路面での駆動輪の空転を防止して発進しやすくする装置です。また，旋回加速時には適切な駆動力・操舵能力を向上させ，急激な回生ブレーキをかけたときには車輪のロックを防止します。

⚠注意

- TCL が作動した状態でも車両の安定確保には限界があり，無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。TCL を過信せず，常に道路状況に合った安全運転を心がけてください。
- 指定サイズ，同一種類，同一銘柄および磨耗差の少ないタイヤを使用してください。指定サイズ，種類や銘柄が異なったり，磨耗度合いがいちじるしく異なるタイヤを使用すると，TCL が正常に働かなくなるおそれがあります。
- 雪道や凍結路を走行するときは，冬用タイヤを装着して速度は控えめにし，車間距離を十分とって運転してください。
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル (LSD) を装着しないでください。TCL が正常に作動しなくなるおそれがあります。

TCLのON/OFF作動切り換え

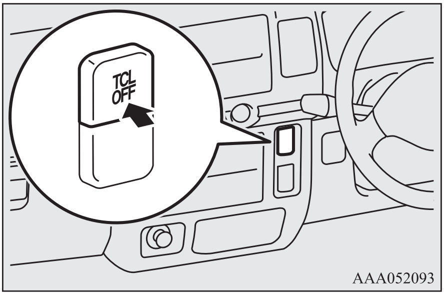
J00710800509

アドバイス

● ぬかるみ，砂地または新雪などからの脱出時に，アクセルペダルを踏み込んでもTCL の働きによりモーターの回転が上がらないことがあります。このようなときは，TCL OFFスイッチでTCLを一時的にOFFにします。
→「タイヤがスリップして発進できない」P. 15-7

パワーユニットを起動すると自動的にTCLはONになります。TCLをOFFにしたいときはTCL OFFスイッチを押し続けます。

スイッチを押し続けると，TCL OFF 表示灯が点灯します。もう一度押すと ON になります。



AAA052093

⚠注意

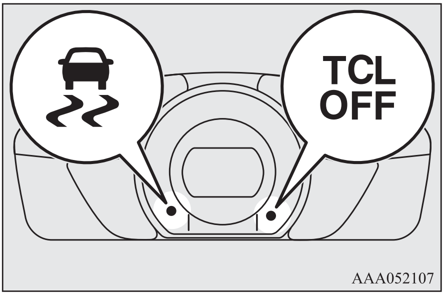
● 安全のため，TCL OFFスイッチの操作は停車しているときに行ってください。
● 通常走行時は必ず TCL を ON にしてください。

アドバイス

● TCL OFFスイッチを押してTCLをOFFにしていても，急激な回生ブレーキをかけたときは，車輪のロックを防止するためTCLが作動します。
● TCLをOFFにした後もTCL OFFスイッチを押し続けると，誤操作防止機能が働いてTCLはONに戻ります。

TCL作動表示／TCL OFF表示

J00711600230



- TCL作動表示灯
  TCLが作動すると点滅します。

TCL OFF - TCL OFF表示灯
TCL OFFスイッチでTCLをOFFにしているとき点灯します。

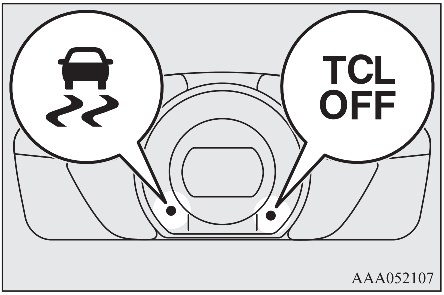
⚠注意

- 表示灯が点灯したときは，つぎの状況が考えられます。
  スピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転を心がけてください。
  •路面が滑りやすくなっている。
  •加速しすぎている。

TCL警告表示

J00715700226

システムに異常があると表示灯とTCL OFF表示灯が同時に点灯します。



このような場合は，つぎの方法で処置してください。

1. 安全な場所に車を止め，セレクターレバーをⓅに入れます。
2. パワースイッチをLOCKにします。
3. 再度パワーユニットを起動し，表示灯およびTCL OFF表示灯が消灯するか確認します。

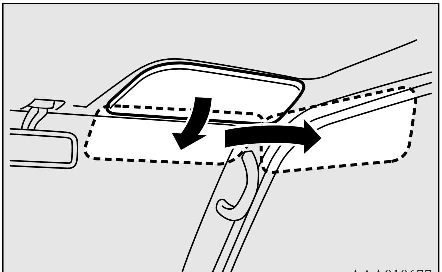
表示灯が消灯すれば異常ありません。消灯しないときや，たびたび点灯するときは，通常走行には支障はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

室内装備

サンバイザー

J00900100383

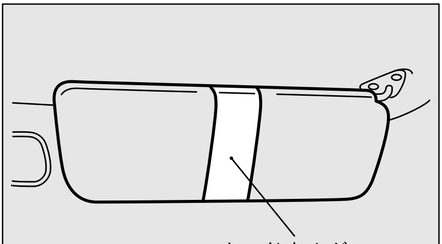
前面だけでなく，側面にも回せます。



AAA010677

カードホルダー

運転席サンバイザーの裏側にあり，通行券などをはさむことができます。



AAA010680

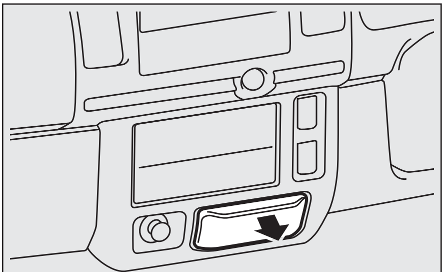
灰皿

J00900300659

⚠注意

- タバコ・マッチの火は確実に消してから灰皿に入れ，使用後は必ず閉めてください。開けたままにしておくと他の吸いがらに火が燃え移るおそれがあります。
- 灰皿には吸いがらをためすぎたり，紙くずなど燃えやすいものを入れないでください。
火災の原因となります。

使用するときはフタを開けます。



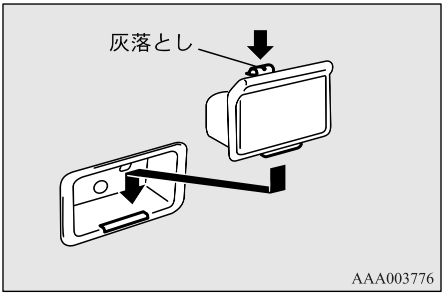
AAA050464

掃除するときは，灰落としを押したまま手前に外します。



AAA050477

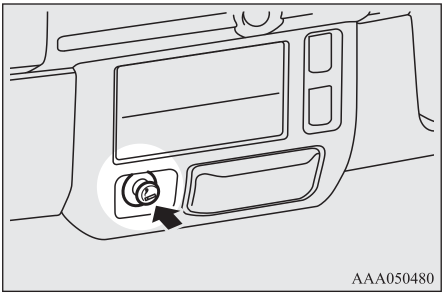
取り付けるときは，灰皿下部を溝に差し込んでから灰落としを押したまま押し込みます。



シガレットライター

J00900400807

パワースイッチがONまたはACCのときにシガレットライターを押し込んで手を離します。
しばらくすると音がして戻ります。



⚠注意

- お子さまにシガレットライターを扱わせないでください。
- シガレットライターが過熱し，火災を招くことがありますのでつぎのことをお守りください。
  - 押さえつけたままにしないでください。
  - シガレットライターを改造したりしないでください。
  - 他車のシガレットライターを使用しないでください。
- 市販の電気製品を使用しないでください。ソケットが損傷する原因となります。
  ソケットが損傷した場合に使用すると，シガレットライターが飛び出したり，押し込まれたまま戻らなくなるおそれがあります。
- シガレットライターを扱うときは，熱している部分や，その近くはさわらずにノブのみをさわってください。
- シガレットライターを押し込んでから30秒以上たっても戻らないときは故障のおそれがありますので手で引き抜き，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

10

アドバイス

- シガレットライターをソケットから外したまま放置しないでください。
  ソケットにゴミや金属片などの異物が入ると火災やショートの原因となるおそれがあります。
- ソケットを使用するときは，必ず 12V で電気容量が 120W 以下の電気製品を使用してください。
  また，READY（走行可能）表示灯が消灯しているときに長い間使用すると補機用バッテリーが上がることがあります。

室内灯

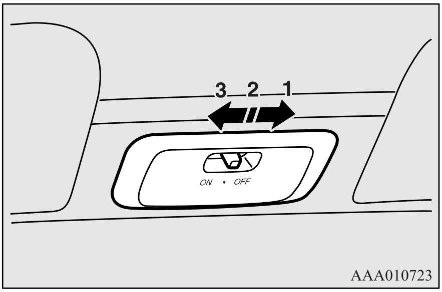
J00900800641

アドバイス

- READY（走行可能）表示灯が消灯しているときに長い間ランプを点灯させておくと補機用バッテリーが上がることがあります。
  車から離れるときは必ずランプが消えていることを確認してください。

ルームランプ

J00900901580



1. （OFF）
   ドアまたはテールゲート（バン）の開閉に関係なく消灯します。
2. （●）
   - いずれかのドアまたはテールゲート（バン）を開けると点灯，閉じると約15秒後に消灯します（遅延消灯）。ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。
     - ドアおよびテールゲート（バン）を閉じてパワースイッチをONにしたとき
     - ドアおよびテールゲート（バン）を閉じてセンタードアロックの機能を使って施錠したとき
     - キーレスエントリーのリモコンスイッチを使って施錠したとき

10

● パワースイッチが LOCK または ACC の位置にあるときにドアまたはテールゲート（バン）を開け点灯したままにすると，約 30 分後に自動的に消灯します。
つぎのようなときは，再び点灯します。
- パワースイッチを ON の位置にしたとき。
- キーレスエントリーの操作をしたとき。
- すべてのドアおよびテールゲート（バン）を閉じた後，いずれかのドアまたはテールゲート（バン）を開けたとき。

アドバイス

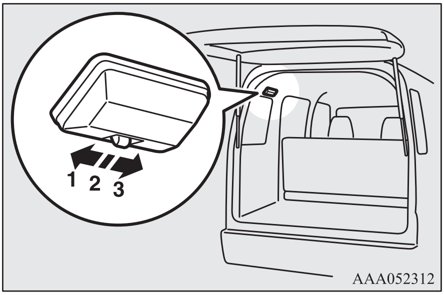
● ドアおよびテールゲート（バン）が閉まっているときにパワースイッチを LOCK にしてキーを抜くと点灯し，約 15 秒後に消灯します。
● 遅延消灯までの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
● 自動的に消灯する機能は，ルームランプのスイッチが ON の位置にあるときは働きません。
また，自動的に消灯する機能を働かなくすることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

3. （ON）
ドアまたはテールゲート（バン）の開閉に関係なく点灯します。

ラゲッジルームランプ

J00901500586

バン



1. （OFF）
ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく消灯します。
2. （●）
● いずれかのドアまたはテールゲートを開けると点灯，閉じると約 15 秒後に消灯します（遅延消灯）。ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。
- ドアおよびテールゲートを閉じてパワースイッチを ON にしたとき
- ドアおよびテールゲートを閉じてセンタードアロックの機能を使って施錠したとき
- キーレスエントリーのリモコンスイッチを使って施錠したとき

● パワースイッチが LOCK または ACC の位置にあるときにドアまたはテールゲートを開け点灯したままにすると，約 30 分後に自動的に消灯します。
つぎのようなときは，再び点灯します。
- パワースイッチを ON の位置にしたとき。
- キーレスエントリーの操作をしたとき。
- すべてのドアおよびテールゲートを閉じた後，いずれかのドアまたはテールゲートを開けたとき。

アドバイス

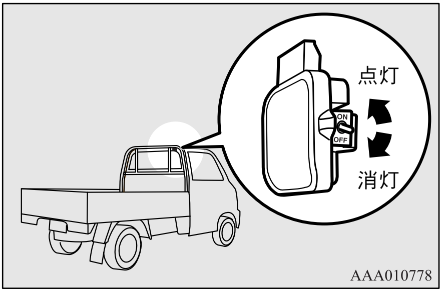
- ドアおよびテールゲートが閉まっているときにパワースイッチを LOCK にしてキーを抜くと点灯し，約15秒後に消灯します。
- 遅延消灯までの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 自動的に消灯する機能は，ラゲッジルームランプのスイッチが ON の位置にあるときは働きません。
  また，自動的に消灯する機能を働かなくすることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

3. （ON）
   ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく点灯します。

荷台作業灯

タイプ別装備　J00902100042

夜間など荷台での作業時にご使用ください。パワースイッチが ON または ACC で駐車ブレーキをかけた状態のときに使用できます。



⚠注意

- 作業時以外はスイッチを点灯の位置にしないでください。
  停車時などに駐車ブレーキをかけると，荷台作業灯が点灯し，後続車の迷惑になるおそれがあります。

アドバイス

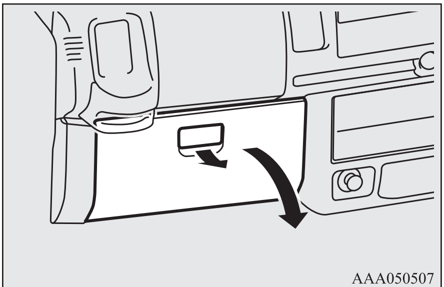
- 駐車ブレーキをかけていないと荷台作業灯は，点灯しません。
- READY（走行可能）表示灯が消灯しているときに長い間荷台作業灯を点灯したままにしておくと補機用バッテリーが上がることがあります。
  車から離れるときは必ずランプが消えていることを確認してください。

10

グローブボックス

J00902200216

レバーを引くと開きます。



AAA050507

⚠注意

- 走行中はグローブボックスのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合,フタや内部の小物でけがをするおそれがあります。

アドバイス

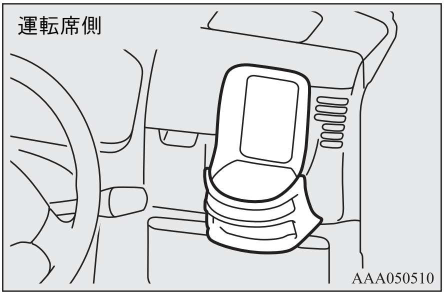
- 車を離れるときはグローブボックス内に貴重品を入れたままにしないでください。

カップホルダー

J00903800815

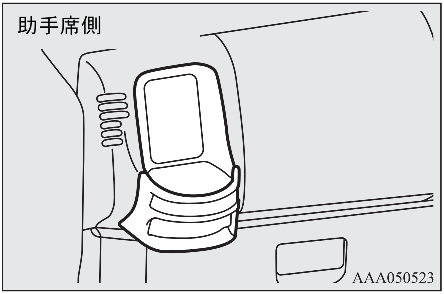
左右の吹き出し口の前にカップホルダーがあります。

運転席側



AAA050510

助手席側



AAA050523

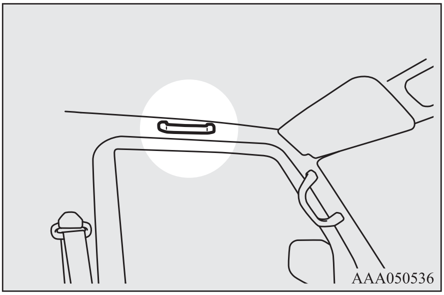
⚠注意

- 走行中の振動や揺れなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物の場合,やけどをするおそれがありますので注意してください。
- カップホルダーに手をかけて乗り降りしないでください。
  カップホルダーが外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

アシストグリップ

J00912900388

座ったときに手で身体を支えるためのグリップがあります。



⚠注意

- アシストグリップに手をかけて乗り降りしないでください。
  アシストグリップが外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロアマット

タイプ別装備

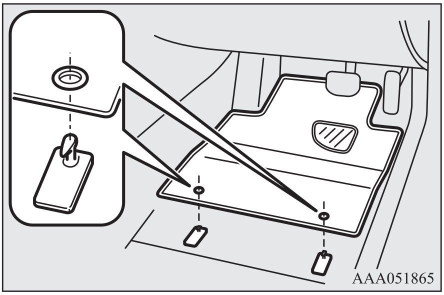
J00922800058

お客様のお車には，専用のフロアマットが設定されています。
フロアカーペットに装着されている固定クリップを使用し，つぎの手順で確実に固定してください。

固定のしかた

J00922900150

1. フロアマットを床の形状に合わせて敷きます。
2. フロアマットの取り付け穴に固定クリップを通し，確実に固定します。

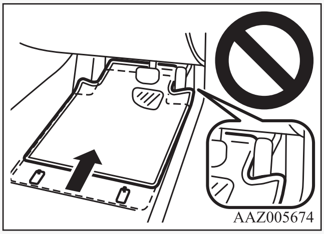


アドバイス

- 車種により，フロアマットの形状や固定クリップの数が異なる場合があります。
  詳しい固定方法はフロアマットの取扱説明書をお読みください。

⚠警告

- 運転席にフロアマットを敷くときは，つぎのことを必ずお守りください。お守りいただかないと，フロアマットがずれて各ペダルと干渉し，思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど重大な事故につながるおそれがあります。
  - 固定クリップを使用し確実に固定する
  - フロアマットを前後逆さまにしたり，裏返して使用しない
  - フロアマットでペダルをおおわない
  - フロアマットの上または下に，別のフロアマットを重ねて敷かない
  - アクセルペダルの下に敷かない
  - 三菱自動車純正フロアマットであっても，他車種または年式の異なるフロアマットを使用しない



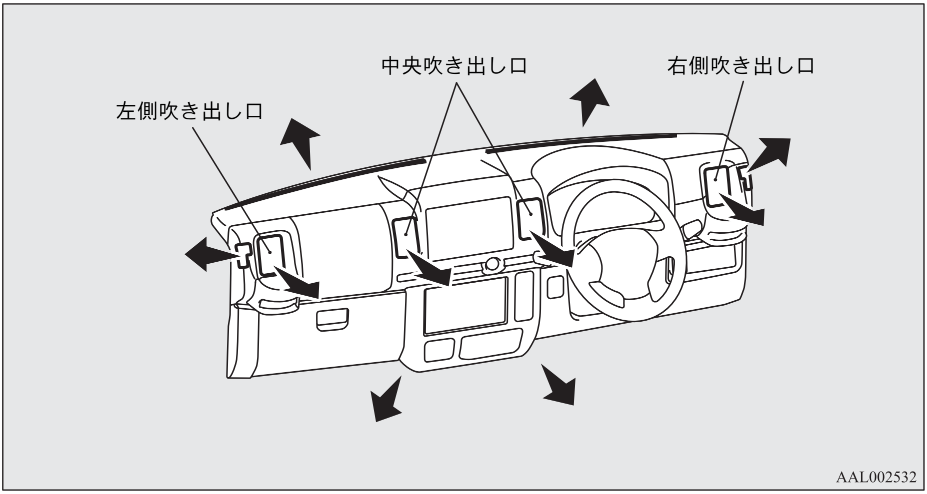
- 運転する前につぎのことを確認してください。
  - フロアマットがすべての固定クリップで正しく固定されていることを定期的に確認し，車内の清掃などでフロアマットを取り外した後は必ず確認する
  - パワーユニット停止時およびセレクターレバーがⓅのときに，各ペダルをいっぱいに踏み込み，フロアマットと干渉がなく運転に支障がないことを確認する

MEMO

エアコン

吹き出し口

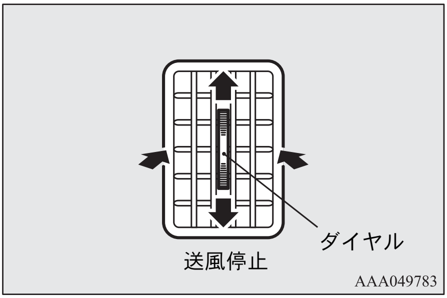
J01000100626



風向き調整

J01000300699

ダイヤルを動かして上下の風向きを調整します。
左右の風向きは吹き出し口の左側，または右側を押して調整します。
また，ダイヤルを下側いっぱいに動かすと送風を停止します。



アドバイス

- 冷房時まれに吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが，これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので異常ではありません。
- 冷房，除湿効果が悪いときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

吹き出し口の切り換え

J01000400847

吹き出し口切り換えダイヤルを操作し，使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。

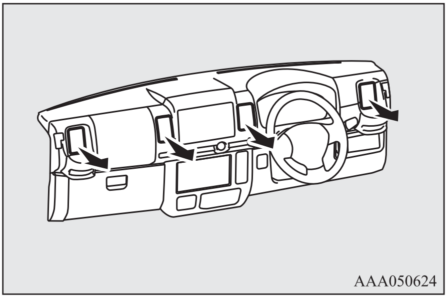
→「吹き出し口切り換えダイヤル」P. 11-5

→:風量弱

➔:風量中

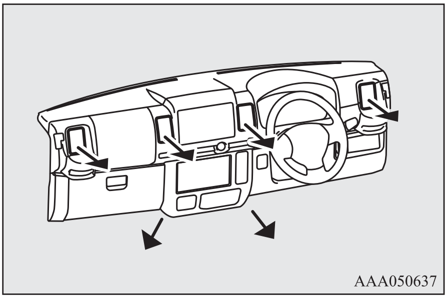
➜:風量強

上半身に送風したいとき



AAA050624

上半身と足元に送風したいとき

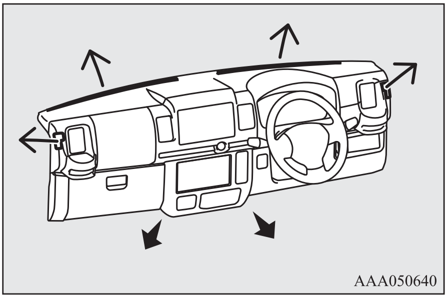


AAA050637

アドバイス

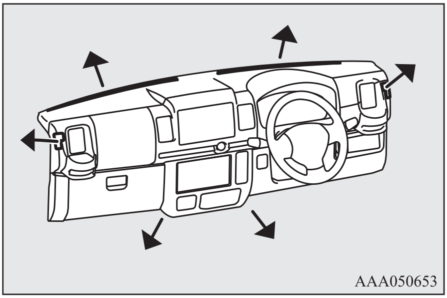
- 吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にすると上半身へ多く， と の間にすると足元へ多く送風されます。
- 夏期，足元付近に暑さを感じる場合は吹き出し口切り換えダイヤルを の位置にセットし送風すると効果的です。

足元に送風したいとき



AAA050640

足元とウインドウガラスに送風したいとき

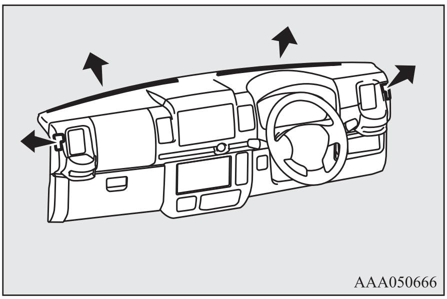


AAA050653

アドバイス

- 吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にすると足元へ多く， と の間にするとウインドウガラスへ多く送風されます。

ウインドウガラスに送風したいとき



AAA050666

11

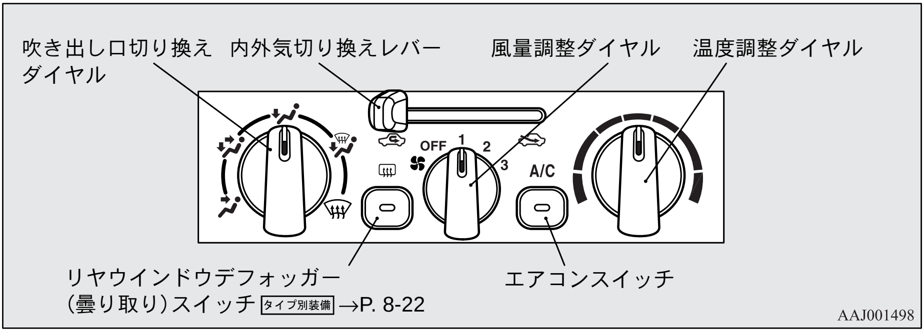
マニュアルエアコン

J01000500431

READY（走行可能）表示灯が点灯しているときに使用できます。

アドバイス

● 駆動用バッテリー残量計の目盛が0のとき，またはパワーダウン警告灯が点灯しているときは，ダイヤルまたはスイッチを操作しても冷房／暖房効果を得られないことがあります。また，曇り取り効果も低下することがあります。
→「駆動用バッテリー残量計」P. 8-9
→「パワーダウン警告灯」P. 8-13



- ● スイッチの使い方 P. 11-5
- ● 目的に合った使い方
  - 暖房したいときはP. 11-7
  - 冷房したいときはP. 11-7
  - ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときはP. 11-8
  - 曇り止めと暖房を同時にしたいときは P. 11-8
  - 換気したいときは（冷暖房を使用しない場合）P. 11-9
  - 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときはP. 11-9

11

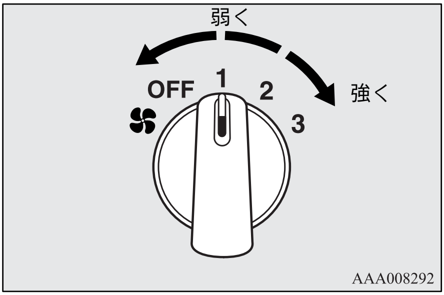
スイッチの使い方

J01000600012

◆ 風量調整ダイヤル

J01000700185

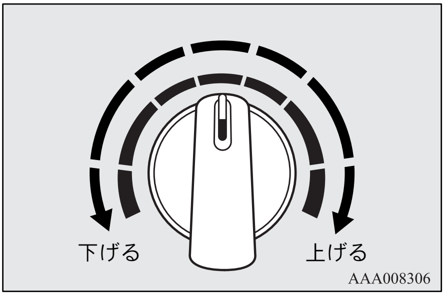
風量を強くするときは右へ，弱くするときは左へ回します。



◆ 温度調整ダイヤル

J01000900318

送風温度を調整します。
温度を上げるときは右へ，下げるときは左へ回します。



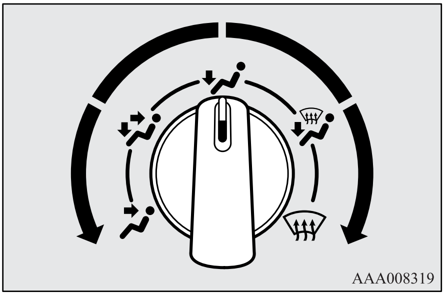
アドバイス

- エアコンが作動していない状態で，ダイヤルを冷房側（青色の範囲）へ動かしても送風温度は変わりません。

◆ 吹き出し口切り換えダイヤル

J01001100261

使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。
→「吹き出し口の切り換え」P. 11-3



⚠注意

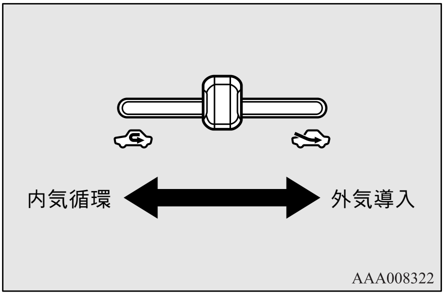
- との間で使用するときは，窓の曇りを防止するため内外気切り換えレバーを外気導入にしてください。
→「内外気切り換えレバー」P. 11-6

11

◆ 内外気切り換えレバー

J01001400046

外気導入（外気を車内に入れる）と内気循環（外気をしゃ断する）の切り換えができます。



- 通常走行時
- 早く冷房したいときや外気が汚れているとき

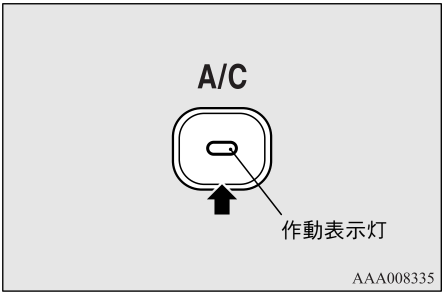
⚠ 注意

- 窓の曇りを防止するため通常は外気導入で使用してください。
- 早く冷房したいとき内気循環にします。ただし，長時間内気循環にしておくとウインドウガラスが曇りやすくなるため，ときどき外気導入に切り換えて換気してください。

◆ エアコンスイッチ

J01001500278

スイッチを押すとエアコン（冷房・除湿機能）が作動し，スイッチ内の作動表示灯が点灯します。もう一度押すとエアコンは停止します。



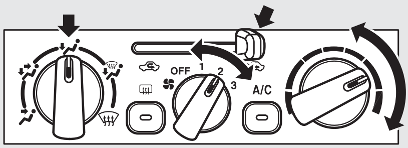
目的に合った使い方

J01001700010

◆ 暖房したいときは

J01001800356

1. 吹き出し口切り換えダイヤルをにします。
2. 温度調整ダイヤルを暖房側（赤色の範囲）に設定し，お好みの温度になるよう調整します。
3. 内外気切り換えレバーを外気導入にします。
4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。



AAA053247

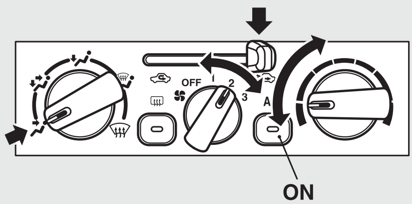
アドバイス

- 吹き出し口切り換えダイヤルがのとき，ウインドウガラスにも少し送風されますが，これはウインドウガラスの曇りを防止するためのものです。

◆ 冷房したいときは

J01001900302

1. 吹き出し口切り換えダイヤルをにします。
2. 温度調整ダイヤルを冷房側（青色の範囲）に設定し，お好みの温度になるよう調整します。
3. 内外気切り換えレバーを外気導入にします。
4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。
5. エアコンスイッチを押してエアコンを作動させます。



AAA053250

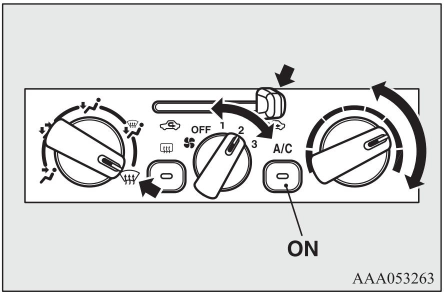
⚠注意

- 早く冷房したいとき内気循環にします。ただし，長時間内気循環にしておくとウインドウガラスが曇りやすくなるため，ときどき外気導入に切り換えて換気してください。

◆ ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは

J01002100398

1. 吹き出し口切り換えダイヤルを（曇り取り）にします。
2. 温度調整ダイヤルを暖房側（赤色の範囲）に設定し，お好みの温度になるよう調整します。
3. 内外気切り換えレバーを外気導入にします。
4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。
5. エアコンスイッチを押してエアコンを作動させます。



AAA053263

早く曇り，霜を取りたいときは風量調整ダイヤルで風量を最大にし，温度調整ダイヤルで温度を最高に設定して，エアコンを使用してください。

⚠注意

- との間で使用するときは，窓の曇りを防止するため内外気切り換えレバーを外気導入にしてください。
- 安全のため，ウインドウガラスの曇りや霜は早めに取り除いて視界確保に努めてください。

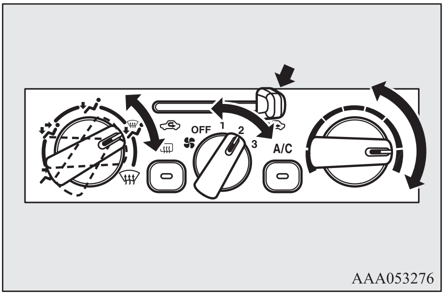
アドバイス

- 位置でエアコンを使用しているときは設定温度を最低温度付近にしないでください。ウインドウガラスの外側に露が付くことがあります。

◆ 曇り止めと暖房を同時にしたいときは

J01002200331

1. 吹き出し口切り換えダイヤルをにします。
2. 温度調整ダイヤルを暖房側（赤色の範囲）に設定し，お好みの温度になるよう調整します。
3. 内外気切り換えレバーを外気導入にします。
4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。



AAA053276

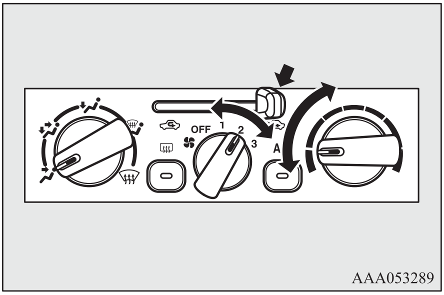
アドバイス

- 曇り止めを優先するときは，吹き出し口切り換えダイヤルをとの間に，暖房を優先するときは，との間にしてください。
- エアコンを使用すると除湿効果があります。

◆ 換気したいときは（冷暖房を使用しない場合）

J01002300316

1. 温度調整ダイヤルを冷房側（青色の範囲）に設定します。
2. 内外気切り換えレバーを外気導入にします。
3. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。



AAA053289

アドバイス

- 冷暖房を使用しないと，エアコンによる駆動用バッテリーの電力消費が抑えられ，航続可能距離の低下が小さくなります。

◆ 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときは

J01009600060

トンネルや渋滞など外気が汚れているときは内外気切り換えレバーを内気循環にします。

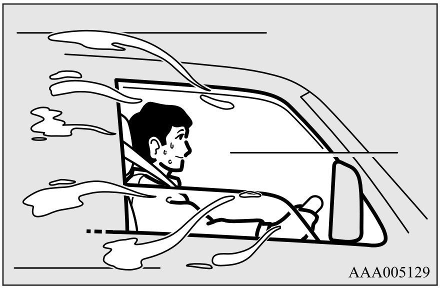
→「内外気切り換えレバー」P. 11-6

エアコンの上手な使い方

J01009400723

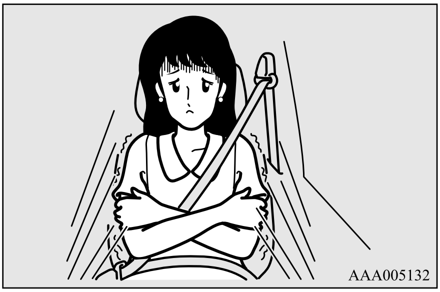
長時間炎天下に駐車したときは

車室内の温度は大変高くなります。
このようなときはドアガラスを開けて車室内の熱気を車外に追い出してください。


AAA005129

冷やしすぎに注意

長時間冷風を直接身体に当てないでください。冷やしすぎは身体によくありませんので，少し涼しいと感じる温度に調整してください。


AAA005132

定期点検を忘れずに

暑い季節になる前に冷媒ガス量の点検を行ってください。冷媒ガスが不足すると冷房効果が悪くなります。

⚠注意

- エアコンの冷媒ガスを充填する場合は，グローブボックス下の右側面に貼付のエアコン冷媒ラベルに記載されている冷媒量をお守りください。規定量を超えて充填したり，冷媒量が少ないまま使用を続けた場合，エアコンコンプレッサが故障するおそれがあります。

アドバイス

- エアコンの効きが悪い場合は冷媒ガスが不足またはないことが考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

航続可能距離を延ばすために

J01013100037

エアコンは駆動用バッテリーの電力を消費するため，過度に使用すると航続可能距離がいちじるしく短くなります。
冷やしすぎや暖めすぎにならないように，風量をこまめに絞り，さらに設定温度を控えめに調整してください。

クリーンエアフィルター

J01009500610

ほこりなどを取り除くため，内気循環のときに効果のあるフィルターを装着しています。フィルターにほこりなどが付着すると効果が低下しますので，フィルターは定期的に清掃することをおすすめします。
→「エアフィルターの清掃」P. 13-5

アドバイス

- 吹き出し風量が極端に減少したりガラスが曇りやすくなったときは清掃時期ですのでフィルターの清掃をしてください。（清掃時期の目安:1 年または 12,000km のいずれか早いとき）

オーディオ

12

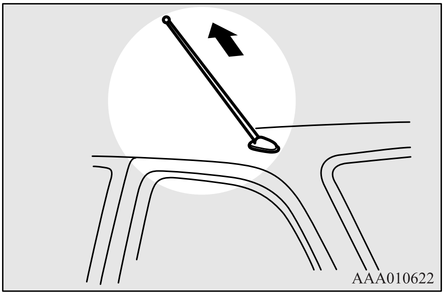
● Mitsubishi Multi Entertainment System （三菱マルチエンターテイメントシステム）付き車のオーディオ操作については，別冊の取扱説明書をご覧ください。

アンテナ

J01102200954

ピラーアンテナ

ラジオを聞くときはアンテナをいっぱいに伸ばしてからお聞きください。


AAA010622

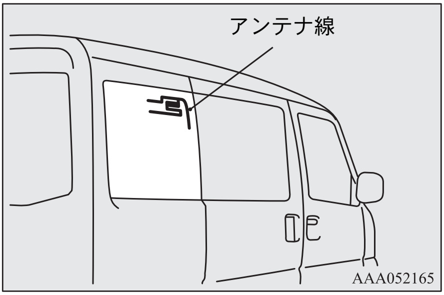
アドバイス

- つぎのようなときは，アンテナを損傷するおそれがあるため，必ずアンテナを格納してください。
  - 天井の低い所へ入るとき
  - 自動洗車機を使用するとき
  - ボデーカバーをかけるとき

テレビアンテナ

タイプ別装備

テレビ用アンテナ線が右側のリヤクォーターガラスの内側にプリントされています。



AAA052165

アドバイス

- リヤクォーターガラスを清掃するときは，アンテナ線を傷つけないようにアンテナ線に沿って柔らかい布でふいてください。
- リヤクォーターガラスに鏡面タイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けると，受信感度が低下する原因となります。
  また，フィルムを貼り付ける際，カッターなどでアンテナ線を傷つけると受信感度が低下するおそれもあります。

簡単な整備・車のお手入れ

簡単な整備

車のお手入れ

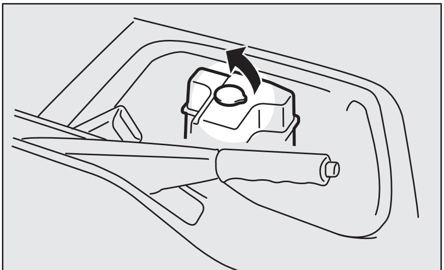
ウォッシャー液の点検・補給

J01200200788

タンク内の液面の位置で液量を点検します。

フロント・リヤ共用

タンクは助手席シートの下にあります。
点検をするときは，助手席シートを操作して行います。
→「点検口（運転席／助手席下）」P. 6-15


AAA052309

ウォッシャー液が不足している場合は，三菱自動車純正ウォッシャー液を気温に適した濃度で補給してください。

使用地域・季節	希釈割合	凍結温度
通常	原液１に水２	－10℃程度
寒冷地の冬期	原液１に水１	－20℃程度
極寒冷地の冬期	原液のまま	－50℃程度

⚠注意

- 冬期は，ウォッシャー液を薄めすぎると液がウインドウガラスに凍りついてしまうことがあります。

アドバイス

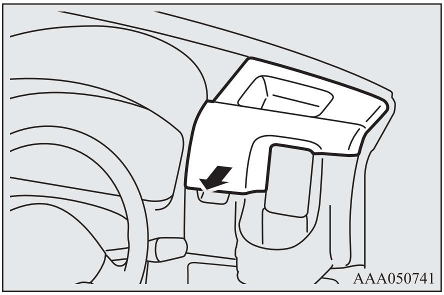
- ウォッシャー液の代わりに石けん水などを使用すると，ノズルのつまり，塗装のしみなどの原因となることがありますので使用しないでください。

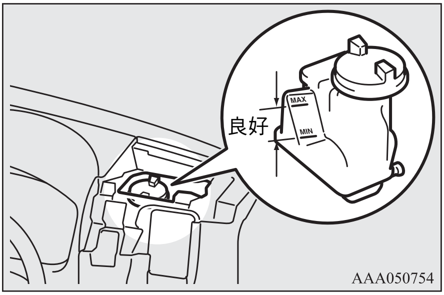
13

ブレーキ液タンク

J01200300066

運転席側インストルメントパネル上部を手前に引いて外し，ブレーキ液の量を点検してください。





アドバイス

- ブレーキ液の量の点検，補給方法は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

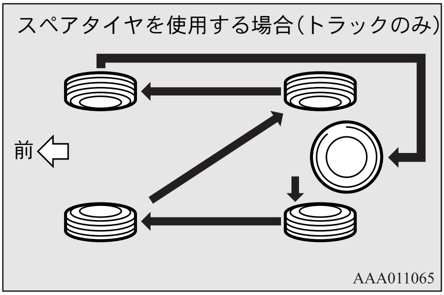
タイヤメンテナンス

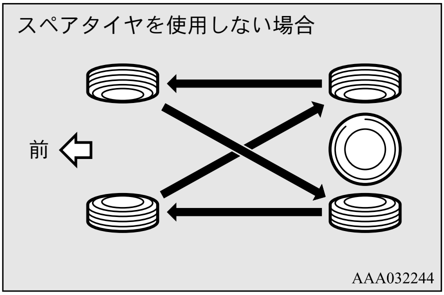
J01202100143

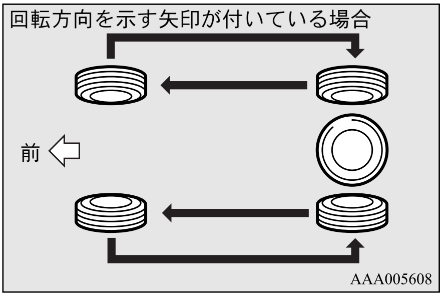
タイヤローテーション

J01202400263

タイヤの摩耗を均一にして寿命を延ばすため，タイヤローテーションを 5,000km 走行ごとに行ってください。



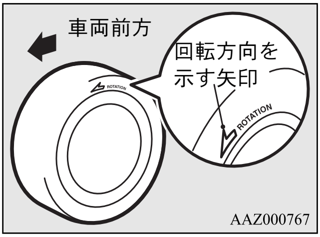




13

⚠注意

- 応急用スペアタイヤ（バン）はローテーション作業を行うとき，外したタイヤのかわりに一時的に使用することができますが，ローテーションには加えないでください。
- タイヤに回転方向を示す矢印が付いているときは，4輪で前後ローテーションを行ってください。
  タイヤを取り付けるときは車両前進時の回転方向と矢印の向きが同じになるように取り付けてください。矢印の向きが異なるとタイヤの性能が十分に活かされません。

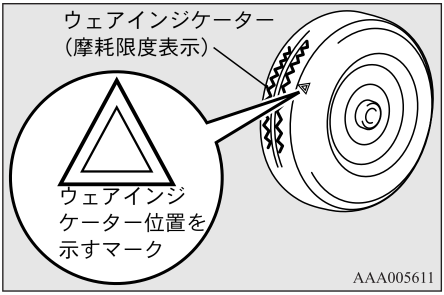


- 種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので避けてください。

タイヤの摩耗

J01202500017

ウェアインジケーター（溝の深さ 1.6mm 以下）が現れたら，スリップしやすくなり危険ですのでタイヤを交換してください。



アドバイス

- ウェアインジケーターのマークや位置は，タイヤメーカーによって異なります。

タイヤ空気圧の点検・調整

J01202600018

タイヤの空気圧は定期的に点検し，必ず規定の空気圧に調整してください。

→「タイヤの空気圧」P. 16-5

⚠警告

- **タイヤの空気圧が不足したまま走行すると，タイヤが偏摩耗したり，車の安定性や操縦性を確保できなくなるおそれがあります。また，バースト（破裂）するなど重大な事故につながるおそれがあります。**

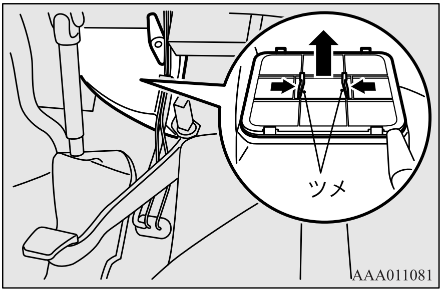
アドバイス

- 点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。
- 規定の空気圧は運転席ドアを開けたボデー側のラベルにも表示しています。

エアフィルターの清掃

J01201800039

エアフィルターは運転席足元にあります。



1. ツメを内側に押さえながらフィルターを取り外します。
2. 掃除機などで大きなほこりを取り除いた後，水洗いします。
3. 乾いた柔らかい布で水分をふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。
4. フィルターの裏表に注意して，ツメを内側に押さえながらフィルターを取り付けます。

⚠注意

- エアフィルターを取り外したり取り付けたりするときに，けがをしないように注意してください。

アドバイス

- エアフィルターを装着せずにヒーター・エアコンを使用しないでください。故障の原因となる事があります。

内装品のお手入れ

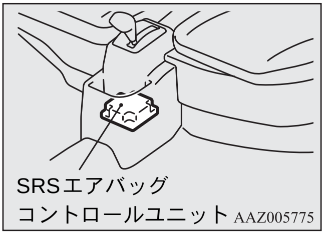
J01200601066

1. 電気掃除機などでほこりを取り除きます。
2. ガーゼなどの柔らかい布に，中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，軽くふき取ります。
3. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。
4. 水分をよくふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

⚠注意

● 車内を直接水洗いすることはできるだけしないでください。やむを得ず洗車をする場合は，つぎのことをお守りください。

- SRS エアバッグコントロールユニットおよびその周辺に水がかからないように行ってください。
  水がかかると SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。



- バンはEV-ECU，バッテリーマネジメントユニットおよびその周辺に水がかからないように行ってください。
  水がかかるとEV-ECU，バッテリーマネジメントユニットが正常に作動せず，走行や充電ができなくなるおそれがあります。



- ブレーキペダルの上部に取り付けてある電動パワーステアリング ECU およびその周辺に水がかからないように行ってください。
  水がかかると電動パワーステアリングが正常に作動せず，ハンドルが重くなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

13

⚠注意

- シリコンやワックスを含むクリーナーや保護剤を使用しないでください。
  インストルメントパネルなどに使用すると使用箇所がウインドウガラスに映り込み，視界の妨げになるおそれがあります。
  また，各種スイッチなどに付着すると電装品の故障につながるおそれがあります。
- シートの下など，見えにくい場所や狭い場所のお手入れをするときは，手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

アドバイス

- ベンジン，ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変色やしみ，割れの原因になります。
  また，各種クリーナー類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認のうえ使用してください。
- 液体芳香剤は，こぼれないよう容器を確実に固定してください。
  また，インストルメントパネルの上やランプ類，メーターの近くには置かないでください。
  含まれる成分によって樹脂部品や布材の変色，ひび割れをおこすおそれがあります。

外装品のお手入れ

J01200701155

お車を美しく保つために，走行後は塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としてください。
つぎのような汚れは，そのままにしておきますと，腐食，変色，しみになるおそれがありますので，できるだけ早く洗車してください。

- 海水や道路凍結防止剤など
- 工場のばい煙，油煙，粉じん，鉄粉，化学物質（酸，アルカリ，コールタールなど）など
- 鳥のふん，虫の死がい，樹液，花粉など

⚠注意

- 下まわりやホイールを洗うときは，厚手のゴム手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

洗車のしかた

J01202800472

1. 水をかけながら，車体の下まわりを洗います。
2. 車体上部から水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
3. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。
   洗車後は，中性洗剤を水で完全に洗い落とします。
4. 鳥のふんや虫の死がいなどの汚れは，水で洗い落とし，必要に応じてワックスで汚れを落とします。
5. 柔らかい布またはセーム皮で，塗装面にはん点が残らないよう水分をふき取ります。

⚠警告

- **駆動用バッテリーを充電しながら洗車をしないでください。**
  火災，感電の原因となります。
- **洗車をする前には，充電リッドおよび中ブタが確実に閉まっていることを確認してください。**
  リッドが開いていると充電装置に水がかかり，火災，感電の原因となります。
- **パワーユニットルーム内には水をかけないでください。火災，感電の原因となります。**

⚠注意

- 洗車時はパワースイッチを LOCK にしてください。
- 高圧の洗浄機を使用して下回りの洗車をしないでください。
  パワーユニットの不調や故障の原因になります。
- 洗車後は，低速で走行しながら数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
  ぬれたままにしておくとブレーキの効きが悪くなったり，凍結やさびによってブレーキが固着し，走行できなくなることがあります。

アドバイス

- 自動洗車機を使用すると塗装面にブラシの傷がつき，塗装の光沢が失われたり，劣化を早めるおそれがあります。
- 洗浄機（コイン洗車機など）は機種によって高温，高圧のものがあります。
  車体樹脂部品の熱変形，破損，接着式マーク類のはがれ，室内への水侵入などのおそれがありますので，つぎのことをお守りください。
  - 洗車ノズルと車体との距離を十分離す。（約70cm以上）
  - ドアガラスまわりを洗うときは，洗車ノズルをガラス面に垂直に向け，洗車ノズルとガラスとの距離を十分離す。（約70cm以上）
- 自動洗車機を使用するときは，部品が破損したり，車両を傷つけるおそれがありますので，アンテナおよびドアミラーを格納してください。
  リヤアンダーミラー付き車は，使用する前に必ず係員にご相談ください。係員のいないコイン洗車機などは，操作要領に従って洗車してください。

ワックスのかけ方

J01202900369

月に 1~2 回または，水をはじかなくなったときにかけます。
ワックスかけは，洗車後の塗装面が体温以下のときに直射日光を避けて行ってください。
塗装面が熱いときにワックスをかけると，しみの原因になります。

アドバイス

- 三菱自動車純正ワックスの使用をおすすめします。
- コンパウンド（研磨剤）入りのワックスは使用しないでください。
  コンパウンド入りのワックスを使用すると，汚れ落ちはよくなりますが，塗装面を削り取るため塗装面の光沢が失われる原因になります。
  また，使用した布に色が付着し色落ちするおそれがあります。
  特に濃彩色は変色部分がめだちやすくなります。
- 黒色のつや消し塗装部にワックスをかけると，色むらなどが起こるおそれがありますので，ワックスをかけないでください。
  ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布できれいにふき取ってください。
- 洗車やワックスがけを行うときは，車体の一点に強い力がかからないよう注意してください。
  力のかけぐあいや場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。



ウインドウガラスのお手入れ

J01203000194

ワイパーのふきが悪くなったときは，ウインドウガラス洗浄剤（ガラスクリーナーなど）で清掃してください。

アドバイス

- 三菱自動車純正ウインドウガラス洗浄剤の使用をおすすめします。
- ガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないよう電熱線に沿って柔らかい布でふいてください。

ワイパーのお手入れ

J01201100104

ワイパーゴムに異物が付着していたり，摩耗しているとふきが悪くなりますので，つぎのように処置してください。

- 異物が付着しているときは，水を含ませた柔らかい布でワイパーゴムを清掃してください。
- ワイパーゴムが摩耗しているときは，早めにワイパーゴムを交換してください。

アドバイス

- ワイパーゴムの交換については，別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

13

番号灯のお手入れ

J01203300038

番号灯の内側が汚れたり，水がたまった場合は，まず車体から番号灯を外し，つぎにバルブを外してからレンズを水洗いしてください。

→「番号灯」P. 15-46

アドバイス

- レンズの表面をワックス，ベンジンやガソリンなどの有機溶剤で拭いたり，硬いブラシなどでこすったりしないでください。破損したり劣化を早める原因となります。
- 番号灯を外すときは，車体を傷つけないよう十分注意してください。

樹脂部品のお手入れ

J01201500241

スポンジまたはセーム皮で清掃します。
黒色や灰色系統で表面がざらざらしている部分（バンパーやモールディングなど）およびランプ類にワックスが付着すると白くなることがあります。
ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布またはセーム皮などできれいにふき取ってください。

アドバイス

- たわしなどの硬いものは，表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨剤）入りワックスは，樹脂の表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- ガソリン，軽油，ブレーキ液，エンジンオイル，グリース，塗装用シンナー，硫酸（バッテリー液）を付着させると，変色，しみ，ひび割れの原因になりますので，絶対に避けてください。
  万一，付着したときは，すみやかに中性洗剤の水溶液を用い柔らかい布またはセーム皮などでふき取ったあと，多量の水で洗い流してください。

アドバイス

- [未塗装の材料色（ホワイト）バンパーのお手入れについて]
  汚れが落ちにくい場合は，三菱自動車純正ワックスを使用してください。
  未塗装の材料色（ホワイト）バンパーに，三菱自動車純正ワックスを使用することは問題ありません。

塗装の補修

J01201700083

飛び石や引っかき傷などは，腐食の原因になります。
見つけたら早めにタッチアップペイントで補修してください。

アドバイス

- 三菱自動車純正タッチアップペイントの使用をおすすめします。

寒冷時の取り扱い

冬期前の点検と準備

J01300101147

冷却水・温水ヒーター液

冷却水・温水ヒーター液（三菱自動車純正品）の濃度を50%にします。

アドバイス

- 冷却水・温水ヒーター液の補給は「メンテナンスノート」をお読みください。

ウォッシャー液

ウォッシャー液（三菱自動車純正品）の濃度を50%以上にします。

→「ウォッシャー液の点検・補給」P. 13-2

補機用バッテリー

液量，比重の確認をし，必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

アドバイス

- バッテリー液の補給は「メンテナンスノート」をお読みください。

タイヤチェーン，または冬用タイヤの準備

タイヤチェーンは必ず三菱自動車純正部品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。

→「タイヤチェーン」P. 14-5

冬用タイヤに取り替えるときは, 4輪とも交換します。

→「タイヤ交換のしかた」P. 15-21

ワイパー

寒冷地用ワイパーは，雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムでおおってあります。

寒冷地用ワイパーに交換するときは，必ず三菱自動車純正品をご使用ください。

14

走行前の点検

J01300200688

日常点検時につぎの点検を追加してください。

ウインドウガラスの雪や霜を落とす

ウインドウガラスの雪や霜を落として視界を確保してください。また，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りついていないかも確認してください。

アドバイス

● 冬期はワイパーブレードが凍結しフロントガラスに張り付くことがあります。その場合はヒーターでフロントガラスを暖めてください。
→「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」P. 11-8
フロントガラスに張り付いたまま動かすとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーター故障の原因となります。

足まわりの確認

足まわりに付着した氷塊を取り除いてください。走行中に氷塊が部品を損傷するおそれがあります。

⚠注意

● 足まわりにはブレーキ関連部品が集まっています。部品や配線などを損傷させないように注意して取り除いてください。

ドアの凍結

ドアが凍結したときに無理に開けようとするとドアまわりのゴムがはがれたり，き裂が入るおそれがあります。お湯をかけて氷を溶かしてください。その後すみやかに水分を十分ふき取ってください。

アドバイス

● キー穴部にはお湯をかけないでください。凍結すると，キーが差し込めなくなります。

車に乗る前に

ペダルのすべりや，ウインドウガラスの曇りを防止するため，靴についた雪はよく落としてから乗車してください。

ペダル，ハンドル，ブレーキの効きの確認

● ペダルやハンドルの動きは円滑かどうか確認してください。
● ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。走り始めの極低速時にブレーキペダルを踏んで，効き具合を確認してください。

雪道，凍結路の走行

J01300300533

雪道や凍結した道路はスリップに注意

- 速度はひかえめにしてください。
- タイヤチェーンを後輪に装着，または4輪とも冬用タイヤに交換してください。
- 橋の上，日陰，水たまり，トンネルの出入口付近などは路面が凍結していることがあります。慎重な運転を心がけ，急ブレーキ，急ハンドル，急なアクセル操作は避けてください。

車間距離は十分に

雪道，凍結路は滑りやすいため，ブレーキの効きが悪くなります。走行中は車間距離を十分にとってください。

フェンダー内の雪は早めに取り除く

走行中にはね上げた雪がフェンダー内に着氷しハンドルの切れが悪くなることがあります。氷塊を取り除いてください。

ブレーキの効き具合を確認

雪道走行時にブレーキ装置に着氷し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。走行中は前後の車や道路状況に注意し，ときどき軽くブレーキペダルを踏んで効き具合を確認してください。

駐車後の発進は慎重に

ブレーキ装置への着氷により車輪がロックしていることがあります。
車のまわりの安全を十分確認してからゆっくり発進してください。

⚠注意

- 急にアクセルペダルを踏み込まないでください。着氷によるロックが外れたときに急発進し，思わぬ事故につながるおそれがあります。

洗車は早めに

寒冷地では道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。さびの原因になりますので，下回りを中心に早めに洗車してください。

⚠注意

- 高圧の洗浄機を使用して下回りの洗車をしないでください。
パワーユニットの不調や故障の原因になります。

14

寒冷地での駐車

J01300400358

駐車ブレーキが凍結するおそれがあります。駐車ブレーキはかけず，セレクターレバーをⓅ に入れさらに輪止めをしてください。
また軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪や積雪の重みで車の屋根などがへこむことがあります。

アドバイス

- ワイパーアームを立てておけば，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りつくのを防ぐことができます。
- 輪止めは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

タイヤチェーン

J01300701127

後輪駆動車ですので，タイヤチェーンは後輪に取り付けてください。

⚠注意

- タイヤチェーンは前輪に取り付けないでください。

タイヤチェーンは必ず三菱自動車純正部品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。
三菱自動車純正部品以外のタイヤチェーンを装着すると，ボデーなどにあたり傷をつけるおそれがあります。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
取り付け要領は，タイヤチェーンに添付の取扱説明書をご参照ください。

⚠注意

- 応急用タイヤ（バン）にはタイヤチェーンは装着できません。後輪がパンクしたときは前輪を後輪に取り付けてからチェーンを装着してください。
- 路上でタイヤチェーンをかけるときは，交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所を選びます。また，非常点滅灯や停止表示板で後続車に注意を促し同乗者は安全な場所に待機させてください。
- 車体の端部などで手にけがをしないように作業してください。

アドバイス

- タイヤチェーンを装着したときは30km/h以下で走行してください。
- 雪道，凍結路以外でのタイヤチェーンの装着はチェーンの寿命を短くしますので，避けてください。

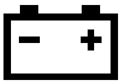
MEMO

もしものときの処置

警告灯が点灯または点滅したときは！

J01400101119

ただちに安全な場所に停車し，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

	補機用バッテリー充電警告灯	P. 8-12		パワーユニット警告灯	P. 8-13
	セレクターレバー位置表示灯	P. 9-9			

- 安全な場所に停車し，まず車を点検してください。点検後も消灯しないときは，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。
- ブレーキ警告灯が点灯し，ブレーキ警告ブザーが鳴りやまないときは，車を安全な場所に停めて最寄りの三菱自動車販売会社に連絡してください。
- ブレーキ警告灯とABS警告灯が同時に点灯したときは，急ブレーキや高速走行を避け，車を安全な場所に停めて最寄りの三菱自動車販売会社に連絡してください。

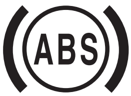
	ブレーキ警告灯（ブレーキ警告ブザー）	P. 8-11

できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

EPS	電動パワーステアリング警告灯	P. 9-18

15

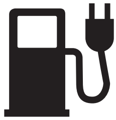
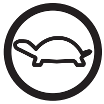
- 安全な場所に停車し，セレクターレバーを🅟に入れてパワースイッチをLOCKにしてください。
  再度パワーユニットを起動し，その後しばらく走行しても点灯しなければ異常ありません。
  消灯しないときやたびたび点灯するときは，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- ABS警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したときは，急ブレーキや高速走行を避け，車を安全な場所に停めて最寄りの三菱自動車販売会社に連絡してください。

	ABS警告灯	P. 9-16	 および 	トラクションコントロール(TCL)作動表示灯 および TCL OFF表示灯	P. 9-20

すぐに停車する必要はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

	SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯	P. 7-13, 7-21

参照ページをお読みになり処置してください。

	シートベルト 警告灯	P. 7-12		駆動用 バッテリー残量 警告灯	P. 8-9
	半ドア警告灯	P. 8-12		パワーダウン 警告灯	P. 8-13

定期点検時期が近づいたことを知らせます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

	サービス リマインダー	P. 8-6

ブザーが聞こえたときは!

J01400200764



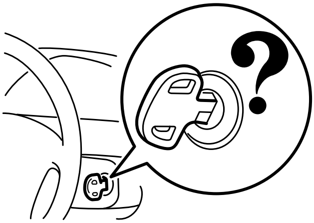
AAJ000837

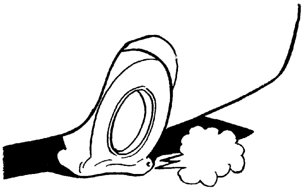
誤操作や盗難防止などのため警報ブザーで注意を促す機能が装備されています。参照ページをお読みになり正しく操作してください。

現象	機能	参照ページ
運転席ドアを開けるとブザーが鳴る。	「パワースイッチ切り忘れ警告ブザー」 「キー抜き忘れ警告ブザー」 「ライト消し忘れブザー」	→P. 6-6 →P. 6-6 →P. 8-15
パワースイッチをONにしたときにブザーが鳴る。	「シートベルト警告」	→P. 7-12
走行中にブザーが鳴る。	「シートベルト警告」 「半ドア警告灯」	→P. 7-12 →P. 8-12
車を後退しようとするとブザーが鳴る。	「後退(リバース)ブザー」	→P. 9-10
ブレーキペダルを何度も繰り返して踏み込むとブザーが鳴る。	「ブレーキ警告ブザー」	→P. 8-11

こんなことでお困りのときは!

J01400301690

現象	処置
水たまりに入った後にブレーキの効きが悪い。	前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み, ブレーキを乾かしてください。 「雨天時や水たまりを走行するときは」→ P. 3-14
走行中にREADY(走行可能)表示灯が消灯した	通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。 「走行中に READY(走行可能)表示灯が消灯したときは」 → P. 3-18
パワースイッチが回らない。 	**LOCKからACCに回らない** ハンドルを軽く左右に動かしながらパワースイッチを回してください。 **ACCからLOCKに回らない** セレクターレバーがⓅに入っているか確認してください。 「キーを抜くときは」→ P. 9-7
セレクターレバーがⓅから動かない。	ブレーキペダルを踏んでからセレクターレバーを操作してください。 パワースイッチがONになっているか確認してください。 「セレクターレバーの動かし方」→ P. 9-8
雨の日, 湿気の多い日などに窓が曇る。 	外気導入になっているか確認してください。 エアコンを入れると効果的です。 「ウインドウガラスの曇り, 霜を取りたいときは」 → P. 11-8

現象	処置
パンクした。 	1. あわてずに, ハンドルをしっかり持ち, 安全な場所に車を停止します。 2. スペアタイヤに交換します。 「タイヤ交換のしかた」→ P. 15-21
• パワーユニットが起動しない。 ［READY（走行可能）表示灯が点灯しない。］ • ライトが点灯しない, 暗い。 • ホーンが鳴らない, 音が小さい。 • 充電ができない	補機用バッテリーが上がっているおそれがあります。 「補機用バッテリーが上がったときは !」→ P. 15-24
タイヤがスリップして発進できない。 （ぬかるみ, 雪道, 凍結路などの発進時）	1. 毛布か布などがあるときは, それをスリップしているタイヤの前に差し入れて滑り止めにします。そして, ゆっくりとアクセルペダルを踏んで発進してください。 2. 何も滑り止めにするものがないときは, 前後進をくり返して車の反動を利用して脱出します。

⚠注意

- 車の反動を利用して脱出するときは, 車の周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- ぬかるみなどにはまったときは，むやみにタイヤを空転させないでください。タイヤがもぐり込み，かえって脱出しにくくなります。また，モーターの高回転を続けると車両の故障につながるおそれがあります。数回試して脱出できないときは，専門業者に依頼してください。

15

故障したときは！

J01400400652

故障して動けなくなったときは，同乗者または付近の人に応援を求め，安全な場所まで車を押して移動します。

このとき，セレクターレバーをⓃに入れてください。

踏切内で動けなくなったときは

脱輪などで，すぐに車を動かせないときは，すみやかに同乗者を避難させ，踏切の非常ボタンを押します。

⚠注意

- 電車が近づいているときや，緊急を要するときは，発炎筒で合図してください。

アドバイス

- パワースイッチをSTARTの位置で保持しても，緊急避難的に車を動かすことはできません。

一般道路での故障表示

追突などの事故を防ぐため，車を路肩に寄せ，非常点滅灯を点滅させるか，停止表示板などで故障表示します。

高速道路，自動車専用道路での故障表示

高速道路や自動車専用道路では，車両後方に停止表示板を置くことが義務づけられています。

人は車内に残らず，路肩を歩いて安全な場所に避難してください。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

修理の連絡先

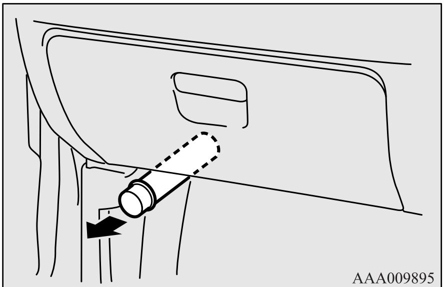
別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

15

発炎筒を使うときは！

J01400500376

発炎筒は，高速道路や踏切などで故障したときに使用します。
使用したときや期限切れのときは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
発炎筒は，グローブボックスの左下部に備えつけてあります。


AAA009895

⚠警告

- お子さまには，発炎筒をいじらせないでください。
- 人の顔や体に向けて絶対に使用しないでください。やけどをするおそれがあります。
- ガソリンなど燃えやすいものの近くでは使用しないでください。
火災をまねくおそれがあります。
- トンネル内では使用しないでください。煙により視界が悪くなり，重大な事故につながるおそれがあります。非常点滅灯など他の方法を用いてください。

アドバイス

- 使い方は発炎筒に記載されています。
あらかじめよく読んでおいてください。
- 発炎時間は約5分です。非常点滅灯など他の方法を併用してください。
→「非常点滅灯スイッチ」P. 8-18
- 発炎筒には有効期限（発炎筒に記載）があります。

工具とジャッキ

J01400600449

⚠注意

- ジャッキは，タイヤ交換とタイヤチェーンの取り付け以外の目的には使用しないでください。
- 車両に搭載されているジャッキは，お客様のお車専用です。他の車両に使用したり，他の車両のジャッキをお客様のお車に使用しないでください。車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

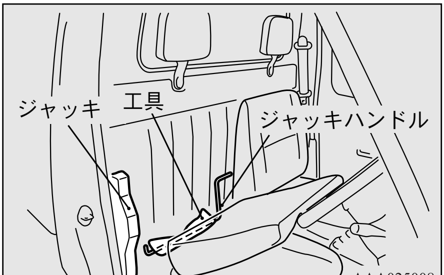
- 工具の種類，ジャッキの使い方は，万一のとき困らないようあらかじめ確認しておきましょう。

格納場所

J01405800286

◆ トラック

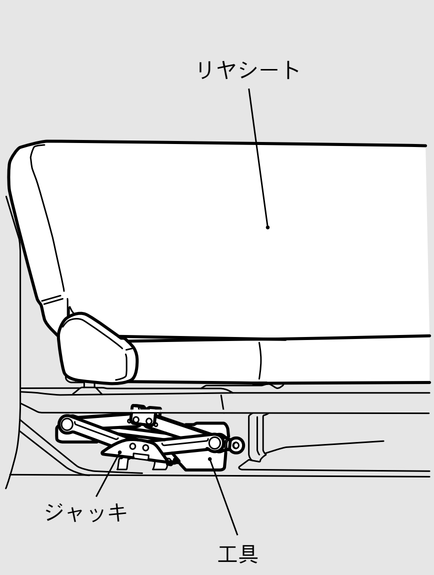
工具とジャッキハンドルは運転席シートの後ろに，ジャッキは運転席シートの横に格納されています。



AAA025008

◆ バン

リヤシートの右下部に格納されています。



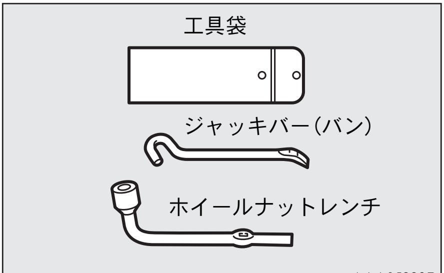
AAE003110

⚠注意

- 工具やジャッキを使用した後は，元の位置に確実に格納してください。
  室内などに放置すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

工具の種類

J01404300646



AAA052237

アドバイス

- 工具袋の中にワッシャーが入っている場合がありますが，お客様のお車には使用しないでください。

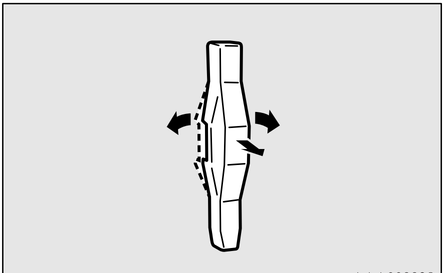
ジャッキ，工具の脱着

J01404200805

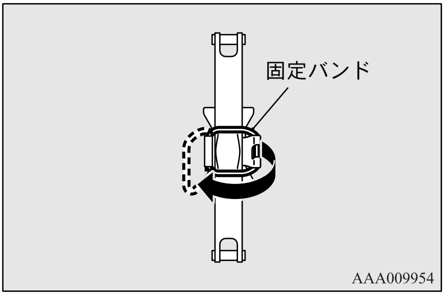
◆ ジャッキ（トラック）

取り出すときは

1. ジャッキカバーをひろげながら取り外します。

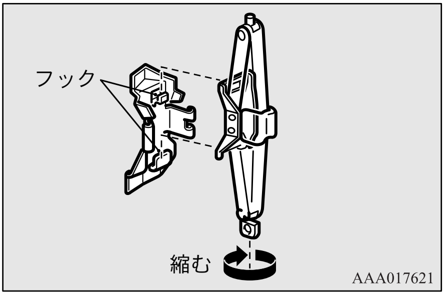

AAA009938

2. 固定バンドを外してジャッキを取り出します。

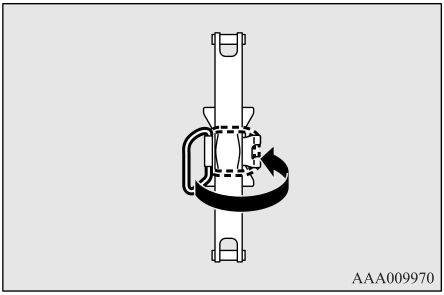


格納するときは

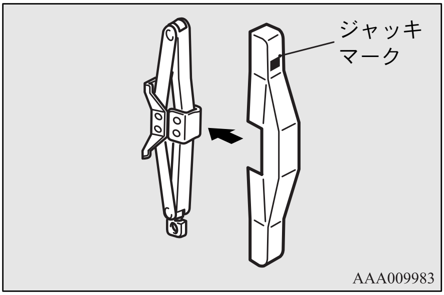
1. ジャッキを縮めてブラケットのフックにかけます。



2. 固定バンドで固定します。



3. ジャッキマークが付いている側を上にして，ジャッキカバーを確実に取り付けます。



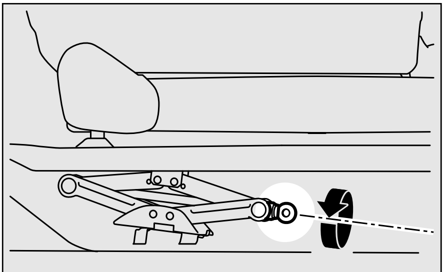
アドバイス

● ジャッキを格納した後は，ジャッキが確実に固定されていることを確かめてください。

◆ ジャッキ（バン）

取り出すときは

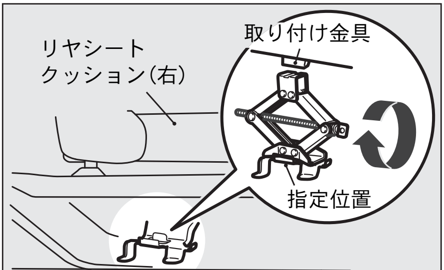
ジャッキを矢印の方向に回して縮めてから取り出します。



AAA052208

格納するときは

1. ジャッキを縮めてから指定位置に置きます。
2. ジャッキを取り付け金具に当たるまで広げて確実に固定します。

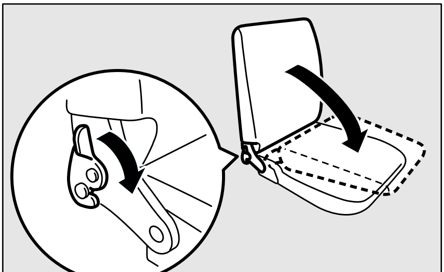


AAA052224

◆ 工具，ジャッキハンドル（トラック）

取り出すときは

1. 運転席シートのレバーを前へ押して背もたれを前に倒します。



AAA009996

2. 固定バンドを外し取り出します。



AAA010000

格納するときは

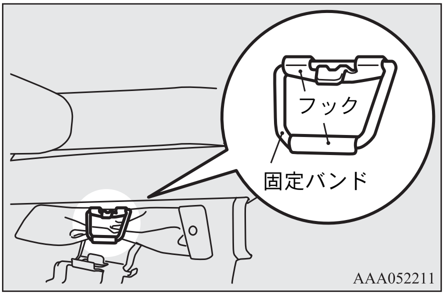
取り出すときの逆の手順で行います。

15

◆ 工具（バン）

取り出すときは

1. ジャッキを取り出します。
→「ジャッキ，工具の脱着」P. 15-10
2. 固定バンドをフックから外して，工具を取り出します。



格納するときは

取り出すときの逆の手順で行います。

ジャッキアップのしかた

J01400701649

⚠警告

- **ジャッキアップしたら車の下には絶対にもぐらないでください。万一ジャッキが外れたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。**

⚠注意

- ジャッキアップするときは安全のため，つぎのことを必ず守ってください。万一の場合，ジャッキが外れ思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - READY（走行可能）表示灯を点灯させたままにしない。
  - 人や荷物を乗せたままにしない。
  - 地面が平坦で固い場所以外では使用しない。
  - 凍結した路面では使用しない。
  - ジャッキの上や下に物をはさまない。
  - ジャッキアップ中に車をゆすらない。
  - ジャッキアップしたタイヤを回転させない。
  - ジャッキアップしたまま放置しない。

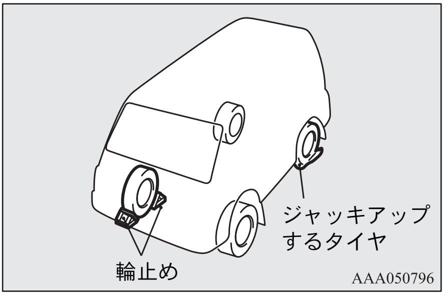
1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れて，パワースイッチをLOCKにします。
3. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，人や荷物を車から降ろし，停止表示板を車両後方に置きます。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

15

4. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。



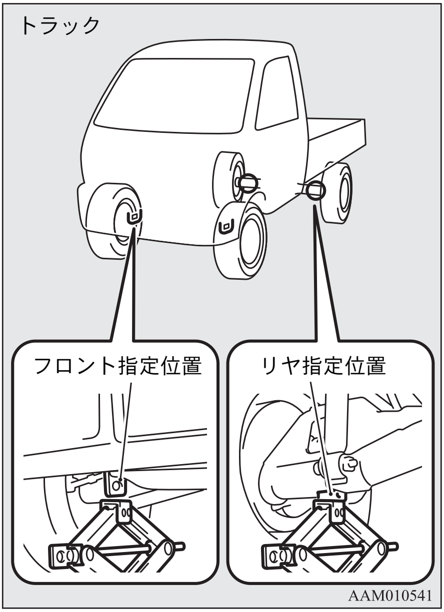
⚠注意

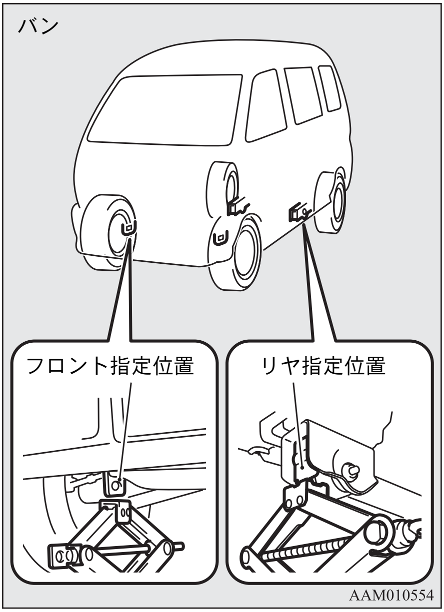
- ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
  万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

5. 工具とジャッキを取り出します。
   →「工具とジャッキ」P. 15-9
6. ジャッキアップするタイヤに近い指定位置にジャッキをセットします。
7. ジャッキ頭部がジャッキ指定位置に当たるまで，ジャッキを手で右に回して上げます。

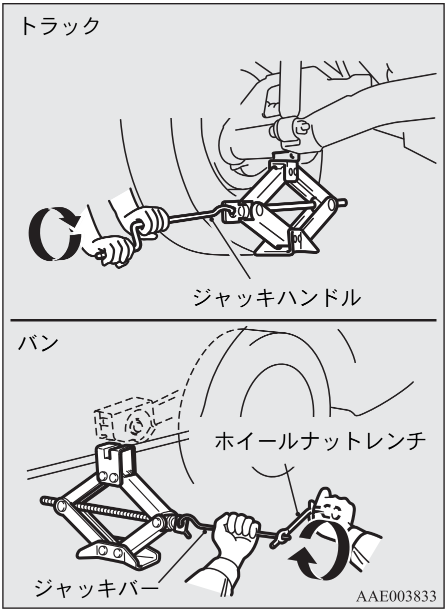




⚠警告

- ジャッキは，指定された位置以外にかけないでください。指定された位置以外にかけると，車体がへこんだり，ジャッキが倒れて，重大な傷害を受けるおそれがあります。

8. タイヤが地面から少し浮くまで，車体をジャッキアップします。
   トラックはジャッキハンドルを使用して静かに右に回します。
   バンはホイールナットレンチの穴にジャッキバーを差し込んで静かに右に回します。



⚠注意

- 地面からタイヤが少し離れた高さ以上にジャッキアップしないでください。必要以上にジャッキアップすると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

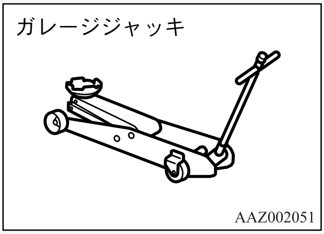
15

ガレージジャッキを使用するときは

J01407100078

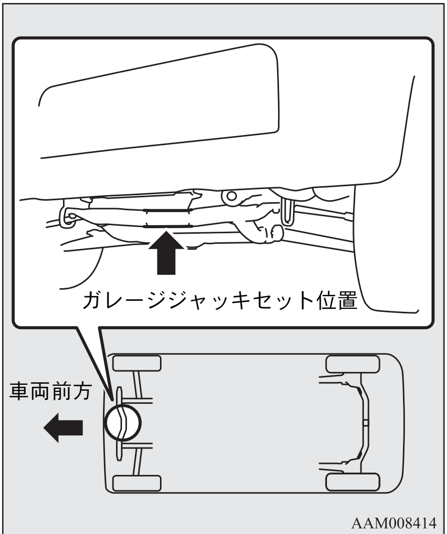
⚠警告

- ガレージジャッキを使用するときは，必ず指定のガレージジャッキセット位置に当ててジャッキアップしてください。指定された位置以外に当ててジャッキアップすると，車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

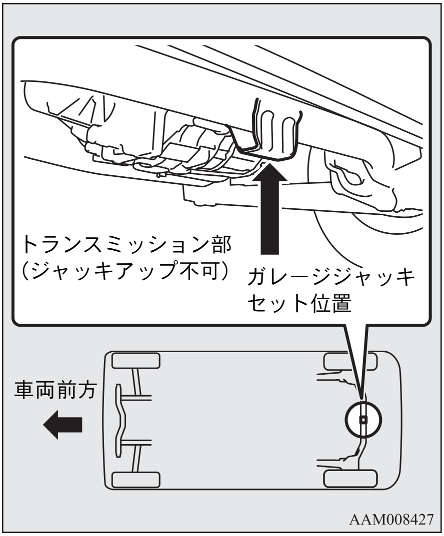


◆ ガレージジャッキセット位置

フロント

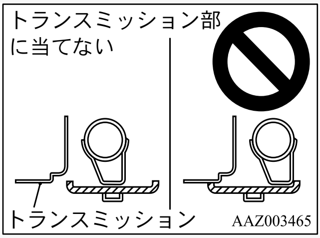


リヤ



⚠警告

- リヤ側をジャッキアップするときは，トランスミッション部にガレージジャッキを当ててジャッキアップしないでください。トランスミッション部にガレージジャッキを当ててジャッキアップすると，車両を損傷するおそれがあります。

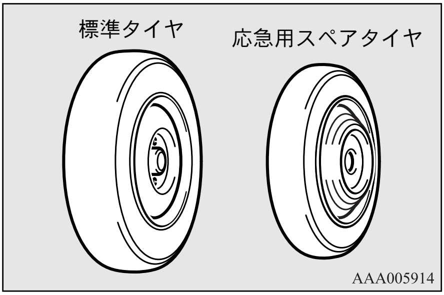


スペアタイヤ

J01400801158

応急用スペアタイヤ（バン）

タイヤがパンクしたとき，パンク修理するまでの応急用として，一時的に使用するタイヤです。できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
応急用スペアタイヤは，図のように標準タイヤに比べて直径がいくぶん小さくなっています。



⚠注意

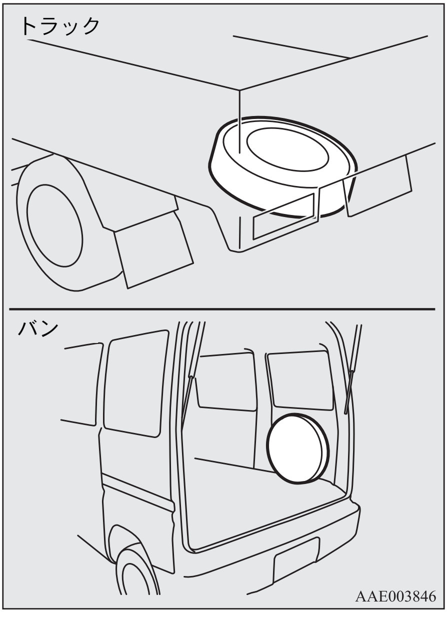
- 応急用スペアタイヤを装着したときは，80km/h以下のスピードで走行してください。
- 応急用スペアタイヤは，標準タイヤに比べて直径が小さくなります。標準タイヤ装着時と同じ感覚で運転しないよう注意してください。特に車高が少し低くなりますので，突起物などを乗り越えるときは十分注意してください。
- 応急用スペアタイヤにタイヤチェーンは装着できません。後輪がパンクしたときは，前輪を後輪に取り付けてからチェーンを装着してください。
- この応急用スペアタイヤとホイールはお客様のお車専用です。他のタイヤやホイールと組みあわせたり，お客様のお車以外に使用しないでください。

⚠注意

- 空気圧は，定期的に点検してください。
空気圧が不足している状態で走行すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。空気圧が不足しているときは，最寄りの三菱自動車販売会社またはガソリンスタンドまで控えめな速度で走行し，指定の空気圧に調整してください。
→「タイヤの空気圧」P. 16-5

格納場所

スペアタイヤが，トラックは荷台床下部に, バンは荷室右側に格納されています。

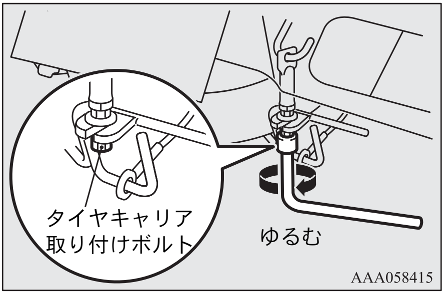


スペアタイヤの脱着

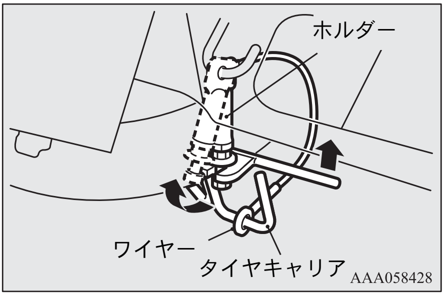
◆ トラック

取り出すときは

1. ホイールナットレンチを取り出します。
   →「格納場所」P. 15-9
2. ホイールナットレンチを使用して，タイヤキャリア取り付けボルトをゆるめます。

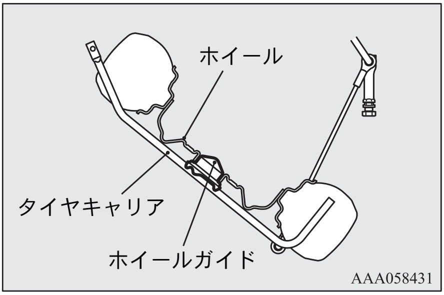


3. ワイヤーがタイヤキャリアに装着されていることを確認し，タイヤキャリアを持ち上げてホルダーから外し，下に降ろしてタイヤを取り出します。

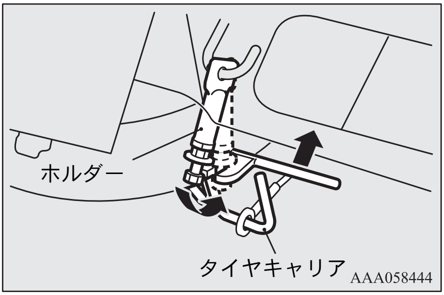


格納するときは

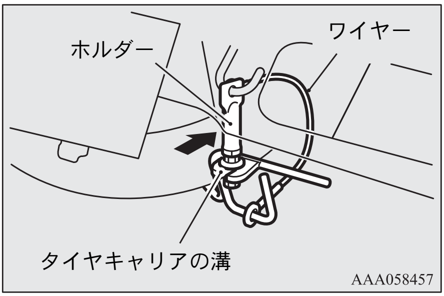
1. ホイールの表側を下にしてホイール中央の穴をタイヤキャリアのホイールガイドに確実にはめます。



2. タイヤキャリアを持ち上げてホルダーにかけます。

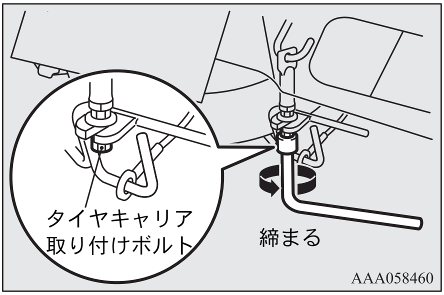


3. タイヤキャリアの溝にホルダーをいっぱいまで入れ，ワイヤーが図のような状態になっていることを確認します。このとき，ワイヤーが周辺部品にはさまっていないことを確認してください。



15

4. ホイールナットレンチを使用して，タイヤキャリア取り付けボルトを確実に締め付けます。



AAA058460

⚠注意

- スペアタイヤを格納した後は，タイヤキャリアが確実に固定されていることを確認してください。タイヤキャリアが固定されていないと走行中に脱落して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- タイヤキャリアに装着されているワイヤーは外さないでください。また，ホルダーからタイヤキャリアを外すとき，またはかけるときは，キャリアを足の上などに落とさないよう確実にタイヤキャリアを持って行ってください。

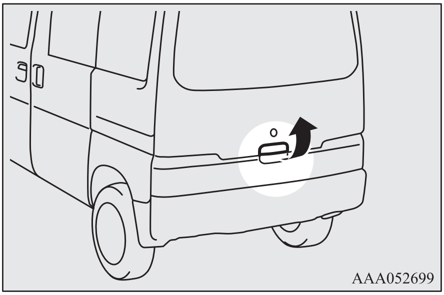
アドバイス

- スペアタイヤを手，または足でゆすってがたつかないことを確認してください。がたついているときはキャリアやホルダーの変形などが考えられますので，スペアタイヤを荷台に保管し，三菱自動車販売会社で修理を受けてください。

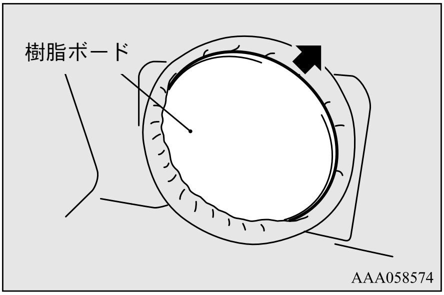
◆ バン

取り出すときは

1. ホイールナットレンチを取り出します。
→「ジャッキ•工具の脱着」P. 15-10
2. テールゲートを開きます。

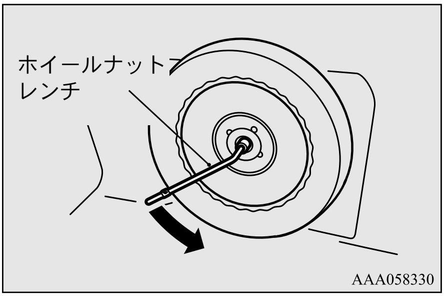

AAA052699

3. スペアタイヤカバーから樹脂ボードを取り外します。



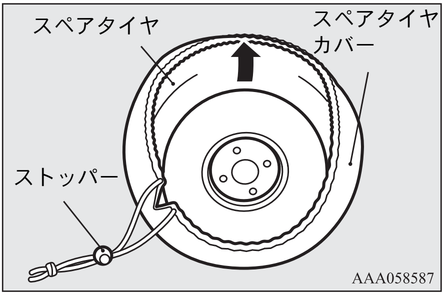
AAA058574

4. ホイールナットレンチを使用して，スペアタイヤ取り付けボルトをゆるめて，取り外します。



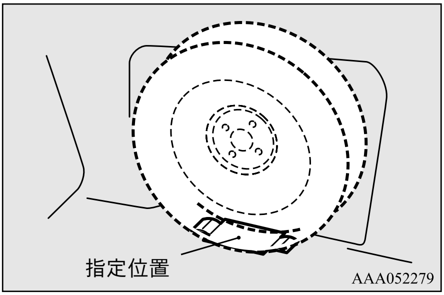
AAA058330

5. ストッパーをゆるめてスペアタイヤカバーを取り外します。

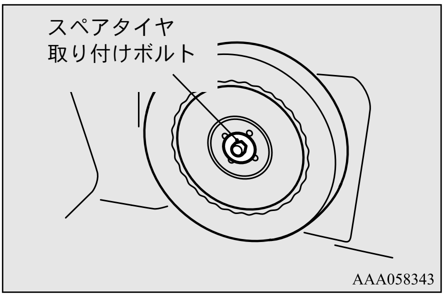


格納するときは

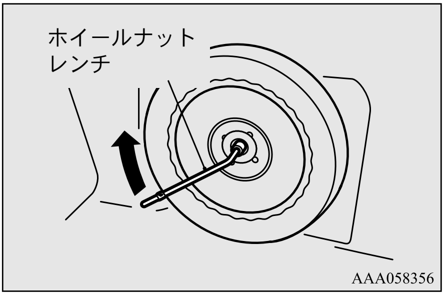
1. スペアタイヤカバーを元のように取り付け，ラゲッジルーム右側の指定位置にスペアタイヤを置きます。



2. スペアタイヤ取り付けボルトでスペアタイヤを固定します。



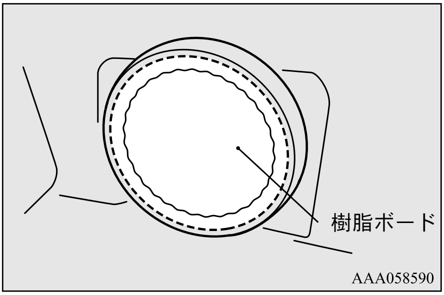
3. ホイールナットレンチを使用して，スペアタイヤががたつかない程度に，スペアタイヤ取り付けボルトを締め付けます。



アドバイス

- スペアタイヤ取り付けボルトは，必要以上に締め付けないでください。ネジ部やホイールの損傷の原因になります。

4. スペアタイヤカバーに樹脂ボードを元のように取り付けます。



15

タイヤ交換のしかた

J01400901654

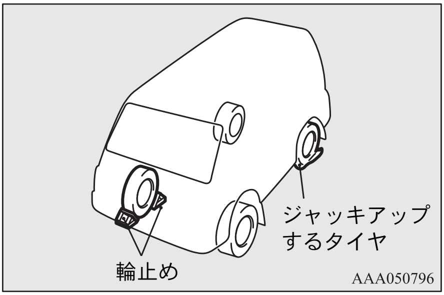
タイヤを取り外すときは

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れて，パワースイッチをLOCKにします。
3. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，人や荷物を車から降ろし，停止表示板を車両後方に置きます。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

4. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。



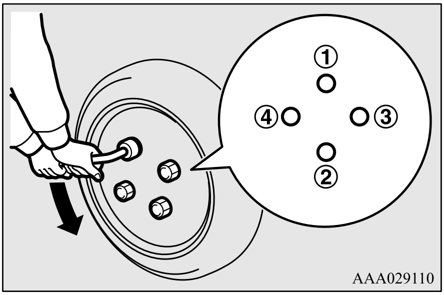
⚠注意

- ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
  万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

5. 工具とジャッキを取り出します。
   →「工具とジャッキ」P. 15-9
6. 交換するタイヤに近い指定箇所にジャッキをセットします。
   →「ジャッキアップのしかた」P. 15-13
7. ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に，手で回るくらいまで左に回してゆるめます。



8. タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキアップします。
9. ホイールナットを外し，タイヤを取り外します。

アドバイス

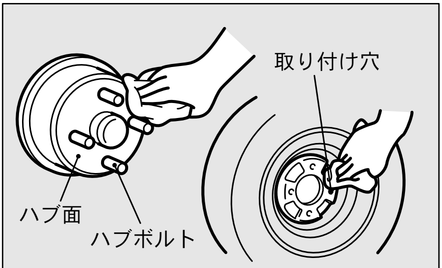
- タイヤを地面に置くときは，ホイール表面を上にして置いてください。
  下にして置くと，ホイールに傷がつくおそれがあります。

タイヤを取り付けるときは

⚠警告

- **種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。**

1. ハブ面，ハブボルトおよびホイール取り付け穴の汚れをきれいに取り除きます。

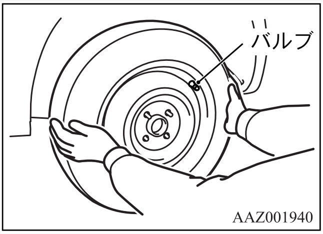


AAA006849

2. タイヤを取り付けます。

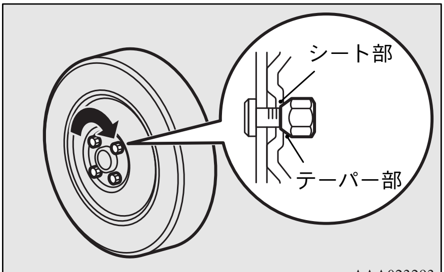
⚠警告

- **タイヤを取り付けるときは，タイヤの裏表に注意し，バルブが車体外側を向くように取り付けてください。取り付けた際，バルブが見えなければ，タイヤが裏向きに取り付けられています。タイヤの裏表を間違えて取り付けると，車両に悪影響をおよぼし，思わぬ事故につながるおそれがあります。**



AAZ001940

3. 手でホイールナットを右へ回して仮締めします。
   ホイールナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽く当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。



AAA023293

⚠注意

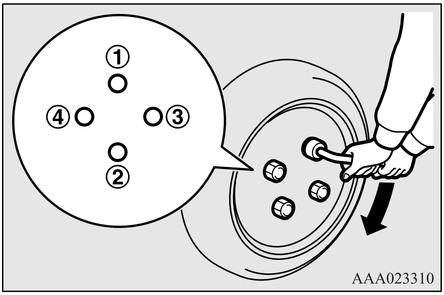
- ハブボルト，ホイールナットには油やグリースを塗らないでください。
  必要以上に締め付けられてボルトが破損したり，ホイールが損傷するおそれがあります。また，ナットがゆるんで走行中にタイヤが外れるなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。

15

4. タイヤが地面に接するまでジャッキを降ろし，ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に2~3回に分けて，徐々に締め付けます。最後の締め付けは，確実に行ってください。

締め付けトルク： 90~110N•m {9~11kgf•m}

（車載のホイールナットレンチの先端で360~430N {36~43kgf} の力）



⚠注意

- ホイールナットを締め付けるときは，ホイールナットレンチを足で踏んだり，パイプなどを使用して必要以上に締め付けないでください。

5. タイヤの空気圧を点検します。
→「タイヤの空気圧」P. 16-5
6. 工具とジャッキを元の位置に戻します。
→「格納場所」P. 15-9

⚠注意

- タイヤ交換後，走行中にハンドルや車体に振動がでたときは，三菱自動車販売会社でタイヤバランスの点検を受けてください。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。

アドバイス

- タイヤ交換したときは，約 1,000km 走行後，再度ホイールナットを締め付けて，ゆるみがないことを点検してください。

15

補機用バッテリーが上がったときは！

J01407400101

つぎのような状態を補機用バッテリー上がりといいます。

- パワーユニットが起動しない。
  ［READY（走行可能）表示灯が点灯しない。］
- ライトが点灯しない。または，点灯してもいつもより暗い。
- ホーンが鳴らない。または，鳴ってもいつもより音が小さい。



ブースターケーブル（別売）を使用し，他車のバッテリーを電源として，パワーユニットを起動することができます。

⚠警告

- **救援車を依頼し，ブースターケーブルを使用してパワーユニットを起動するときは，取扱説明書にしたがって正しい手順で作業してください。取り扱いを誤ると，引火爆発や車両損傷のおそれがあります。**

1. ブースターケーブルが接続でき，かつ自車と接触しない位置に救援車を止めます。

⚠注意

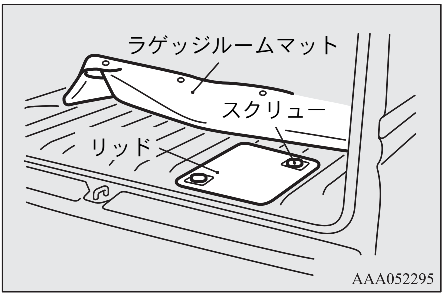
- 救援車は必ず12Vで，自車と同容量以上のバッテリーを装着している車を使用してください。

2. ライトやエアコンなど電装品のスイッチを切ります。
3. 自車は駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れ，パワースイッチをLOCKまで回します。
   救護車も駐車ブレーキを確実にかけ，マニュアル車の場合はシフトレバーをⓃ，オートマチック車の場合はセレクターレバーをⓅに入れ，エンジンスイッチをLOCKまで回します。

⚠警告

- **ブースターケーブルの接続時は，救援車のエンジンを止め，自車のパワースイッチもLOCKにしてください。**
  ケーブルや衣服などがファンやドライブベルトに巻き込まれて，けがをするおそれがあります。
- **冷却ファンは，冷却水の温度により回転，停止をくり返します。エンジン運転中，パワーユニット作動中または充電中は，ファンに手を近づけないでください。**

4. バンはテールゲートを開きます。
   →「テールゲート」P. 6-8
   ラゲッジルームマットをめくり，スクリュー２ 本をドライバーでゆるめてリッドを開けます。



5. 補機用バッテリーの液量を確認します。

⚠警告

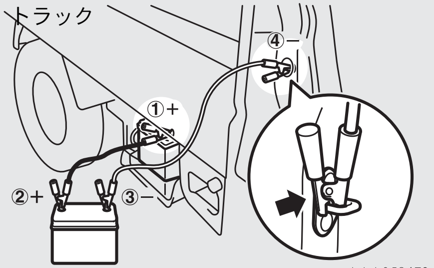
- 補機用バッテリーの液量が下限(LOWER LEVEL) 以下のままで使用しないでください。バッテリーの劣化を早めたり，発熱や爆発するおそれがあります。

アドバイス

- バッテリー液の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

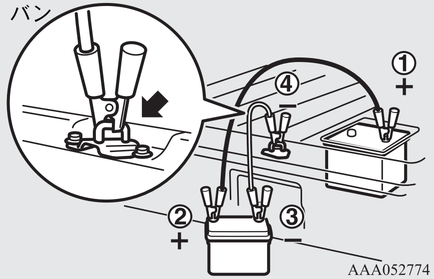
6. ブースターケーブルを図の番号順に確実に接続します。
   ①自車の補機用バッテリーの＋端子
   ②救援車のバッテリーの＋端子
   ③救援車のバッテリーの－端子
   ④図で指示の箇所（アースをとる）

トラック



AAA058473

バン



AAA052774

⚠警告

- 接続する順番は必ず①→②→③→④の順番で行ってください。
- ④の接続は必ず図の矢印の位置にしてください。補機用バッテリーの—端子に直接つなぐと，補機用バッテリーから発生する可燃性ガスに引火爆発するおそれがあります。
- ブースターケーブルを接続するときは，＋と—端子を接触させないでください。火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。

⚠注意

- ブースターケーブルのクリップは，確実に接続してください。エンジン始動時の振動で外れると，ケーブルがファンに巻き込まれ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 補機用バッテリーの＋端子は，カバーを外してからブースターケーブルを接続してください。
- ブースターケーブルは，補機用バッテリーの容量に適したものを使用してください。
  ケーブル焼損の原因になることがあります。
- ブースターケーブルに破損および腐食などの異常がないことを点検してから使用してください。

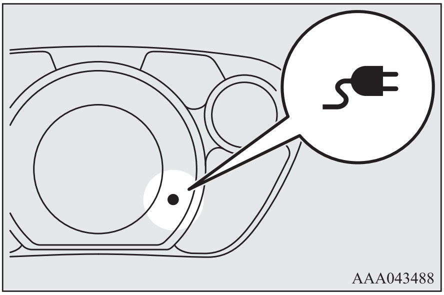
7. 接続した後，救援車のエンジンをかけます。
8. 自車のパワースイッチを START まで回します。

9. READY（走行可能）表示灯が点灯するか確認します。
   ［READY（走行可能）表示灯が点灯したとき］
   救援車のエンジンを止め，ブースターケーブルを接続したときと逆の手順で取り外し，そのまま30分以上補機用バッテリーを充電します。
   （充電後，手順16.から処置を続けてください。）
   ［READY（走行可能）表示灯が点灯しないとき］
   補機用バッテリーおよび駆動用バッテリーが同時にバッテリー上がりを起こしています。
   以下の手順（手順10.～手順14.）で補機用バッテリーおよび駆動用バッテリーを充電します。
10. ブースターケーブルを接続したまま，自車のパワースイッチをLOCKまで回します。

アドバイス

- 車載充電器などは補機用バッテリーの電源で作動するため，駆動用バッテリーの充電開始時にはブースターケーブルを補機用バッテリーに接続する必要があります。

11. 普通充電で駆動用バッテリーの充電を開始します。
   →「普通充電のしかた」P. 5-4
12. メーター内の充電ランプが点灯したら，救援車のエンジンを止め，ブースターケーブルを接続したときと逆の手順で取り外します。



アドバイス

- 充電ランプは，普通充電ガンを普通充電コネクターに差し込むと点滅し，充電が開始されると点灯に切り換わります。
- 駆動用バッテリーを充電すると補機用バッテリーも自動的に充電されます。

13. そのまま1時間以上駆動用バッテリーを充電します。
14. 普通充電ケーブルを取り外します。
   →「普通充電のしかた」P. 5-4
15. パワースイッチをSTARTまで回して，READY（走行可能）表示灯が点灯するか確認します。
   READY（走行可能）表示灯が点灯しない場合は，再度手順6.に戻って処置してください。
   それでも充電できないときは，三菱自動車販売会社へご連絡ください。
16. バンは補機用バッテリーのリッドを閉め，ラゲッジルームのマットを元の位置に戻します。
17. 最寄りの三菱自動車販売会社で補機用バッテリーの点検を受けてください。

⚠警告

- 市販のバッテリーチャージャーなどを電源として，車両に搭載したまま補機用バッテリーを充電しないでください。引火爆発や車両損傷につながるおそれがあります。
- 充電中は補機用バッテリーに火気を近づけないでください。補機用バッテリーからは可燃性ガスが発生しており，爆発するおそれがあります。
- 周囲の囲まれた狭い場所で補機用バッテリーを充電するときは，換気を十分に行ってください。
- 充電するときは，補機用バッテリーのキャップをすべて外してください。
- バッテリー液は希硫酸です。皮膚についたり，目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い，速やかに専門医の治療を受けてください。

⚠注意

- お客様のお車には専用の補機用バッテリーが搭載されています。このため補機用バッテリーの型式が同じでも，お車に正しく取り付けられないことがあります。補機用バッテリーを交換するときは三菱自動車販売会社に依頼してください。

アドバイス

- 押しがけやけん引によりパワーユニットを起動することはできません。

けん引

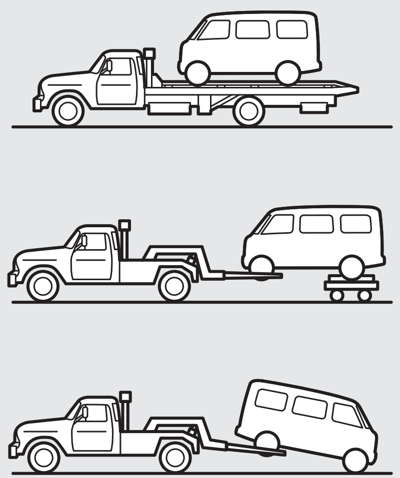
J01401201351

けん引は三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に依頼し，4 輪または後輪（駆動輪）を持ち上げて搬送してください。

つぎの場合は，三菱自動車販売会社に連絡し，必ず4輪とも持ち上げて搬送してください。

- READY（走行可能）表示灯が点灯しているのに車が動かない。または異音がする。
- パワーユニット警告灯が点灯している。
- 下まわりを点検し，オイルなどが漏れている。
- 事故などで車体が大きく破損・変形している

また，車輪が溝などに落ちたときは無理にけん引せず，三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に依頼してください。



AAE003181

15

駆動用バッテリーが上がったときなどの非常時には，一時的に後輪（駆動輪）を接地してけん引することができます。
やむを得ず他車にロープでけん引してもらうときは，「他車にけん引してもらうとき」の手順にしたがってできるだけ短距離にとどめ，慎重に行ってください。
→P. 15-29

アドバイス

- JAF の営業所は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

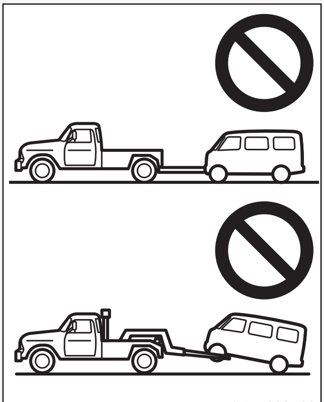
レッカー車に搬送してもらうとき

⚠警告

- レッカー車で吊り上げた場合は，絶対に車両の下に入らないでください。車両が落下した場合，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- けん引される車両には乗車しないでください。

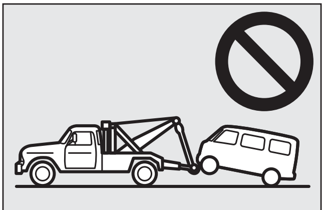
⚠警告

- 後輪（駆動輪）を接地してのけん引はしないでください。モーター（パワーユニット）が損傷するおそれがあります。また，パワーユニットルームの配線が損傷しているときなどに後輪（駆動輪）を接地してけん引すると，モーターが発電し，万一の場合，漏電による火災の原因となることがあります。

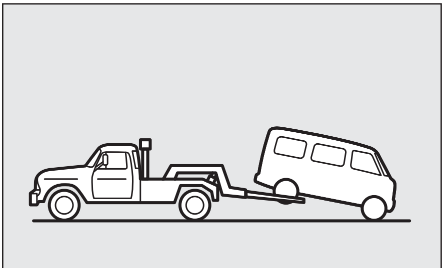

AAM008544

⚠注意

- 車体つり上げ式のレッカー車でのけん引はしないでください。バンパーや車体が破損するおそれがあります。


AAZ005818

◆ 後輪（駆動輪）を持ち上げてけん引するときは



AAA053306

セレクターレバーを🅝に入れ，パワースイッチをACCにして，ハンドルをロープなどで直進状態に固定してください。
パワースイッチは絶対にLOCKまたはONにしないでください。

⚠注意

- 駆動系や操舵系に異常がないことを確認してください。これらに異常がある場合は，必ず4輪とも持ち上げて搬送してください。
- パワーユニットを起動して後輪（駆動輪）を持ち上げたけん引を行うと，トラクションコントロール (TCL) 機能に悪影響をおよぼすおそれがあります。必ずパワースイッチをACCにしてください。

他車にけん引してもらうとき

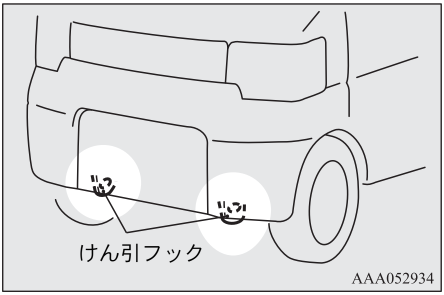
J01403901655

駆動用バッテリーが上がったときなどの非常時に，やむを得ず他車にロープでけん引してもらうときは，つぎの要領にしたがってできるだけ短距離にとどめ，慎重に行ってください。

⚠警告

- **駆動用バッテリーが上がったとき以外は，この方法でけん引しないでください。パワーユニットルームの配線が損傷しているときなどにこの方法でけん引すると，モーターが発電し，万一の場合，漏電による火災の原因となることがあります。**

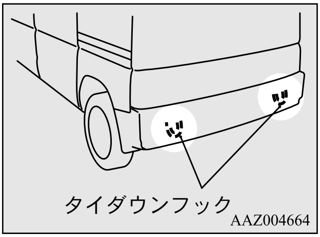
1. つぎのことを確認します。
   - 駐車ブレーキがかかっている。
   - セレクターレバーが🅟に入っている。
   - パワースイッチが LOCK の位置にある。
2. けん引ロープをけん引フックにかけます。



AAA052934

⚠注意

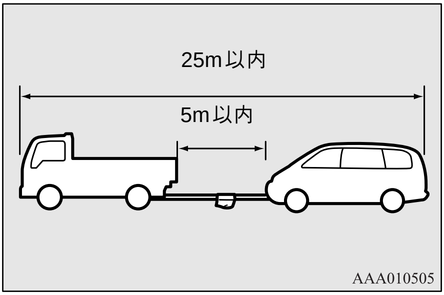
● バンの車体後部にあるタイダウンフックは，車両を輸送するときに使用するものです。けん引には使用しないでください。けん引フック以外にけん引ロープをかけると，車体が破損するおそれがあります。



アドバイス

● ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使用すると，車体を傷つけるおそれがあります。ソフトロープを使用するか，車体にあたる部分のチェーンに布をまくなどしてけん引してください。
● けん引ロープは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
● けん引ロープは水平にしてけん引してください。水平でない位置にかけると，車体を傷つけるおそれがあります。
● けん引ロープはできるだけ同じ側のフックにかけて，斜めけん引とならないようにしてください。

3. けん引ロープには，30cm 平方（タテ 30cm×ヨコ 30cm）以上の白い布を必ずつけてください。



4. パワーユニットを起動します。

⚠注意

● パワーユニットを起動せず，パワースイッチを ON の位置にしてけん引すると，けん引中に補機用バッテリーが上がることがあります。この場合，ブレーキの効きが非常に悪くなることがあります。また，ハンドル操作が非常に重くなります。
● パワースイッチがLOCK位置にあると，ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり，事故につながるおそれがあります。

5. セレクターレバーをⓃに入れ，駐車ブレーキを解除します。
6. 後続車に注意をうながすため，けん引される車は非常点滅灯を点滅させます。
→「非常点滅灯スイッチ」P. 8-18

⚠警告

- けん引される車のエアコンは，内気循環に切り換えてください。排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。
- 急ブレーキ，急発進，急旋回など，けん引フックやけん引ロープに大きな衝撃が加わるような運転は避けてください。けん引フックやけん引ロープが破損するおそれがあります。万一の場合，その破片が周囲の人などにあたり重大な傷害をおよぼすおそれがあります。
- 長い下り坂ではブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。レッカー車に搬送してもらってください。

⚠注意

- けん引される車は，けん引車のブレーキランプに注意して，常にけん引ロープをたるませないようにしてください。
- けん引するときの速度は30 km/h以下，けん引する距離は 30km 以内にしてください。この速度，距離を超えると車両の故障の原因になります。

他車のけん引

J01404100019

アドバイス

- この車で他車をけん引することはできません。

ヒューズが切れたときは！

J01401500849

各種のランプが点灯しないときや，電気系統の装備が作動しないときは，ヒューズが切れているときがありますのでヒューズを点検し，切れているときは交換してください。

アドバイス

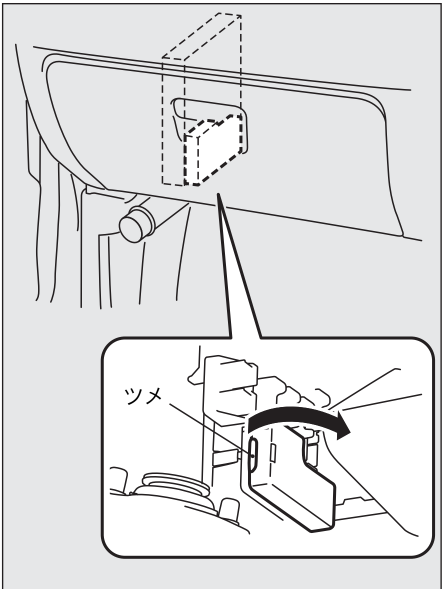
- 予備ヒューズは装備されておりません。三菱自動車販売会社などでお買い求めください。

ヒューズボックスの位置

J01407500128

◆ 助手席足元

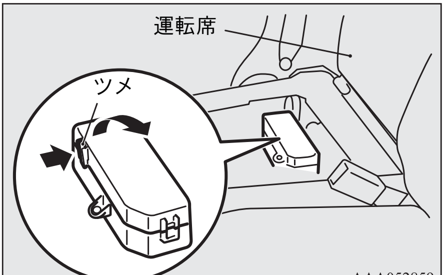
ツメ部を引いてヒューズカバーを取り外します。



AAE003152

◆ 点検口（運転席下）

ツメを押してロックを外し，カバーを取り外します。



AAA052859

ヒューズの交換

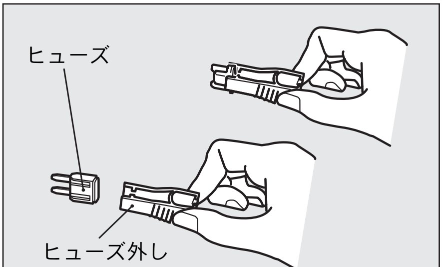
J01407600132

1. パワースイッチをLOCKにします。
2. 該当する装備を受け持つヒューズおよび容量を確認します。
→「各ヒューズの受け持つ装備および容量」P. 15-34

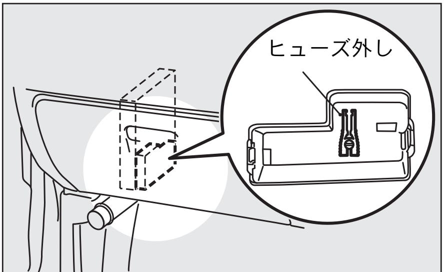
アドバイス

● 各ヒューズの受け持つ装備および容量は，ヒューズボックスのふたに記載してあります。

3. ヒューズ外しを使用してヒューズを引き抜きます。ヒューズ外しは，助手席足元のヒューズボックスカバーの内側にあります。

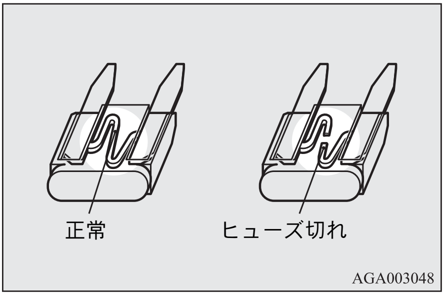


AGA003035



AAA052862

4. ヒューズを点検し，切れているときは同じ容量のヒューズと交換します。



⚠警告

- **取り付けてあるヒューズと同じ容量のヒューズを使用してください。針金，銀紙などを使用すると，電線の過熱により火災のおそれがあります。**

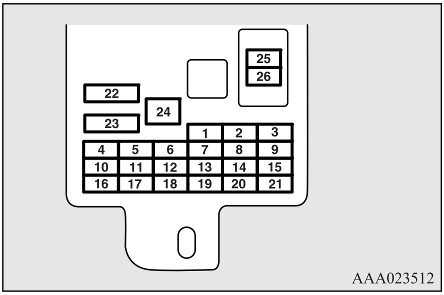
アドバイス

- ヒューズを交換しても再び切れるときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズが正常で該当する装備が作動しないときは，他の原因が考えられます。すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

各ヒューズの受け持つ装備および容量

J01403701477

◆ 助手席足元

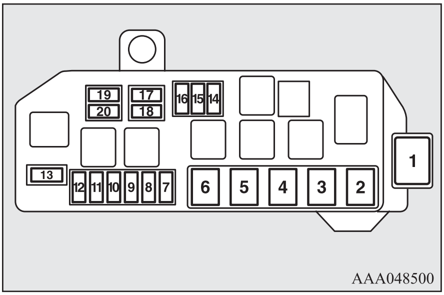


NO.	表示	装備	容量
1		尾灯（テールランプ）（左）	7.5A
2		シガレットライター／アクセサリーソケット	15A
3	—	—	—
4		スターター	7.5A
5	—	—	20A
6	—	—	—
7		尾灯（テールランプ）（右）	7.5A
8		電動リモコンドアミラー	7.5A
9		コントロールユニット（パワーユニット）	7.5A
10		コントロールユニット	7.5A
11	—	—	10A
12		ドアロック	15A
13		室内灯（ルームランプ）	10A
14		リヤワイパー	15A
15		メーター	7.5A
16		リレー	7.5A
17		ヒーター	20A
18	OPTION	OPTION	10A
19	—	—	7.5A
20		フロントワイパー	20A
21		後退灯（バックアップランプ）	7.5A
22		デフォッガー	30A
23		シートヒーター	30A
24		補機用バッテリー	30A
25		ラジオ	10A
26		エレクトロニックコントロールユニット	15A

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

15

◆ 点検口（運転席下）



NO.	表示	装備	容量
1	—	—	—
2		補機用バッテリー	30A
3		パワースイッチ	40A
4		ラジエーターファンモーター	40A
5		パワーウインドウ	40A
6		バキュームポンプ（ブレーキ）	30A
7		パワーユニットコントロール	15A
8	STOP	制動灯（ストップランプ）	15A
9		フロントフォグランプ	15A
10		ウォーターポンプ（パワーユニット）	15A
11		チャージ	10A
12		非常点滅灯	10A
13		ホーン	10A
14		デイタイムランニングライト	10A
15		バッテリー冷却ファンモーター	15A
16		ウォーターポンプ（エアコン）	10A

NO.	表示	装備	容量
17		ヘッドライト（下向き）（右）	20A
18		ヘッドライト（下向き）（左）	20A
19		ヘッドライト（上向き）（右）	10A
20		ヘッドライト（上向き）（左）	10A

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

バルブ（電球）が切れたときは！

J01401600707

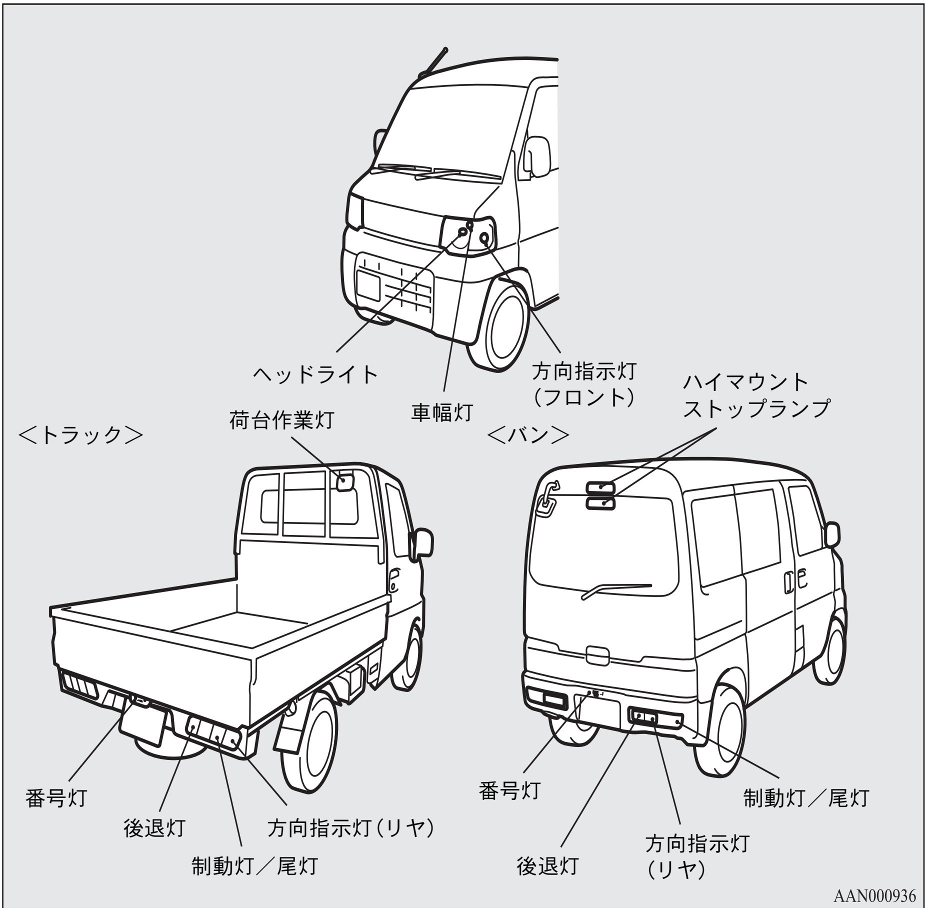
ヒューズが切れていないのにランプが点灯しないときは，バルブ（電球）が切れているときがあります。
バルブ（電球）を点検し，切れているときは交換してください。

バルブ（電球）のワット数

J01406200027

◆ 車外照明

J01406800603



ヘッドライト			60/55W (H4)
車幅灯			5W (W5W)
制動灯／尾灯			21/5W (W21/5W)
後退灯			16W (W16W)
番号灯			5W (W5W)
方向指示灯	フロント		21W (PY21W)
	リヤ	トラック	16W (W16W)
		バン	21W (WY21W)
ハイマウントストップランプ（バン／バルブ式）			16W (W16W)
荷台作業灯（トラック） タイプ別装備			16W (W16W)

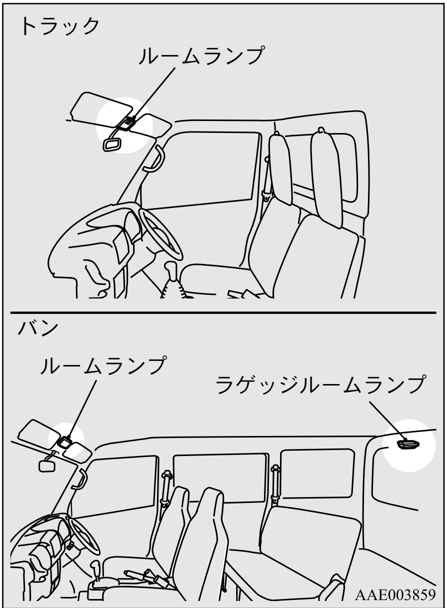
● (　) 内はバルブ（電球）の型式を示しています。

アドバイス

● ハイルーフ車（バン）のハイマウントストップランプはバルブ（電球）ではなくLEDを使用しています。修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ 車内照明

J01406300435



ルームランプ	8W
ラゲッジルームランプ(バン)	8W

バルブ（電球）の交換

J01401700883

ここではおもなバルブ（電球）の交換方法を記載しています。記載されていないバルブの交換については，三菱自動車販売会社にご相談ください。

1. 該当するランプのスイッチを OFF にして，パワースイッチをLOCKにします。
2. 該当するランプのワット数を確認します。
   →「バルブ（電球）のワット数」P. 15-36

⚠注意

- 消灯直後はバルブの表面が高温になっているため，やけどをするおそれがあります。
  バルブの表面が十分冷えてから交換してください。

アドバイス

- バルブを交換するときは，同じワット(W)数，同じバルブ色のものを使用してください。
- 新しく交換するバルブの表面に触れないでください。
  油などが付着すると，点灯したときの熱で蒸発して，レンズ内側が曇ることがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の3%水溶液を含ませて，油をふき取ってください。
- ランプ本体やレンズを外すときは，車体を傷つけないよう十分注意してください。
- バルブを交換した後は，ランプが正しく点灯するか確認してください。
- 雨の日や洗車後などに，レンズ内側が曇ることがあります。
  これは湿気が多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。
  ランプを点灯すると熱で曇りはとれます。
  ただし，ランプ内に水がたまっているときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

15

◆ ヘッドライトの脱着

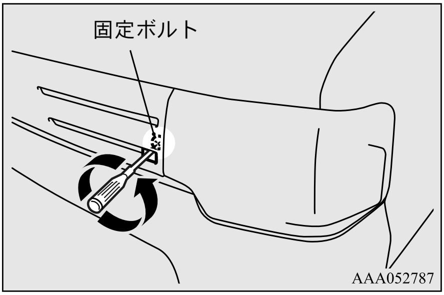
J01401901781

ヘッドライト，車幅灯，方向指示灯（フロント）のバルブ（電球）の交換は，ヘッドライト全体を車から取り外して行います。

つぎの手順で取り外してください。

取り外すときは

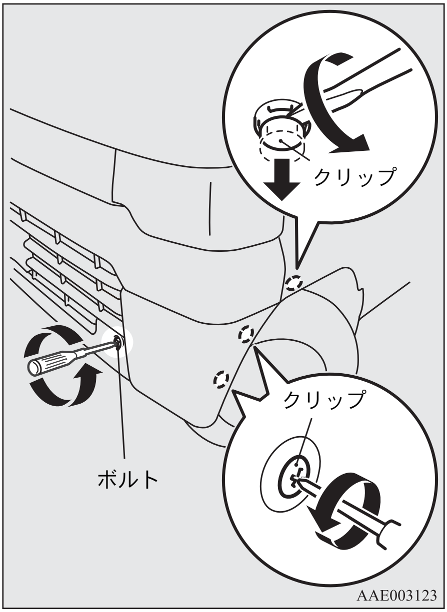
1. 交換したいヘッドライトの反対方向側にステアリングホイールを一杯に回して作業スペースを作ります。
2. ヘッドライトの固定ボルトを，4 回転程度ゆるめます。



アドバイス

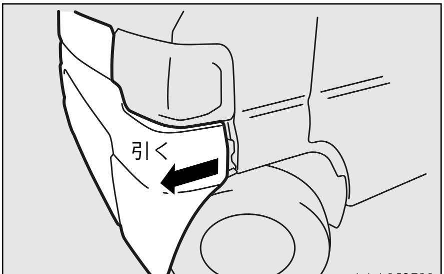
- ボルトは必要以上にゆるめないでください。
ゆるめすぎるとボルトが落下することがあります。

3. バンパーを固定しているクリップ（3 箇所）とボルトを取り外します。



15

4. バンパーをゆっくりと引いてバンパーとフェンダーの結合部を外します。

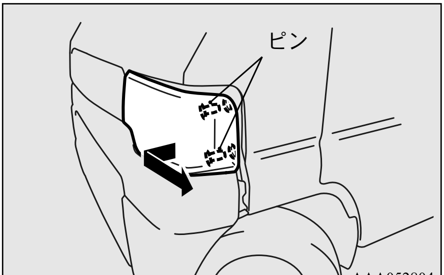


AAA052790

アドバイス

- 結合部を取り外すときは，周辺部品を損傷させないように注意してください。

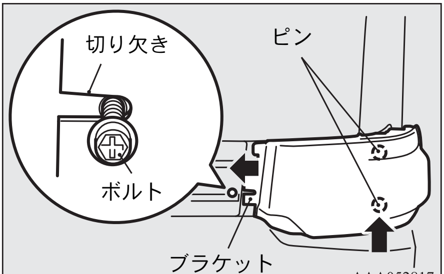
5. ヘッドライトの外側を手前に引き，ヘッドライト裏側にある固定ピンを外します。そのまま，バンパーをめくりながらヘッドライトを車両の外側にずらして取り外します。



AAA052804

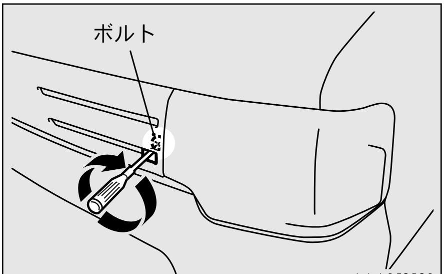
取り付けるときは

1. ヘッドライトの車両内側にある取り付けブラケットの切り欠きを車側に残してあるボルトに差し込み，ヘッドライト裏側にあるピンを固定クリップに差し込んで，ヘッドライトを取り付けます。



AAA052817

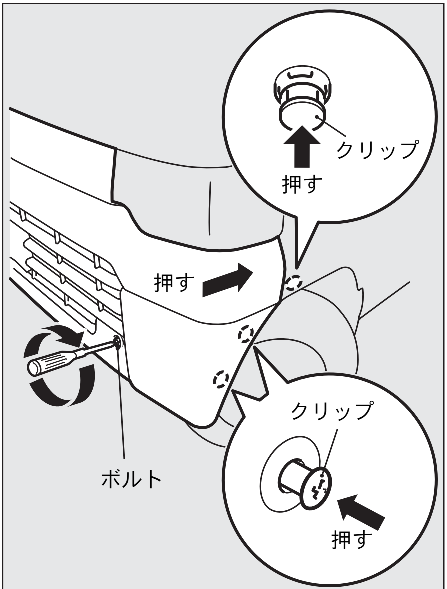
2. ヘッドライト取り付けボルトを確実に締め付けます。



AAA052820

15

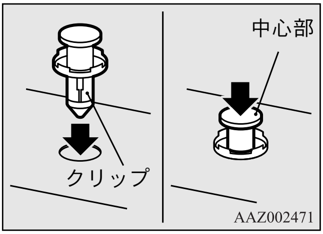
3. バンパーとフェンダーの結合部を押さえてはめ込んだ後，バンパー固定クリップとボルトで固定します。



AAE003136

アドバイス

- バンパー固定用クリップは，はじめにクリップを取り付け穴に差し込み，その後でクリップの中心部を押し込んで固定します。

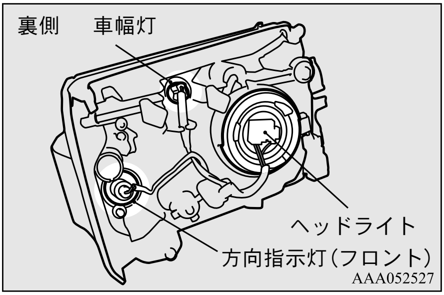


AAZ002471

◆ ヘッドライトのバルブ交換

J01407800105

各バルブの交換は，ヘッドライト裏側から行います。



AAA052527

交換方法についてはつぎの項をお読みください。

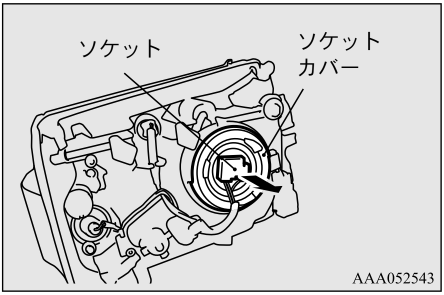
→「ヘッドライト」P. 15-42
→「車幅灯」P. 15-43
→「方向指示灯（フロント）」P. 15-43

15

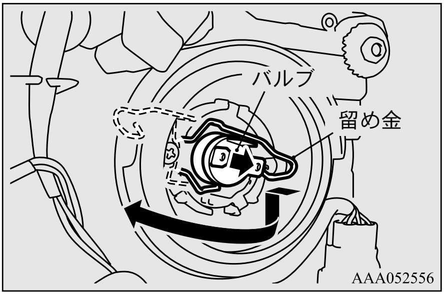
◆ ヘッドライト

J01401901677

1. ソケットを引き抜き，ソケットカバーを外します。



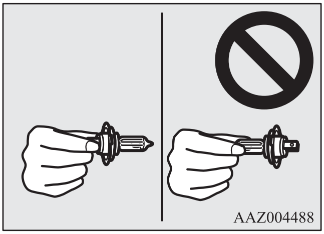
2. 留め金を外し，矢印の方向に引き起こして，バルブを抜き取ります。



3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

⚠注意

- ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，油をふき取ってください。

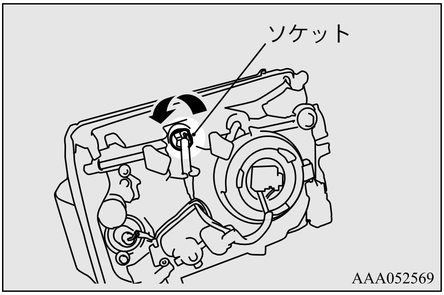


15

◆ 車幅灯

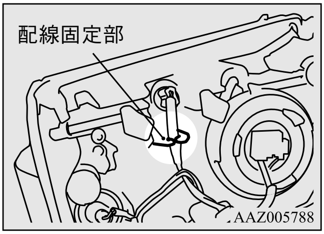
J01402000841

1. ソケットを反時計回りに回して外します。

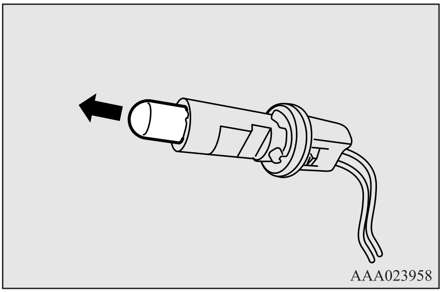


アドバイス

● ソケットを外すときは，配線を配線固定部から外してください。バルブを交換したあとは，配線を確実に固定してください。



2. ソケットからバルブを引き抜きます。

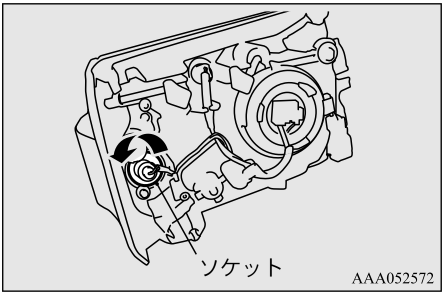


3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

◆ 方向指示灯（フロント）

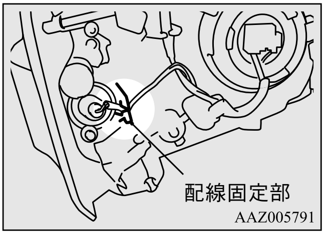
J01402100767

1. ソケットを反時計回りに回して外します。



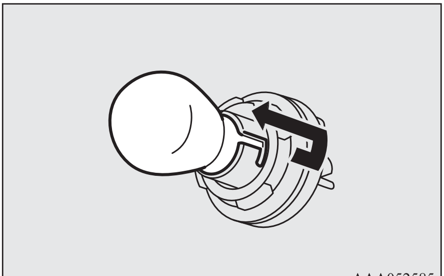
アドバイス

● ソケットを外すときは，配線を配線固定部から外してください。バルブを交換したあとは，配線を確実に固定してください。



15

2. バルブを押し込みながら反時計回りに回して外します。


AAA052585

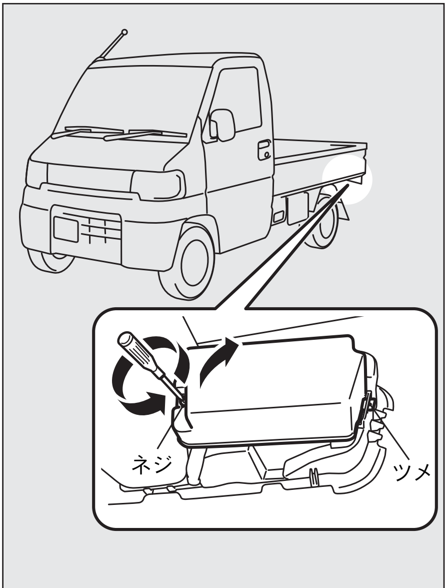
3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

◆ リヤコンビネーションランプ

J01403000806

トラック

1. 制動灯／尾灯または，方向指示灯（リヤ）を交換するときは，ネジを外し，ツメを外しながらカバーを取り外します。



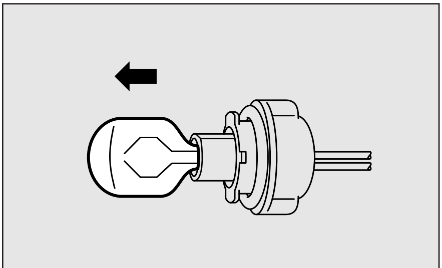
AAE003862

2. ソケットを反時計回りに回して外します。



AAA053133

3. ソケットからバルブを引き抜きます。

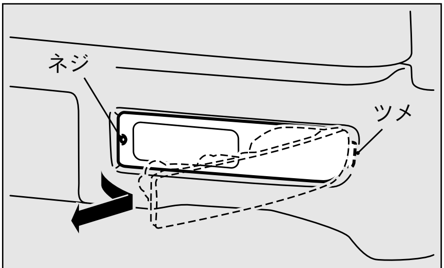


AAA024001

4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

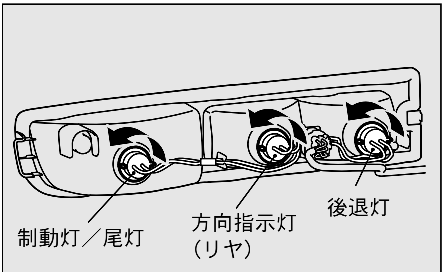
バン

1. ネジを外して，ランプ本体を手前に引き出し，ツメを外しながらランプ本体を取り外します。



AAA052178

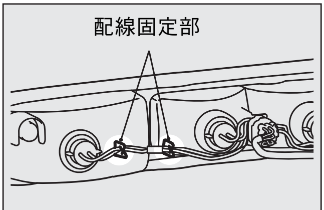
2. ソケットを反時計回りに回して外します。



AAA052181

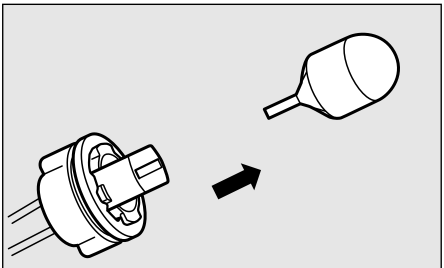
アドバイス

● 制動灯／尾灯のソケットを外すときは，配線を配線固定部から外してください。バルブを交換したあとは，配線を確実に固定してください。



AAZ005762

3. ソケットからバルブを引き抜きます。



AAA052194

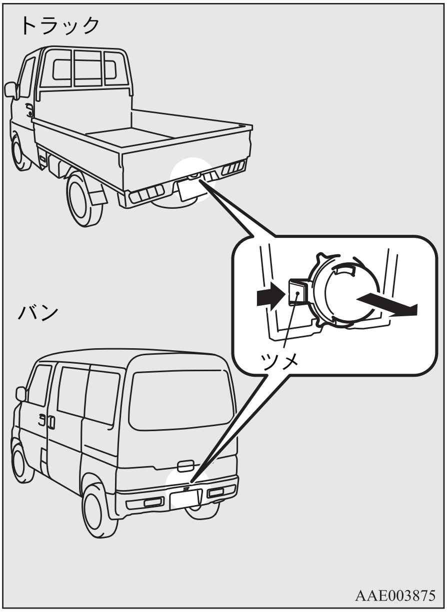
4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

15

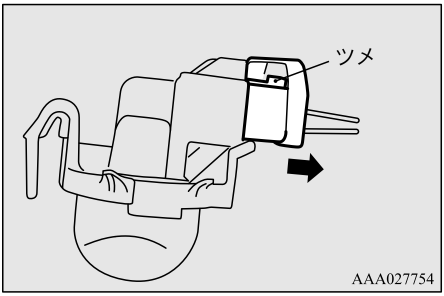
◆ 番号灯

J01402600720

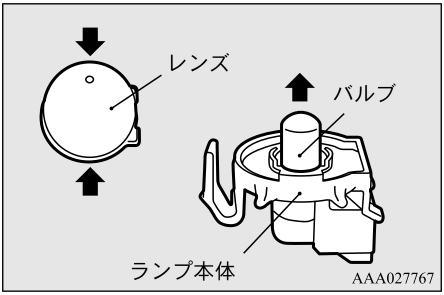
1. ツメを押しながら，ランプ本体を取り外します。



2. ツメを押しながらソケットを引き抜きます。



3. レンズの両端を押しながらレンズをランプ本体から外し，バルブを引き抜きます。

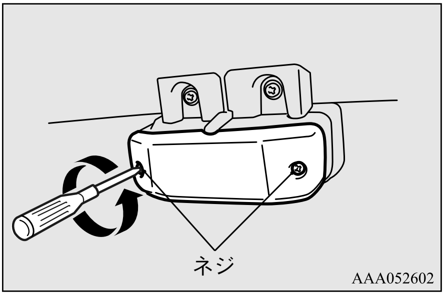


4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

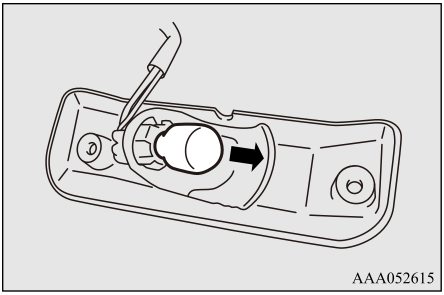
◆ ハイマウントストップランプ（バン／バルブ式）

J01402700587

1. ネジ（2 箇所）を外してカバーを外します。



2. ソケットからバルブを引き抜きます。



3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

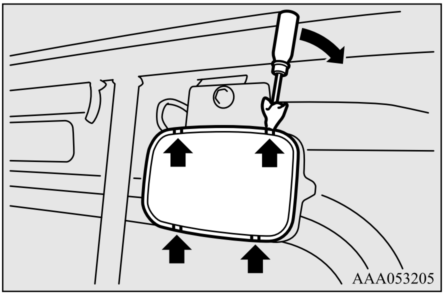
● ハイルーフ車（バン）のハイマウントストップランプはバルブ（電球）ではなくLEDを使用しています。修理•交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ 荷台作業灯（トラック）

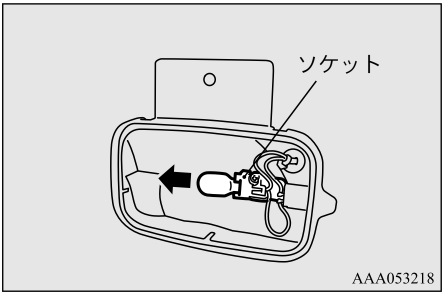
タイプ別装備

J01408100033

1. 矢印の位置へ先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んで，ツメを外してレンズを外します。



2. ソケットからバルブを引き抜きます。



3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

15

MEMO

サービスデータ

メンテナンスデータ

J01600101427

- 日常点検，定期点検の内容およびトランスミッションオイルなど油脂類の交換時期については，別冊の「メンテナンスノート」に詳しく記載してありますのでお読みください。
- 車両寸法（全長，全幅，全高），車両重量については車載の「自動車検査証」をご参照ください。

オイル類の量と種類

J01600600672

項目	容量	使用銘柄
トランスミッションオイル	約0.75L	三菱自動車純正ダイヤクイーン ATF SPIII
ブレーキ液	所要	三菱自動車純正ダイヤクイーン ブレーキフルードスーパー4 (DOT4)

冷却水の量と種類

J01600700527

項目	容量	使用銘柄
冷却水	約5.1L （コンデンス タンク内 約1.0Lを含む）	三菱自動車純正ダイヤクイーン スーパーロングライフクーラント プレミアム

温水ヒーター液の量と種類

J01601300067

項目	容量	使用銘柄
温水ヒーター液	約2.2L （コンデンス タンク内 約0.85Lを含む）	三菱自動車純正ダイヤクイーン スーパーロングライフクーラント プレミアム

ウォッシャー液の量と種類

J01600800368

項目	容量	使用銘柄
ウォッシャー液	約2.0L	三菱自動車純正ウォッシャー液

補機用バッテリーの種類

J01601400765

形式
34B19L

⚠警告

- **補機用バッテリーの＋端子と－端子を間違えないように取り付けてください。**
- **補機用バッテリーを取り付けるときは，＋端子から先に接続してください。－端子から先に接続した場合，万一，＋端子が他部品に接触すると火花が発生し，補機用バッテリーが爆発するおそれがあります。**
- **駆動用バッテリー充電中に補機用バッテリーを取り外さないでください。**
  補機用バッテリーは，駆動用バッテリー充電中に自動的に充電されているため，取り外すと感電など，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- お客様のお車には専用の補機用バッテリーが搭載されています。このため補機用バッテリーの型式が同じでも，お車に正しく取り付けられないことがあります。補機用バッテリーを交換するときは三菱自動車販売会社に依頼してください。
- 補機用バッテリーを取り外すときは，パワースイッチをLOCKの位置にしてから約2分以上経過後に，接続されている＋端子や－端子を取り外してください。パワースイッチを LOCK の位置にした直後に補機用バッテリーの端子を取り外すと電気部品故障の原因となります。
  また，パワーユニット警告灯が点灯しているときは，高電圧部位に異常が発生しています。補機用バッテリーを外さずに，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

整備基準値

J01601000543

項目	サービスデータ	
ブレーキペダル	遊び	3~8mm
	踏み込んだときのフロントエンドパネルとのすきま（踏力約500N{約50kgf}）	220mm以上
駐車ブレーキ	引きしろ（操作力 200N{20kgf}）	3~4ノッチ

16

タイヤ，ホイールのサイズ

J01600201721

タイヤ，ホイールを交換するときは，つぎのことをお守りください。

- 4輪とも同時に交換してください。
- 指定サイズのタイヤ，ホイールを装着してください。

タイヤ，ホイールのサイズなどは三菱自動車工業が国土交通省に届け出をしています。

⚠注意

- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
- ホイールは，リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも，車体に干渉したり，強度が不足して使えないことがありますので，指定以外のホイールは使用しないでください。

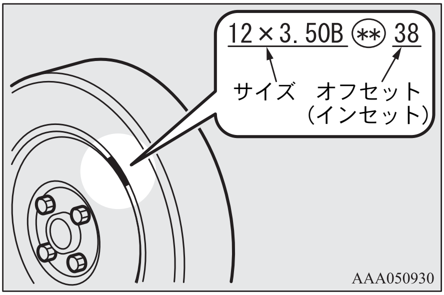
タイヤ	ホイール
145R12―8PRLT	12×3.50B (38mm) [100mm] 4穴

(　)内は，オフセット（インセット）量（ホイールの取り付け面とリムの中心との距離）

[　]内は，PCD（ホイール取り付け穴のピッチ円直径）

冬用タイヤなどについても表中のサイズのものをご使用ください。

- 三菱自動車純正ホイールのサイズおよびオフセット（インセット）は，図の位置に表示されています。



タイヤの空気圧

J01600301126

	タイヤサイズ	空気圧 (kPa {kgf/cm²})	
		前輪	後輪
トラック	145R12—8PRT	200{2.0}	350{3.5}*1 450{4.5}*2
バン	145R12—8PRLT	240{2.4}	450{4.5}
応急用タイヤ	T125/70D14	420{4.2}	

*1:2名+100kg積載以下

*2: 定積載（2名乗車+指定積載重量）

→「安全なドライブのために：荷物を積むときは」P. 3-7

16

充電システム仕様

J01602000061

普通充電システム	定格電圧	AC 200V（単相）	AC 100V（単相）
	定格周波数	50Hz/60Hz	
	最大定格電流	15A*1	10A*1
	最大消費電力	3.0kVA*2	1.0kVA*2
	純正充電ケーブル内蔵コントロールボックス漏電検知電流	20mA	
	充電モード	IEC61851-1:2001に基づく Mode 2/Case B*1 Mode 3/Case C*2	
急速充電システム	準拠規格	CHAdeMO	
	最大入力電流	125A（総電力量10.5kWh車）， 60A（総電力量16kWh車）	
共通	IP等級	IP44:充電ガンが接続されている状態のとき IP55:充電リッドを閉じて走行している状態のとき	

*1: 純正コントロールボックス付き充電ケーブル使用時

*2: 公共用および家庭用に市販された充電ケーブル付き普通充電器使用時。
普通充電器の一部は，MINICAB-MiEVに対応していないことがあります。

16

カスタマイズ（機能の設定変更）

J01600401534

つぎの機能をお好みの設定に変更することができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスエントリー（タイプ別装備）	リモコンスイッチでUNLOCKスイッチを押した後, 自動的に施錠されるまでの時間 →P. 6-3	約30秒	○
		時間を長くする	
	リモコンスイッチで施錠・解錠したときの非常点滅灯による作動確認 →P. 6-3	施錠時:1回点滅 解錠時:2回点滅	○
		施錠時:1回点滅 解錠時:点滅しない	
		施錠時:点滅しない 解錠時:2回点滅	
		施錠時:2回点滅 解錠時:1回点滅	
		施錠時:2回点滅 解錠時:点滅しない	
		施錠時:点滅しない 解錠時:1回点滅	
		点滅しない	
センタードアロック(バン)	パワースイッチがONのときにセレクターレバーをⓅに入れると解錠 →P. 6-8	解錠する	
		解錠しない	○
半ドア警告	半ドアのまま走行したときの, ブザーによる警告 →P. 8-12	警告する	○
		警告しない	
		連続して警告する	

16

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
ヘッドライト	ヘッドライトオートカット機能（自動消灯） →P. 8-14	作動する	○
		作動しない	
	降車後照明として利用するときのライトスイッチの位置 →P. 8-15	≣Dのみ	○
		≡D0≡と≣D	
方向指示灯	車線変更時の3回点滅機能 →P. 8-17	作動する	○
		作動しない	
	車線変更時の3回点滅機能が作動するまでのレバー操作時間 →P. 8-17	短い	○
		長い	
	方向指示灯の点滅に合わせて断続的に鳴るブザー音	標準	○
		音色を変更する	
	方向指示灯が作動するパワースイッチの位置 →P. 8-17	ON	○
		ONまたはACC	
フロントワイパー	車速感応 →P. 8-19	有り	○
		無し	
リヤワイパー（バン）	間けつ作動時間 →P. 8-21	約8秒	○
		時間を短くする*1	
		時間を長くする*1	
		連続作動にする	
フロントウォッシャー，リヤウォッシャー（バン）	ウォッシャー液を噴射させたときのワイパー作動 →P. 8-20，8-21	連動する	○
		連動しない	

*1：連続作動モードあり
→「リヤワイパー／ウォッシャースイッチ」P. 8-21

<table>
<tr><th>装備</th><th>調整機能</th><th>設定項目</th><th>出荷時の設定</th></tr>
<tr><td rowspan="6">ルームランプ，
ラゲッジルーム
ランプ(バン)</td><td rowspan="4">すべてのドアおよびテールゲート(バン)を閉じたときに消灯するまでの時間(遅延消灯)
→P. 10-4，10-5</td><td>約15秒</td><td>○</td></tr>
<tr><td>時間を短くする</td><td></td></tr>
<tr><td>時間を長くする</td><td></td></tr>
<tr><td>遅延消灯機能を働かなくする</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">ルームランプのスイッチが中間(●)またはDOOR位置で点灯し続けたとき，自動的に消灯するまでの時間(自動消灯)
→P. 10-4，10-5</td><td>約30分</td><td>○</td></tr>
<tr><td>自動消灯機能を働かなくする</td><td></td></tr>
</table>

16

MEMO

A

E

I

M

R

S

T

ア

ウ

エ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

サ

シ

ス

セ

タ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

チ

テ

ト

ナ

ニ

ハ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ヒ

フ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

MEMO

MEMO

MEMO

純正品のおすすめ

- お客様のお車に最適な純正品をご使用ください。
- 純正品は，厳しい検査に合格し，その品質が保証されています。
  また，三菱自動車販売会社を通じてお求めになれます。
- 新車時の性能と快適な乗り心地を長く維持していただくために，点検や交換の際は，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 三菱自動車指定の純正品や油脂類以外のものを使用すると，故障などの原因になることがあります。
- 純正品には右のマークが貼ってあります。

MITSUBISHI MOTORS
GENUINE PARTS

事故が起きたときは！

あわてずにつぎの処置をしてください。

● 継続事故防止

続発事故を防ぐため，車を路肩などの安全な場所に移動させ，パワースイッチをLOCKにします。その他に漏電や感電防止の処置も必要です。

詳しくは「MINICAB-MiEVを正しく理解していただくために：万一，事故が起きたときは」をお読みください。→P. 2-5

● 負傷者の救護

- 医師，救急車などが到着するまでの間，可能な応急手当を行います。
  この場合，とくに頭部に傷などがあるときは，そのままの姿勢で動かさないようにしますが，続発事故のおそれがあるときは安全な場所に移動させます。
- 外傷がなくても医師の診断を受けてください。
  後になってから後遺症が出るおそれがあります。

● 警察への届け出

事故が発生した場所，状況および負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し指示を受けます。

● 相手方の確認とメモ

相手方の氏名，住所，電話番号を確認し，事故の状況をメモします。

● ご購入された販売会社と保険会社への連絡

万一にそなえて

安心のため，自賠責保険（強制保険）のほかに任意自動車保険にも加入しましょう。
詳しくは三菱自動車販売会社へご相談ください。